京城日報

發行兼編輯人 奥山 直 / 印刷人 小川ヨ之介
發行所 京城日報社

十一月十八日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇英國皇帝祝電 ―我 聖上陛下に對し―

倫敦來電＝英國皇帝陛下は我 天皇陛下に對し左の祝電を發せられたり(東京特電)

休戰條約ノ成立ニ際シ日英兩國民カ四年間餘ニ亘リテ親睦和衷ヲ續ケ殘酷ナル戰爭ヨリ脱シテ光榮アル成果ヲ收ムルニ當リシニ對シ 陛下ハ朕ノ滿腔ノ慶賀ヲ嘉納セラレンコトヲ希フ正義ノ終局ノ勝利ヲ見タル此機會ニ當リ極東ノ各方面及ヒ歐羅巴ノ海上ニ於テ聯合國ノ主義目的ヲ維持シ偉勳ヲ奏セル勇敢ナル日本陸海軍ノ將士ニ對シ賞讃ノ念禁スル能ハス朕ハ 陛下カ賜ヒタル日本帝國陸軍元帥ノ稱號ヲ以テ多大ノ光榮トスルモノナリ此光榮ハ此大戰ニ當リ日英兩國々民カ兩軍々隊ヲ結合スル精神ノ一致ヲ象徴スルモノナリ朕ハ此和衷ノ精神カ來ルヘキ新時代ニ永續シテ渝ルコト無キヲ確信ス

◇羅馬市民の熱狂 伊太利皇帝歸還 斯の日忘るべからざる記念日

羅馬來電＝伊太利皇帝は羅馬に歸還せるが皇帝歸還と同時に國民の歡喜は實に其極點に達せり文武百官は皇帝を奉迎し皇帝は近衛兵護衛の下に羅馬市長コロンナ公を迎へ群がり立てる國旗々々熱狂せる群衆との間を通過し宮殿に赴き御皇后陛下皇太子殿下の出迎へを受けさせられたるが皇帝は宮殿の露臺にて幾度か人民の歡呼熱狂を浴び市長は皇帝に祝詞を奉れり此の日こそ羅馬市民に取りて永久忘るべからざる記念日となれり全國各地より到着する祝電は幾百萬通なるを知らず皇后陛下には伊太利國母陛下の名を以てトレンチノ、トリエスト兩地に對し國旗を下賜せらるべく尚ほ下院は二十日を以て開會せらるべし(東京特電)

□勅語御下賜

大元帥陛下には十七日午後一時大本營御出門栃木第二小學校に行幸の上兩軍司令官參謀長中央審判官其他を召させられ閑院參謀總長代理宮殿下より攻防兩軍の操兵作戰の經過に就き講評を言上遊ばされたるに一々御聽講在らせられたる上左の勅語を賜はりたり(東京特電)

勅語

朕親シク今期ノ演習ヲ統監シ其成績概ネ可ナルヲ見テ是ヲ懌フ然レトモ大兵團ノ運用ニアリテハ尚ホ研磨ノ餘地多シ抑モ國軍ノ精強ハ訓練ノ完備ト統帥ノ妙ト相俟ツテ是ヲ期シ得ヘシ汝將卒此意ヲ體シ益奮勵努力セヨ

◇休戰條約違反 フォツシュ元帥の警告

倫敦來電＝フォッシュ元帥は獨逸最高司令部に傳電して曰く『白耳義に於ける獨逸軍隊は休戰條約に違反し其地住民に對して亂暴なる行爲あり若し速かに斯る暴行を止めざるに於ては聯合國は止むなく是を根絶するに必要なる手段を執るべし』と(東京特電)

◇普魯西王世襲財產沒收

アムステルダム來電＝獨逸よりの無線電信に曰く新普魯西政府は普魯西王の世襲財產を沒收し是を大藏省の管理に委すべし尤も王及び王室に屬し世襲せざる個人の財產は是に關係無きものなる旨布告せり(東京特電)

◇米戰後施設審議

十六日華盛頓發外務省著電＝諸新聞紙の報道に依れば戰後各般の施設を審議する爲め商工及び勞働社會の代表者を以て組織さるべき一委員會は目下大統領の手許に於て協議中なり(東京特電)

◇米大統領英國行

倫敦來電＝大統領ウィルソン氏は近く英國に來るべし(東京特電)

◇獨前皇儲抑留さる

和蘭來電＝獨逸前皇太子は和蘭に於て抑留せられたり(東京特電)

◇丁抹諸都市暴動

倫敦來電＝コペンハーゲン其他丁抹の諸都市に產業革命的暴動起り逮捕されたる者多數あり(東京特電)

◇米軍死傷者十萬

桑港來電＝今次の大戰に依りて米軍の死傷者は約十萬に達せり(東京特電)

◇輸出入禁止解除方針

十六日倫敦發外務省著電＝十一月十一日の議會に於て英國商務大臣の爲したる答辯に依れば船舶及び爲替並に其他必要を見ざる輸出入禁止は成るべく解除又は緩にする方針なりと(東京特電)

◇波軍獨司令部占領

倫敦來電＝瑞西ベルン新聞通信局の露國ワルソーより聞知せる處によれば波蘭軍は獨軍司令部を占領し獨軍の武裝解除を行へり而して右武裝解除は何等の抵抗を見ずして行はれ獨軍は武器及び多量の軍需品をワルソーの波蘭政府の掌中に委ねたる上直ちに國境に向つて送還せられたり(東京特電)

◇西伯利米兵駐屯謝絶 哈爾賓に大兵營新築決定

米國は東清沿線及び西伯利に六萬の大兵を駐屯せしむ可く過般露支兩國に兵營其他の提供方を申込みたるが兩國は之れを婉曲に謝絶せるを以て已むなく哈爾賓に二箇旅團用の大兵營を新築するに決せるものゝ如く極東將來の形勢に大關係あるものとして注目せられつゝあり(哈爾賓電報)

◇天恩 枯骨に及ぶ

今回大元帥陛下大演習御統裁の爲め栃木縣に行幸あらせらるゝに付豫て內閣にて調査せし勤王家其他國家に功勞ありし人名は最初三百名の多きに達せしも精細の詮衡を經たる結果八十名に減じたるが其後止むなきもの追加し遂に百三十餘名と確定し御裁可の上左の如く贈位の御沙汰ありたり(東京特電)

贈正二位(舊水戶藩主)德川賴房
同 (南朝の忠臣)結城宗廣
贈從二位 贈正三位 伊達政宗
贈正三位 從四位下 太田持資(道灌)
贈從三位(舊津輕藩主)津輕順承
同 (舊南部藩主)南部光行
贈正四位 贈正五位 林子平
贈從四位(舊彰考館編修)鵜殿金平
同 (同上)中村金八
同 (同上)小宮山次郎右衛門
贈正五位(出羽大地主家祖)本間久丘
同 (二宮尊德の弟子)岡田佐平治

◎家庭工業を獎勵せよ 工學博士 吉武榮之進氏談

東京高等工業學校教授工學博士吉武榮之進氏は朝鮮に於ける工業狀況視察の爲め去る十一日釜山上陸南鮮各地を視察し總督府の案內にて南鮮各地を視察したる後十七日夜入京朝鮮ホテルに投ぜるが氏は語りて曰く

朝鮮に上陸以來大邱に開催中の共進會を始め大田、群山、木浦、全州の各地を視たがまだ〱朝鮮の工業は前途遼遠である視察中工業的施設として何等見る可き物も無かつたが唯▲精米業は各地共非常に盛んなるに驚いた朝鮮は農本位の土地丈けあつて原料は豐富であるが動力に至つては甚だ天惠に乏しい礦產物の豐富なるに拘らず獨り石炭の產出極めて微々たる事、水力を利用する事も今の處望みありとは云へない、將來植林完成の曉を俟つて始めて水力の利用も行ひ得る事であらう動力問題解決は朝鮮として困難な問題に相違ない然し勞働者としての朝鮮人は體力の優れたる點に見て相當訓練を行へば甚だ有望である事を認め得るのである、又是等は手先は甚だ器用で各地で見る其の製作品など頗る精巧なものが出來る樣であるから▲大に家庭工業を獎勵する必要はあるであらう、朝鮮の色染は鮮人が白衣を纏うて居るに見て、悲觀せざるを得ぬ內地に於ても歐洲戰亂以來獨逸からの輸入が杜絕すると共に染料界は非常な恐慌を來し價格が突飛な騰貴をした事は周知の事であるが我國でも之に刺戟され染料工業の勃興を見るに至り數種の製造に成功した然し何れも試驗管で造る樣なもので小資本で費が非常に不廉くかゝる現今の如く價格暴騰の際は之でも製造工業として引合ふであらうが戰後之が事業を繼續する爲には今少し研究を積んで單に目的の染料を製出するのみで無く其の階梯に於て副產物を得る方法を發見しなければ外國品と▲競爭する事は至難である獨逸では染料會社を合同し二億位の資本を擁して經營を行ふ事にしたさうであるから將來恐るべきものとなるであらう又獨逸のみならず各國共自給に努めた結果米國の如きは今獨逸に代つて日本へ染料を輸出する國となつて居る日本も此際保護政策を講じ外國品の稅率を昂め國內生產を獎勵する事も考へられざるには非ざるも目下我國の染料界の狀態を以てするならば寧ろ之れは不利益で却つて外國品を歡迎して之れに依る加工品を盛んにし輸出する方が得策であらうと思ふ

◎政務總監歸京

慶北物產共進會褒賞授與式に臨席の爲め出張中の山縣政務總監は十八日午後九時京城着歸京すべし

◎滯貨現狀と輸送力 鐵道托送の激增と鮮鐵の今後 安藤京管運輸課長の談

鮮鐵滯貨の現狀と今後の輸送見込みに付滿鐵京管運輸課長安藤又三郎氏は曰く全線に於ける貨物の停滯は以前より餘程多かつたのに九月に▲特別輸送あり一層の影響を受けて今日に至つたが冬向きとなり石炭木炭薪材穀物の出荷各線共に漸く多く本月十日現在各驛に申込める貨物の數量は合計七萬五千噸に上つてゐる、而してその中の主なるものは

米	二八〇〇噸	豆粕	三〇〇〇噸
大豆	一一〇〇	鹽	一七〇〇
木炭	一〇〇〇	石炭	一四〇〇
薪	二九〇〇	木材	一四〇〇
鑛石	五〇〇		

等であるその各驛別を示せば米は主として安東に鹽は仁川及び南浦に木炭並に薪は京義線長湍より▲瑞興間各驛 京元線の議政府劍拂浪間各驛石炭は主として仁川平壤、木材は新義州安東縣餅店等である、又各線別に示すと

京釜線	二萬七千五百噸
京義線	四萬一千噸
湖南線	二千七百噸
京元線	三千五百噸

更に大體に貨物異動の狀態を見ると戰爭前までは鐵道によらず港灣河川を利用してゐたものが船が少くなり又は船賃騰貴の結果鐵道託送が著しく殖ゑた、現に鹽の如きは一度南浦仁川に集まり、南浦仁川より海路▲元山方面に仕向けてゐたのだが近年は鐵道で輸送するやうになつてゐる、又製造工業の各地に勃興した結果木材セメント煉瓦土管の輸送が著しく殖ゑてゐる、穀類はどうも今年は出廻りが遲く米の如き未だ京釜線に一千四百噸湖南線に八百噸合計二千二百噸に過ぎぬけれど相場の變動により今後その出廻りは如何に增大して來るか分からない、大豆も漸く全線を合計して現在一千噸內外だが今後その出廻りの增加は恐らく幾つて來るか分からないのである

▲片貨物の現狀 託送申込み貨物の仕向け先は其に知る事出來ぬけれど要するに短距離輸送の貨物が著しく增大してゐる、例せば安東の豆粕の如き大部分釜山並に元山搬出である、又新義州安東の木材の如き朝鮮各地の需要に應じて居るが南鮮方面行きが多いこれは內地の木材が騰貴したのである而して多くの貨物は南行であつて北行はごく少く結局片貨物となり一層輸送を多からしむる傾向あり鐵道輸送上夥しく骨が折れるのである

▲現在の輸送力 荷主の諒解を望む 京管現在の貨物輸送力は京義線に七回の貨物列車並に混合列車を運轉し京釜線に六回の貨物及び混合列車を運行さしてゐるが右の中から連結せる客車を引くと京釜線に於て一日六十輛乃至七十輛京義線に於て七八十輛に過ぎず湖南京元線を合し一日の輸送量約六七千噸の間であるがこれで汽罐車の牽引力貨車の輸送力は十二分に發揮さして居り、現在以上は目下の汽罐車貨車の數を以てしては不可能である、更に今後穀類の出盛り季に際し西伯利亞出征軍凱還輸送の爲めあり、一般貨物の輸送力は大いに殺がれ旅客列車をも取消すべく目下手配り中の次第であるが各方面に滿足を與ふる滯貨の掃蕩は事實に於て困難であるから一般の諒解を望む次第である

▲輸送力增大期 尚ほ十二月に入れば滿鐵沙河口工場に註文せる機關車四輛の完成引渡しを受け來年一月には米國より十二輛三月中には更に十五輛併せて三十三輛の增加を見るからその曉には現在使用の汽罐車多數を修理する必要はあれど尚ほ京釜線並に京義線に一往復乃至二往復の貨物列車京元線に一往復の貨物列車を運轉するを得べく滯貨の消化上多少效力もあらうと思つてゐる

◎歸還兵の續送 急行休止近し

西伯利出征軍後方部隊の內地送還はその一部を既に終りたるも後續部隊は豫定より若干遲延し十七日長春發十九日夜頃より每日三列車南送の豫定なるが右に伴ふ京義線急行の休止その他は朝鮮滿洲兩線間に於て汽罐車輛に關する協議中の由なれば兩三日中に決定の運びなるべし

◎貨物輸送協議

滿鐵京城管理局に於ける貨物輸送の現狀は當局に於ても極力改善を盡し居るも尙ほ貨車の積み卸し工場に於ける改善の餘地なきに非ざるべく更に一層の手段を講究せんとする趣旨より十九日午前十時安藤運輸課長、藤河村配車係主任並に釜山大田平壤龍山四驛長黑崎貨物係主任等運輸課派出員等會同協議を開く由

◎齊々哈爾鮮銀派出所開店

東清鐵道沿線チチハルは晉が出征部隊の主力屯在し居れるを以て朝鮮銀行にては出納事務取扱ひ鮮銀券の引換へその他開始の銀行業務を營ましむるため哈爾賓支店の管轄する派出所を新設十五日より開店せし旨本店に電報ありたり

◎朝鮮廻米遲延

例年ならば今地共既に米豆出穀の盛季に入らざる可からざるに本年は未だ出貨量多からず、その原因は生產地に於ける農家が昨年來の米高騰等の影響その他により收入增加して賣急ぎの必要なきと兩三年來の米價が著しく先高傾向を辿りしため何れも前途の昂騰を見越せる賣惜しみに座すべしと稱せられつゝあり從つて朝鮮の廻米は米價の著しく軟調に傾く外非常の繁忙を告ぐる事はなからんと稱せらる

◎仁川期米暴騰

十八日の仁川期米前場は當限二十九圓五十錢中限二十八圓三十四錢先限二十七圓四十一錢を示し休日前に比し四五十錢高の暴騰を示したるがその原因は堂島兵庫に於ける高値の報を入れしためにて高値は必ずしも續かざるべしと

◎理事會議終了

金融組合聯合會理事會同第三日は十八日午前九時半より總督府第二會議室に於て鈴木度支部長官等臨席の下に開會午前、午後に亘り打合せ並に鈴木長官の指示あり午後三時閉會これにて本會議を終了せり

◎地查委員會

十八日午後一時半より總督府會議室に於て高等土地調查委員會の第三部會を開會したり

◎體操講習會

醫學博士櫻井恒太郎氏は既報の如く十八日午後一時より六日間南大門小學校に於て總督府主催の下に體操教師に對し體操講習會を開催し同氏の實地講演あるべし

◎滿蒙毛織經過

滿蒙毛織會社の株式募集は十八日締切りの豫定なりしも十九日まで延期する事となりしが募人決定は多分十一月廿五日頃通知を出す事となるべく又第一回拂込みは十二月九日創立總會は十二月二十五日開會の豫定なりと

◎第二浦郵便局

黃海道黃州郡兼二浦郵便局は本月中竣成の見込なるを以て愈十二月一日より新築廳舍に移轉從前通り郵便事務を取扱ふべき旨十九日官報に告示さるべし

◇閱兵式指揮官

十八日午前九時二十分栃木町より小山に至る廣場にて閱兵式舉行に就き左の通り仰付られたり(東京特電)

大演習閱兵式諸兵指揮官被仰付 陸軍大將 松川敏胤
大演習閱兵式諸兵參謀長被仰付 陸軍少將 山田陸槌

◇總務部長更迭

今回菊池參謀本部總務部長、教育總監部第一部長に轉じ宇垣少將總務部長に就任の結果宇垣少將は近く總務部長專任となり第一部長後任と共に陸軍の一部異動ある筈なるが右は大演習後發表せらるべし(東京特電)

◎市川中將出發

軍參謀長より由良要塞司令官に轉任せし市川中將は十八日午後八時龍山驛發列車にて出發

◎吉武博士動靜

工學博士吉武榮之進氏は十七日夜入京十八日總督府に各部長官を訪問したる後宇野中央試驗所技師の案內にて工業專門學校中央試驗所於義洞官立工業學校恩賜授產場等を視察せるが十九日は市內視察の上二十日午前九時五十分一旦退京平壤鎭南浦義州新義州の各地を視察し再度入京の豫定なりと

◎持地長官歸期

支那視察中の持地遞信局長官は十九日午前八時南大門驛着列車にて歸任す

◎馬政務長入京

山西省監獄教務長馬甲鼎氏は十七日夜入京約三日間滯在京城市內の視察の筈なるが日程は十八日京城高等普通學校並に同附屬普通學校十九日は京城女子高等普通學校同附屬普通學校を二十日は京城監獄を視察すべし

□西伯利行(二) 安東にて モユ生

▲定州にて 此地方にても一寸の町なりといふ、……州にては町並も小にして……トムスクに行くさいふ……外人の一少女を擁して……ありなれの彼方吾力の感じ……

人事消息

▲入見岩消局長 朝鮮郵便遞道視察の爲め慶尙南道管內出張中の處十九日歸京の筈
▲韓賀敎氏(漢城銀行副支配人) 大邱へ通會視察慶州方面視察の爲め十七日出發來る二十日歸任の筈
▲村川恭一郎氏(總督府鐵務局長) 鐵業行政事保留金山調查設計に關する打合せ要務の爲め東京京都(出張を命ぜられ十八日朝出
▲佐藤恒丸氏(軍醫部長) 十七日夜北鮮より歸任
▲廣瀨正德氏(軍經理部長) 十八日朝南鮮へ
▲廣瀨軍經理部長 十八日朝南鮮地方に出張
▲岡田榮氏(代議士) 東上中の處十八日朝歸京

茶前酒後

◆獨逸の革命が、斯くも手ッ取り早く行はれしは、聊か意外とせざるを得ず。這は要するに、獨逸は戰慄すべき味方の爲に、倒れたるものとせざるべからず。味方にして頼もしき程の者は、敵にして恐ろしと云ふ事を、獨逸が明白に明し、且つ實地に經驗して、其怖ろしさを、痛切に世界に示せしものと見るも可也。

◆獨は最初、レニン一派の過激派を味方に引き入れ、巧に操縱して露國を崩壞せしめたり。而して露國の崩壞は、獨逸に取りては、大戰期間內に於ける、最大の成功なりし也。此の最大の成功は、主として過激派の手柄にて、獨逸は此のボルシエヴイキ程、世にも頼もしい味方無しと思ひしなるべし。獨帝は衷心其の成功を、有難さに歡喜せしなるべし。

◆然るに豈圖らんや、此の頼もしき味方は、ブレスト、リトウスクの單獨講和條約以後は、露獨戰線の撤廢と共に、獨逸帝政に取りては、鴆毒よりも尙ほ恐るべき、ボルシエヴイキズムを提げて、獨逸に其の巢窟を移せり、而して白蟻の如く徐々に、而も迅速に、ハプスブルグ家と、ホーヘンツオルレン家とを蝕ひ倒し終れり。斯くも戰慄すべき味方の何處にありや。

◆過激派の首領レニンは、曾て吾人は戰爭に於ては獨逸に破れたるも必ずや吾黨は獨逸を倒さんと叫びし事ありたり。今日に於てレニンの言が實現せるは、ボルシエヴイキズムが、如何に恐るべきものたるかを證するに足らん。

◆獨逸に取りて、戰慄すべき有力の味方なりしものは、聯合國に取りては戰慄すべき敵たらざるべからず。過激派思想と、而して其運動を、如何に取締り、如何に處置すべきかは、是亦戰後列國の重大問題たらざるべからず。

移轉御披露
今般左記の處に移轉一層業務を擴張し極力勉强仕候間相不變御引立願上候
京城舊若草町十番地
學校用自然塗黑板 美術家 敷用机 鮮人用漆器一式 製造元
各種漆塗 並塗替受負業
板谷漆工場
振替京城五〇九二番

開業 上海取引所
公信株式現物問屋信託
一、滬取引所仲買人出願者中東京、大阪、上海の一流業家及支那人外國人等に許可の指令あり愈々本月二十日開業式を行ひ十二月一日開業の豫定に御座候同業務は相當の收益可有之最も趣味ある放資物と存じ候
尙許可の指令ありたる人名御申越次第御通知申上候
京城本町三丁目四番地 九五商會有田長
電話十二圓半掛八六十錢

阿部辰之助著 大陸の京城
取次販賣店 廣松堂
總クロース、菊版七百餘頁 定價貳圓五十錢 送料十八錢
本書は京城に於ける各事業の狀態を詳明し各種企業を勸興せしめ京城をして南北滿洲、蒙古、西伯利亞は勿論露支兩國に向て大陸的發展をなさしむべく官民有力者の企業に對する努力を促し且つ京城を知らむと欲する人士の爲め最近調査の實況を示したるものなり
內容 第一章は京城の沿革及氣候 第二章府稅の課率及居住者の常に必要なる民籍、土地、家屋、營業、兵籍等の願屆書式及府民に必要なる事項▲第三章學校組合及各學校の狀態及入學の手續▲第四章神社と宗教の區別及各宗教の狀態▲第五章京城商業會議所▲第六章京城に於ける輸移出入貨物及關稅▲第七章道路、交通、及漢江沿岸各地の水運、鐵道貨物の運賃並通信機關郵便、電信、電話各事項▲第八章衛生一般として製造機關及營業に關する狀態と關屆書式▲第九章各銀行狀態▲第十章各會社の營業狀態▲第十一章各商業の狀態及重立たる商店▲第十二章各種工業の狀態▲第十三章土木建築▲第十四章勞働狀態▲第十五章鐵道運輸通關手續▲第十六章仲介を目的とする營業の狀態▲第十七章交通金融其他▲第十八章朝鮮各地の旅館、公證人、代書業の現況を示し至極平易に著述したるものにして各階級を通じて必須の好參考書たり
發賣元 京城大平通 電話構內 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

おもしろほど 面白い程きく 荒川の カギヤヒリン
かぜ つね
丸剤と散剤とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤヒリンあり◇にせもの注意
彼是と手遲せぬ樣直服用あれ 現今の流行かぜには頗る妙
本舗 名古屋 京(町) 同區 藥品 荒川長太郎
四回到る處の藥店に販賣す

○アロの恨 ◇五十年の恨を今日晴し得ました ◇普佛戰爭を語る老宣教師

◇五十年の昨日を今日として佛國人の喜びは如何◇

休戰條約成立に就き十六歲の時普佛戰に遇つた佛國宣教師オリエンチス氏を京都河原町天主教會に訪へば本年六十四歲の老宣教師は語る「一八七〇年の普佛戰爭は私の中學時代の出來事で當時三

★奈翁 の率ゆる兵士の强さが隣々と吾々少年の頭に沁込んで居たゝめセダンの敗報もアルサスローレンの割讓も一時ごうも腑に落ちませんでした己惚はごこにもあるもので子供心にも祖國の强さに己惚れて居たものが

★敗北 と聞いた時の殘念さ失望さは何んでありましたらう爾來五十餘年當事の事に今尙ほ腑底に存し片時も忘れたとはありませんでしたのに今日突然降服に等しき休戰條約が成立したので是れ程の滿足はありません五十餘年の怨に亘る名譽恢復が今始めて出來た譯ですご老の目に嬉し涙を泛へて語れり(京都)

○臺灣を視察して 白蟻とマラリヤが作つた臺北 素晴らしく大きな打狗の築港

五千五百萬圓の豫算で水力電氣を起す計畫もある

總督府醫院長 芳賀博士談

十六日朝臺灣から歸來した芳賀總督府醫院長の土産話に曰く

今度の渡臺は臺北で開かれた醫學大會に列席し兼ねて衞生上の施設狀態を視察する爲めで往復三週間の中正味滯在したのは十二日間であるが醫學大會が濟むと直ぐ

▽飛脚旅行 で臺中ご臺南ご打狗を視て來た、臺北は御承知の通り臺灣總督府の所在地、朝鮮で云へば先づ京城であるが總ての規模設備は到底比較にならぬ程大きい所がある、殊に市街は外國の都市計畫を參酌して設計したご云ふだけに却々立派なもので大抵の通りは堂々たる三層樓

▽夫も煉瓦 若くは石造で木造の家は藥にし度くも見當らぬ、木造がないのは全く白蟻のお蔭だご云ふから換言するご臺北の街は白蟻のお蔭で立派になつたのだごも云へる臺北の人は白蟻樣々ご拜つて然るべきであらう、衞生上の施設も却々好く行き屆いて居るが就中感心したのは

▽下水溝の 完備して居ることでこの點は實に羨望に堪へない、彼方の臺北醫院は目的組織共に吾總督府醫院に匹敵するものであるが是が又却々立派で恥かしながら吾總督府醫院などはその足許にも寄付けない、何んでも臺北醫院は建物だけが二百萬圓の豫算だごうで尙その一部は工事中であるが彼地は

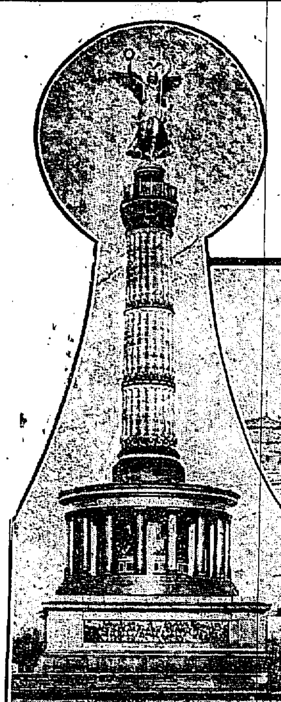
▽衞生上の 施設に對しては吝むこころなく隨分思ひ切つて大金を投ずるやうである、是ご云ふのも畢竟は總督府が濟生救民を施政の第一義こして居るからで又總督府をして此處に至らしめた抑もの因はご云へばマラリヤその他の傳染病が猖獗を極めた爲めである、臺灣の

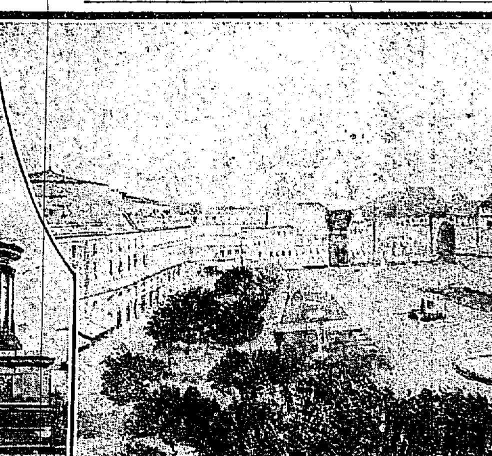
▽マラリヤ ご云へば三歲の童子ご云へども知らぬものはない位有名であるが、衞生施設の完備ご共に近來臺北は非常な健康地こなりマラリヤの如きは殆んごその跡を絕つて了つた、現に臺北醫學專門學校ではマラリヤを媒介するアスフエルス(蚊の一種)が何うしても手に容らぬので困つて居る相で以てその

▽全豹を窺 ふに足るであらう、要するに臺北は白蟻のお蔭で立派な市街になりマラリヤのお蔭で立派な健康地になつたご云つても好い、世の中は皮肉に何が幸になるか測らぬものである、打狗は目下築港工事中であるが總工費一千七百萬圓大正十七年までには竣工の豫定である竣工の上は

▽一萬噸級 の汽船二十隻を樂に入港せしめ中十二隻は横付けにする事が出來るご云ふ話しである、臺灣は今後益々南洋方面に活躍する筈で打狗は將來その中心地こなるべき運命の上に立つて居るご云つて好い、尙是は目下中央政府ご打合せ中だ相だが總督府では遠からず臺灣中部の

▽日月潭の 水を利用して水力電氣を起し全島に供給する計畫を樹てその豫算五千五百萬圓の財源も略ぼ決定して居るご云ふ事である





◇五十年の恨 佛蘭西の行政下に還つたアルサスの首府ストラスブルグト(右)獨逸が普佛戰爭に勝つた記念に伯林に樹立した戰勝記念碑(左)である今日この兩者を比較して見る感更に今昔の想ひがある

○佛國大使重傷す 乘用の自動車電柱に衝突

佛國大使レニエ氏イルクツクに到着同夜イルクツク大學開校記念會に招待せられ其歸途チエツク軍用自乘車に乘り來りしが暗夜無燈なりしため誤つて電柱に衝突し大使は重傷を負ひたり(哈爾賓電報)

○米國兵我兵を擲る 常規を失して

十一日夜米國租界にて獨逸軍人の銅像を引倒し附近の獨逸商店を破壞したる米國兵は常規を失して我兵を擲りたる爲め金谷司令官は交渉の爲北京に赴けり(天津特電)

○徐樹錚氏短刀を突つけらる

田中陸相を襲つた强盜か

支那觀戰武官徐樹錚氏は宇都宮八百驛に投宿中十七日午前二時覆面の强盜寢室に押し入り短刀を突つけて現金九十圓及び重要書類入の鞄を奪ひ逃走せり犯人は前夜田中陸軍大臣の寢室を襲へる賊ご同一なるべく嚴探中なり(東京特電)

○白米値下げ 小賣は十九日から升三十七錢

市內精米所は十八日より卸値一斗につき一圓方値下し一等白米三十六圓にて卸す事こなりしが是に連れて各小賣店に於ても同樣値下を爲す事こなり十九日より實行すべしこの結果小賣は一等米升三十七錢こなる筈

○先づ全身の……各部を平均に運動せしめよ

◇體育には體操―遊戲―競技が順序だ

局部的の不平均の運動ご激しい運動は毒だ

十八日から南大門小學校で開催される官公立各學校長並に體操教員一般體操の講師に招かれた例の紳士體操の九州帝國大學教授醫學博士櫻井恒次郎氏は十七日入京した事は既報の通りであるが車中に博士を出迎へると恰も同車中の中井海軍少將、吉武工兵中佐、關東都督府民政部長を相手に盛に體操の効能を陳列の最中とわる剣を通ずれば「イヤ我輩何も體操の講釋に來た譯ではない、只我輩のば實地にコレ(體操の身振り)をヤツて見せればいゝのだから」

▽……一體に 體育法を多くの者は穿き違へた考へでやつて居る者が多くはないかこ思ふ、總て體育は體操―遊戲―競技の順序で進む可きもので此順序を逆轉するこ往々弊害を起す事になる體操は先づ全身の各部を平均に運動せしめるもので此訓練を經てから遊戲に移る可きものである遊戲になるこ各部を均等に働かす事にはならぬ競技に至れば更に

▽……局部的 になつて來るものである處が多くは只興味中心から體操を後廻しにして直ちに遊戲競技に入らうこする事は間違つた事こ云はねばならぬ此意味に於て怠うしても體操を忽せにする事は出來ぬ、運動の中には各中等學校以上で正科こして課せられて居る武道即ち擊劍こ柔道こがあるが斯樣な激しい運動を行ふに當つては最初よほご注意を要する事で身體の未だ運動に馴れぬ者に向つて直ちに過激な運動を試みる事は身體の爲めに甚だ

▽……惡結果 を胎す事になる近時各學校の武道師範も此點大いに鑑みる處があつて何れも徐々に進ませるこ云ふ方針を執らるゝ事は喜ばしい事である元來武道の稽古なるものは體育は却つて副產物で主こして神經系統の訓練にあるものであらうこ思ふ、水泳は恰度柔軟體操を行ふ際に各部平均に働かせる運動こして頗る理想的なものであるが之は冷水中に這入る關係上非常に體溫を奪はれるのでそれが爲め弊害を起す事が多い

▽……流行の マラソン競爭は除り感心した運動こは云へぬ勿論人間は常に平調であるよりも時こして激しい苦しい運動も必要ではあるがマラソン競爭の如きは壯な者を除いては絕對によくないこ思ふ寧ろ距離は短くこも多數が走つて速い者こ遲い者こを平均して勝負を決する團體的のものが遙かに有効である

○成田校長 福岡大學にて胃癌の爲に倒る

生徒はその死を信じない

在京十年一日の如く女子教育にその全力を盡したる京城高等女學校長成田忠良氏は病氣療養のため約一箇月の豫定にて福岡大學醫院に入院し三宅博士の診察を受け專ら持疾胃癌の療養中なりしが十七日終に客死の報に接したるは京城教育界のため惜しみても尙餘りある事である南山なる高等女學校を訪へば玄關には卒業生の下駄數多列びて廊下を往來する生徒の瞳には一樣に涙の露が含まれて居る、數立つて行つた頭坪內教頭は悲然こして語る「何うしても事實こは思はれません、御承知の通り三日の音樂會及び展覽會には病中ではありましたが頗る元氣で何かこ世話をして貰つたのですが……四日生徒には病氣で福岡大學病院に入院になつたこ云ふ事は、つひ四五日前に知らしたので大した事こも思つては居なかつたので今朝(十八日)發表した時など信じても呉れないやうな有樣です、校長は大分縣大野郡三重町の出身で私は第五高等學校時代から親しくして頂いて居りました其の頃から

▽溫厚の君子こして 畏敬せられて居りました大學に進まれてからは文章の才に富み常に英文學の研究に尾上柴舟先生なぞこ非常に親しくしたものです、三十八年國文科を卒業してからは京城中學、島根高女を經て四十一年秋に奉職せられ大正三年三宅前校長の後を受けて校長こなられたので入院してから三度手紙が參りましたが十四日に來た分が最後で、十九日手術を受けるのだが何分熱度が四十度もあるので困るこありました、之れに依つて見るこ多分手術の經過が良くなかつたものこ思はれます」電話室では引切なしに電話が掛つて來る坪內氏は『之れから職員會議を開きますので……』こ戻して居た

▽我教育に偉大な貢獻を 府當局者談 府當局は一齊に氏の突死に痛惜し「氏の如き有數なる性格の持主は我教育界の爲めにも一大痛手である氏の女子教育上に爲された功績は推賞するに足るものがある又業界を一身に兎め三浦校長の後を受けて絕えず斯界の重鎭こして其の劇務に熱心して居られたものを」

▽香烟淋しく 故人を偲ぶ人々 遺骸は廿二日頃着初音町なる自宅を訪へば高等女學校職員、卒業生等來りて多數の弔客の應接するあり、白木綿を施ふあり正面の床の間には寫眞を安置し靈柩の上なる香爐には香烟漂うて悲痛の色滿ち、訪ふ人も答ふる人も涙聲、故人を偲ぶの情が溢れて居た、夫人は涙を止めて氣丈にも何くれこなく注意をなしつゝあり、因に遺骸は廿二日頃南大門驛に到着すべく各生徒、職員は驛まで出迎へ廿四日午後一時若草町本願寺にて盛大なる葬儀を執行する由である

京城高等女學校長 故成田忠良氏

○全鮮を脅したる大仕掛の拳銃强盜

國權回復運動を名とする光復會の一味逮捕

首魁は元暴徒の片割れ 富豪を襲うて數名を射殺

國權回復の運動に名を借り光復會こ稱する大仕掛の强盜團に對し其筋にては昨秋來祕密裡に活動したるが右に關し十八日警務總監部の發表せる要點を記さんに右團員連累者の大部分を檢擧したるが客年十月中流平安北道定州邑內より光復會員某の名を以て慶尙北道大邱府居住の資產家徐某に宛て國事に奔走する資金こして金

▼三萬圓を 提供すべし若し要求に應ぜざる時は報復手段を執るべし云々の脅迫状を寄せたるものあり、爾來警察官憲にては嚴に注意を拂ひつゝありしが其後同道內に於て同樣なる多數の脅迫文發見せられ又慶南、京畿、忠南、江原の各道に於ても

▼之を發見 するに至れり。而して該脅迫文の發信局は安東縣、新義州、京城、大田、尙州等にして一定せず發信者名も亦一ならざるより搜査上困難なりしが警察官憲に於ては既に當初の脅迫文發見の際に於て略犯罪の性質を推定し搜査方針を確立し

▼搜査の步 を進めつゝありしが未だ犯人逮捕の運びに到らざる中、同年十一月初旬慶尙北道漆谷郡北三面の資產家張承遠方に强盜三名押し入り金錢の提供を迫りしも之に應ぜざりしより拳銃を以て同人を射擊し逃走し更に同十二月中同道內に二件の

▼强盜事件 發生し越ゑて本年一月下旬忠淸南道牙山郡道高面の名望家朴容夏方に强盜二名闖入し同人を射殺したる事件發生せり。然るに警察官憲に於ては如上の犯罪手段方法が略類似の點あるを確かめ一層搜査を嚴密にし殊に犯罪發生地を管轄する憲兵隊警察に於ては殆ご

寢食を忘れて犯人の檢擧に腐心しつゝある內同一月下旬忠淸南道天安分隊の手に本件の有力なる嫌疑者こして趙斗煥なる者を檢擧し遂に六月中旬迄の間に於て京畿、忠南、慶北の各地に亘り五十餘名の共犯者の大部を逮捕するに至れり

▼本件首魁 慶尙北道慶州郡出身朴尙鎭なるものは元暴徒首魁許蔿の部下にして素相當の資產を有せしも徒らに大言壯語し志士を以て自任し各地を徘徊して產を修めず後商業其他の事業に從事せしも失敗し無資產者こなりしものにして大正五年中銃砲火藥取締令違反に依り

▼懲役に處 せられ翌年六月出獄せし前科者なり。然るに同人こ懇意なる前記趙斗煥及び金漢鍾なる者は大正五年三月以來京畿道仁川米豆取引所に出入し空米相場に從事し忽ち數千圓の失敗を招き全財產を蕩盡するに至りしより其恢復を圖らんこ焦慮せしも良案なきより平素彼等が

▼崇拜せる 朴が出獄するを聞知し同人を訪ひ其善後策に付謀る處ありしも朴も入獄前無財產こなり且つ出獄後間もなきここゝて何等の施すべき術なく共に現下の窮境を脫するの途なきより性獰惡にして奸智に長じたる彼等は遂に資產家を脅迫して金錢を强奪するこに決し其の手段方法こしては恰も

國事に奔走する者の如く裝ひ資產家に

脅迫文を送らば受信者は後難を恐れて容易に官憲に告知するが如きここなかるべく而して一旦脅迫状を發送し後日に至り共犯者を派遣して出金を强要せば容易に其の目的を達すべしこ爲し光復會なる

▼有名無實 の名を以て多數の脅迫文を作製し而して受信者をして光復會なるものが眞に存在し且國外在住の鮮人こも連絡あるが如く信ぜしむるには國境地方其他より脅迫文を發送し恰も多數の會員が結合して同一の行動を執りつゝあるが如く裝ふを得策こし舊式の犯罪手段に據るこに決し

▼平素知合 の無賴漢をして脅迫文を携へて安東縣に赴かしめ當初安東縣より之を發送し順次京義京釜沿線の各地より發送せしめ次いで此の脅迫文を發送し置きたる前記の資產家を訪ひ金錢の提供を迫りしも其目的を遂げざるにより

▼事の發覺 を防止する爲め之を殺害するに至りたる者なるが如し然れごも多數共犯者中には眞に國權恢復を夢みつゝある者も亦尠からざるが如く本事件は目下公州地方法院に於て審理中なりこ云ふ

○利鎌を揮つて强盜父子二人を慘殺す……生殘つた少女語る

◎兇漢は白木綿の鉢卷をした鮮人

十一日午後十時より翌日未明迄の間に於て忠淸南道成川郡九龍面龍淵里林正淳(四九)同人妻鄭氏(三五)二女成寶(六)の三人が自宅に於て何者にか慘殺されたる事件あり。右被害者家族は以上三人の外に幸ひにして

▲兇漢の毒手 を脫れたる長女某(九)あり、被害當夜の狀況に就き同人の語る處に依れば父正淳は當時恰も感冒の爲めに病床に呻吟中なりしが被害當夜白木綿を以て鉢卷を爲したる一名の鮮人が同人の病室に闖入し金を出せこ喝したるに正淳は金は隣室の箪笥の中にあれば勝手に持ち行けこ答へたるに賊は何思ひけん矢庭に同室內に在り合せたる利鎌を揮つて正淳の

▲頭部を亂打 し同人が其場に悶絶するを見るや隣室なる妻鄭氏の室に押し入り同人を鎌又は洗濯棒を以て滅多撲ちに打据て人事不省に陷らしめたる騷ぎに同處に寢居たる二女成寶は恐怖の餘り聲を放つて泣き出せしより賊は之を上げて同人を蹴飛ばし洗濯棒を以て頭部を一擊して苦もなく

▲即死せしめ 箪笥の抽出より數十圓の現金を强奪して逃走せんこしたるも正淳が苦悶する聲を聞き付け更に止めの一擊を與へて何處にか逃走せり右急報に接せる所轄官憲にては直ちに犯人の逮捕に活動を開始せり(平壤)

○學生金時計を盜む 憂ふべき學生間の惡傾向

市內明治町二丁目看板屋阿部幸次郞の[illegible]男普通學校生徒幸雄(一八)は同級生等が時計を持參せるを羨ましく思ひ居る矢先去月初旬東拓前運動場に於てテニスに熱狂せる某醫師が脫ぎ置きたる洋服のポケットに金鎖付

▲金時計(價格百餘圓)の見えて居たるより發作的に惡心を起し遂に窃取して檢擧されたるも情狀酌量により起訴猶豫こなりたるも學校は退學を命ぜられたるより世間に會はす顏なく父母に對し鄕里に歸國方を度々哀願したるも聞かれざるより其旅費調達の爲め再び惡心を起し隣家の某方に忍び入り現金數十圓を窃取して再び檢擧され當地方法院に於て取調べ中なりしが特別の恩典を以て此際再度の起訴猶豫こなり嬉し涙に咽びながら引取りたるが近來

▲一般學生 の華美に流れる傾向あり延いては如斯犯罪者を出すに至るべく誠に寒心に堪へず父兄達の充分なる注意を希望すご某判事は語つて居た

警察の窓から

▲撒水が凍る 街上に撒水するここは以後餘程注意せねばならぬ。寒氣が募るに伴れて撒水した箇所はすぐ凍結する。そして通行の人馬に思ひ掛ない危害を與へるこごが多い。だから寒日には成るべく街上に撒水せぬこ

▲盜難が多い 是からは煙突掃除を裝ふて徘徊する泥棒が多くなる。それで斯んな風をしたものや紙屑買などには餘程警戒せねばいけない。寒くなるに從つて盜難が激增するから注意ものである。

▲火の用心 火氣取扱ひが繁くなる時候に入つたから火の用心を心掛けねばならぬ

○長廣一座日延

浪花節の娘義太夫長廣一座は十八日限り打揚げの筈なりしも意外の人氣を博し每夜滿員の盛況を呈したる爲め御禮の意味にて更に五日間日延べし來る二十三日まで興行の筈

○本町署道場開

本町警察署道場は每週金曜土曜の兩日午後より一般に公開する由にして既に柔道の稽古を始め居れるが福三段師範役を勤むる由

◎鮎のおきなや

千代本舊場木舍跡は南山町三丁目京城ホテル前に於て十九日より開業[illegible]

△大戰 獨休戰を聞きて 虎耳

大時雨晴れて軍馬の嘶けり

○安東縣近事

九時四十分安東通過列車にて北方[illegible]作品數十點及び小學兒童の繪畫を[illegible]在中セル服地三反約六百圓を窃取し小切れに切斷して[illegible]を閑飽すべしこ[illegible]

○四平街通信(十五日)

[illegible]哉ば十四日滿鐵列車にて出發す

◆地方課員調査 滿鐵地方課員[illegible]の米穀收穫第二回豫想高は一百四萬六十石にして大正六年度收穫よ[illegible]

天 晴

(十八日午後六時調) ▲十一月十九日 [illegible] 日出 七時十六分 日入 五時二十一分

英國製二連 壹千挺新荷着 (定價表郵呈) 横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 (店主西村調藏)

京城公立高等女學校長從六位文學士成田忠良儀福岡大學病院ニ於テ病氣療養中ノ處本月十七日午前一時死去致候間此段御通知候也
追テ葬儀ハ來ル廿四日午後一時若草町西本願寺ニ於テ執行可仕候
途中葬列供花放鳥等固ク御斷申上候
大正七年十一月十八日 京城府元町一丁目一〇二番地
父 成田碩內
男 成田不二生
親戚 廣田四郎
總代 田仲五郎
友人 關屋貞三郎 入澤重麿 金谷充 柴崎鐵吉 小田省吾 小杉彥治 古城菅堂 坪內孝

當財團京城公立高等女學校長從六位文學士成田忠良本月十七日死去致候間謹告仕候
大正七年十一月十八日
財團法人 進明女學校

本會々長成田忠良先生病氣御療養中の處昨十七日御永眠被遊候
一葬儀は來る廿四日午後一時若草町西本願寺に於て御執行相成候間御會葬相成度御通知申上候
大正七年十一月十八日
京城公立高等女學校同窓會
同窓會々員各位

……るが非常の要妥なりし

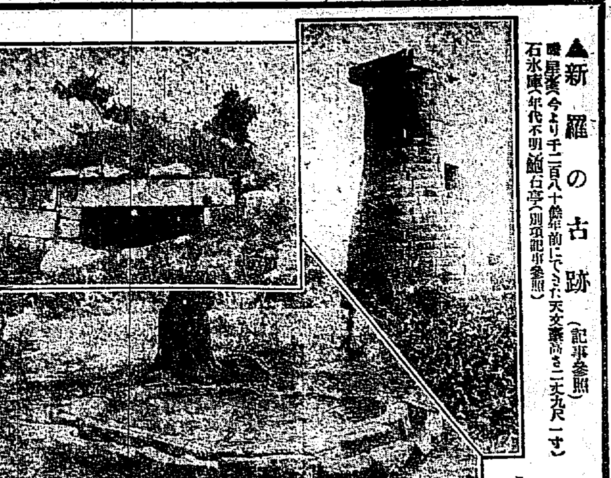
▲坂西少將通過 支那總統府軍事顧問坂西利八郎少將は十七日午前……方面へ通知ありたりと

▲洋畫大展覽會 洋畫家武石非美氏を中心とする當地素人同好者の……

▲保安林物取 安東縣村夫民國直隷省河間府生れの張維雲（二七）は……託送貨物中の柳行李一個……

▲……田幸雄氏は十八日頃新……東に來り小學校其他に於て乃木將軍の遺事に付有益なる講演會……なるもの二十餘名を招待して晩餐を共にし談話の交換を試みたり

◎米と粟と麥
……去十日發表せられたる……本年……八萬……千石にて昨年に比し二……しなりと



▲新羅の古跡（記事參照）
瞻星臺（今より千二百八十餘年前にて造りし天文臺高さ二丈九尺一寸）
石氷庫（年代不明）鮑石亭（別項記事參照）

◎鮮滿連絡輸送上の支章
無益なる再秤量

滿鮮連絡輸送は當局の努力に依り漸次著しき改善を見つゝありとは雖も釜山發奉天着鮮魚類にして一箇月四五回乃至六七回安東驛に於て積遲れ一日延着爲す事あり之れ荷主及び荷受人に取り甚だ迷惑なる次第にして之が爲め蒙る不慮の損害も亦莫大なるものあり右に對しては當局に於ても甚だ苦心し何とか適法を講ぜんと研究しつゝあるが如きも未だ著しき成績を見ず依然として一般商人は之を歎過するの餘儀なき現況なり尤も大體の物扱ひが停滯せるを以て運賃は高くとも小荷物扱ひとして積込を請求するもの多く從つて小手荷物數は激増し僅に四十分の時間を以て全部税關を濟まし積替へを爲すは甚だ難事なるは免れ難きも聞く所に依れば朝鮮に於て既に託送中に明記しあるものを安東縣に於て再び數量や秤量するもの尠からずそれが爲め他方面に亘りて迄遲滯を見、積遲れするもの尠からずと云ふ連絡扱ひとして一度數量を險斤し引受けたる以上更に安東縣に於て險斤するの必要なかるべく若し數量に於て不安の點あらばその受附當時に嚴格なる險斤を行ひ中途に於て之が再手數を要せざる樣改良されたしと云ふもの多し只に鮮魚のみならず到着日時が一日差異あれば其相場に於て大變動をもの尠からず之等荷主の便宜を計るべく何とか方法を講ぜられたしと云ふ聲高く奉天一部商人は之を商業會議所に提議主務管理局に對し改善實行を爲さん事を請願せしめんと企てつゝあるものあり（奉天）

◎近寒の季に入る
北鮮地方の近情

北鮮地方は既に結氷期に入り潮湖地方に於ても本月十日頃は零下十五度を示したるが斯く寒氣の增進すると共に一般の苦痛を感ずるは燃料の問題にして本年は各地方共燃料暴騰の聲を聞く、清津地方に於ては田舍より薪炭の出廻りなき爲め例年の約倍額の高價を唱へつゝあるが之れが主なる原因は

◆運搬力の缺乏 に在り例年農家の副業とする牛車に依る薪炭の運搬は他に有利なる白豆其他工事用等の運搬に從事し薪炭運搬に從事せざる結果にして昨年頃一牛車二圓內外なる薪は本年四五圓を唱へつゝある有樣なり之れを以て一面にては

◆薪炭價調節策 として都邑地に對し薪炭供給を計畫し清津府の如きも極力之れが救濟策を講究し既に其の方案は決定し着手中なり更に燃料としての石炭は清津會寧間開通以來清津市中にては多く會寧炭を使用しつゝあるが此の會寧炭が山元より停車場まで運搬の牛車を悉く例の

◆白豆運搬の爲 奪はれたる爲め清津市中は勿論會寧市中にても殆ど出廻りなき爲め市民は暖爐を据付るも焚く能はず

◆零下十何度 の寒天に顫へ居る有樣にて殊に石炭を常用とする湯屋の如きは石炭缺乏の爲め休業するものある狀態なり尚ほ間島地方は白豆の本場とて白豆運搬の爲め蒙りたる打擊は一層甚大にして酷寒地の事とて一般住民は頗る困憊しつゝありと（清津）

◎朝鮮へ送るべき麥粉を差押ゆ
◆交渉の結果辛うじて◆ 荷物だけは輸送を許可さる

曩に支那政府は防穀令を發布すると共に滿洲産麥粉の輸出に對しても輸出税を徴する事を令達し一般支那人の輸出を禁したる事は既報の如くであるが日本人に對しては未だ何等通知なきを以て今回奉天大島洋行及び渡邊製粉會社支店は

朝鮮方面に輸出

を企て已に麥粉六貨車を安東縣を經由して輸送した所が突然安東税關に於て差押へられ輸送を拒止されしに依り關係者は直ちに當局を經て奉天交渉員と協議の結果該貨物だけは辛うじて輸出を許可さるゝ事となつた（奉天）

◎第六小學校
◆釜山と校舎の割當て◆

釜山府の校舎の建設は益々著しく隨つて學齡兒童の增加も甚だしく第六尋常小學校の建築も略ぼ竣成に近づき居れるが同學校組合は將來の補習科を廢止し來年度より高等小學校の復活の事となり居れる模樣なるが之れに付き將來の行掛り上第五尋常小學校に併置すべきは當然の觀あるも翻つて釜山府の經濟狀態より考ふれば總ての訓練上の他に於て併置するは面白からざる點多々あるを以て今回新築せられたる第六尋常校舎を單立の高等小學校として第六尋常小學校に收容すべき豫定の學童を利便の各學校に割當入學せしむるを以て最上の方法とする者もあり尚且第六尋常小學校を高等小學校として獨立せしむる理由としては大正通り方面の利川若しくは萬一寶業學校併置の際の利便寒風降雨等に際しても年齡の關係上遠距離なりとも敢て苦痛を感ぜざる等にして不日釜山學校組合にても附議さるべしと某氏は語り居たり（釜山）

◎增收四五割

本年城津郡及び奧地吉州明川端川各地に於ける大豆は近年稀有の豐穰にして昨年に比し四五割方の增收ありと噂されつゝあるが本冬幾許の大豆が城津港より移出さるべきかを豫想するに城津吉州端川の三郡と明川郡の一部に亘り二十五萬叺は確實に城津港に呑吐し得べき見込みなりとされ之れを昨年の移出高五萬叺に比せんか優に五倍の增收あるべき見込みありと（城津）

◎冬季と黒鉛坑

城津港より內地仕向け移出の黒鉛は本年四月以降今日までのもの約七百六十噸に達せるが現在作業を繼續するものは旭礦業山下礦業の二箇所に止まれるが結氷期も漸く迫りたるを以て二箇所共に近く作業を中止すべしと而して城津に於ける在庫品は約二百噸內外なりと（清津）

◎不漁の原因

北鮮明川郡沿海漁業は近來大漁業家の注目する所となり本年の如き日本水産會社を初め多數の漁撈者ありしが本秋明川方面海上は兎角不穩勝ちにて潮流の關係上漁業に障碍を與へ不漁なりしに最近流行性感冒の襲來あり漁夫の罹病多く爲に製津の日本水産の如きは漁業を中止するに至れり而して同沿海黄津及び富津にては本期鰤二萬尾鰤二萬尾の漁獲ありたるが之れ東海岸に於ける本期漁業の成績なるべしと因に漁獲物は全部內地に輸送せり（清津）

★祝賀會（吉林）

吉林督軍孟恩遠省長郭宗熙の兩氏は休戰條約成立を慶賀すべく十六日正午日英米佛露の各國官民及び日本官民の重なるもの百餘名を省長公署に招待して盛大なる協商國勝利祝賀會を催したり（十六日）

◎清津に劇場
◆初めて芝居ができた◆

清津に於ける娛樂機關の缺如せるに鑑み岡本、後藤、岩田、藤井四氏の共同出資に依り本年七月下旬より起工せる清津座劇場は工事も略ぼ豫定の如く進捗し既に竣功を見たるを以て十五日舞臺開きをなす事となつたが總工費は約一萬五千圓で大阪の難波座に酷似其に氣候の關係上防寒的設備を施したもので木材の廉價な清津だから此の位の工費で出來たもの、京城方面なら確に二萬數千圓を要するに違ひない建物は二階造り瓦葺の總建坪□□坪で優に一千人の觀客を收容する事が出來るので清津として過ぎたもので此位の劇場は全鮮中他に一寸あるまいとの事である（清津）

◎築港利用研究
◆荷揚げ狀態と其設備◆

仁川築港は竣成した、閘門渠は最も完全に出來て閘門船舶の呑吐を許はれつゝある、日々入渠の船舶は亦數隻に達して渠內岸壁に繫留したる艀付船舶の光景は眞に殷盛を極めて居る、市民の宿望は茲に達成せられた、抃舞之が竣成を謳つた市民は今如何に之が利用を爲されつゝあるかに就いて周到なる注意を拂へるや否幾に設けられた築港利用調査會は竣成前に於て利用方法の豫想研究を主とするものでなく築港竣功利用後に於ける事實の得否に鑑みて其最善の設備法案を建以て最良の施設を研究要請する事が却つて其の主なる目的のものである然らば將來は必ず此

◆調査會 の周密なる調査研究に依て現在の不便とする處は逐次ご掛せらるゝの時あるを期待し得らるゝのであるが試みに現在如何にして渠內の作業を爲されつゝあるかを研究する事は最も必要なる事項であらう築港の利用を始めて未だ幾日をも經過しない今日そこに多少の不備不完全のものあるは免れ得ない事であるがそれ等は皆施設の改良其他に依つて直ちに其不便は除却せられ得るものである先づ第一當業者の最も不便を感じ苦痛としつゝある處のものは即ち荷役道具の皆無である之が爲めに折角岸壁に橫附けしたる船舶も其の過半以上は尚は艀船荷役を爲さねばならぬ狀態にあるのは最も遺憾とする處である

◆岸壁に 繫留した船舶も陸揚荷役の如く然く安全であり得ないのは勿論で荷物の墜落を防ぐ爲めにはネットの必要があり船橋から陸上に運搬するには完全なる橋板を要する事は論を俟たない仁川築港は其の設備に於て無類に完備したものであるが未だ其の船利用の途は開けても荷役に要する之等の設備がない之が爲め荷役中に誤つて荷物を艀側と岸壁との中間に墜落させて責任の歸着する處に迷ふ等の例も絶無でなく既に數日前某船の荷役中誤つて砂糖を二俵海中に墜落させた杯の例もある斯の如くにては運送店も不安であり

◆入荷主 も艀渠內の作業を嫌がり船舶も亦却て安全とする艀船作業を希望する樣になり斯くて誇るべき閘門渠の利用は遂に全く失はるべきに至りはしないか現在ウインチ作業を行ひ艫部を岸壁に附けて僅に其一部にウインチ作業を行ひ其大部分は艀船作業に依ると云ふ有樣である之等は一つに荷揚道具の設備を缺くに起因する不便である又潮の干滿に伴れて渠內の水量を增減し干潮時に於ける船側の低下は甚だしく岸壁の平衡を失する爲め全然荷役の

◆不可能 なるが如き之等も艀船の設備橋板の利用等に依つて容易に此の不便を一掃し得らるゝのであるが聞く處に依れば其設備に要する經費の如き之れを來年度の豫算に計上せらるべきを以て早くも一年後の今日ならでは竣成實現なかるべしと果して然らば今後一箇年間の不便を如何にするかに就き研究を要する問題は幾多あるを想ふのである其他石炭或は原鹽陸揚の如き渠內で

◆艀船に 積み取つて更に閘門外に出て、濟州棧橋に着き或は仁川驛裏の荷揚場に揚陸する等何等竣功前と變る事なき作業を繰り返しつゝあるが如き不便は之れ全く陸上設備の不完全に依るものと云はねばならぬ或は貯炭場設備の如き原鹽の取扱ひに便する如き更に沿岸貿易荷揚げ場とせる東南面の船腹にカーブ機關車使用の途を講ずる等現在の實狀に鑑みて研究改良を要請すべき點多きを思はしむるのである（仁川）

◎效果多かりし＝機動演習
內地に於て遭遇し得ざる困難

吉州方面に於て舉行せし本年の北部隊機動演習に參加せし將官各將校幕僚は何れも好成績なるが同演習に參加せる某將校は曰く

今回舉行の機動演習は本旅團長の統裁の下に十月二十七日より三十日に至る四日間騎兵隊對抗演習を行ひ三十一日は休養し越て十一月一日二日は本旅團長の統裁の下に旅團對抗演習を施行せり此の日夕刻より寒風雨襲來し翌日未明まで間斷なく吹き續き降り續かれ其の苦痛身骨に徹し宛ら戰場に在りたると何等異なる所なかりしなり若し內地に於て斯る場合に遭遇せんか何とか臨機の措置に就き將卒馬匹の保健上取るべき手段もありたるならんも何しろ茫々たる無人の境の夜凄じく燈火一つだに無き荒野に一夜露營の苦難を甞めたるには聊か以て閉口せざるを得ざりしなり斯くて本年に於ける北鮮部隊の演習は終結を告げたるなり（清津）

◎佐々木道長官

慶南道長官佐々木藤太郎氏は感冒にて一時重態なりしが去る十四日より下熱に復し經過良好なり（晋州）

大郎見物（六）
算盤の稽古　一寶生

お腹も出來た煙草も吸つた、ドレ之からやつと共進會が見られる。エー抑も本共進會は地方費を以て主催とし、大正七年八月十日工を起こし同年十月二十五日工を終れり、地方費の投加經費約二萬圓、大邱府にては協賛會を組織し一般府民の寄附醵出金を以て經費約二萬五千圓を投じ本會に盛況を添へ且つ管下郡島亦郡島協賛會を組織し之を一道に通じ聯合會を組織し經費約一萬二千圓を以て本會の成功を助くるのであります、馬寸巾しとげたいが何卒手ッ取り早くお願は出來ますまいか。宜敷々々少し早く行かう、而しお前さんは算盤を知つて居るかね、ウ、よし〱、エー出品點數第一部農産品五千九百六十點也、第二部園藝品一千五百二十七點也、第三部蠶業品二千二百四十三點也、第四部畜産物四百三十五點也、第五部林産品四百八十一點也、第六部水産品八百三十二點也、第七部工産品千八百三十一點ナーリー、同釀造品二百七十九點ナーリー、第八部經濟が唯の二十點ナーリー、其から參考品や何や、乎を締て出品總數定が一萬五千六百七十六點也。サアアノ〱之から館內へお這入りなさい、イヤ何うも痛み入つた話で、まるで算盤の稽古に來たやうなものだ。其から爲すべて居たが、此會場の廣さ、即ち使用面積ですね、之が第一會場一萬四千坪、第二會場として畜産舘一千坪、並に協賛會餘興場跡地として五千三百坪此の通計二萬三百有餘坪、イヤ何うも數字攻めでは御免を蒙りたい。此向きで一々、エー本館の前に往生、ハイ〱知つて居ますから積はなこやられた日には其こそ亦獨りで拜見仕ります。第一會場、即ち本館から遂に這入つて行く、此處は治外法權だこあら、左側通行のお叱かりは蒙らぬ約束だ、が逆にゆくと見物人に一々突當らねばならぬ、白衣の先生に正面突擊は治安を害するのみならず此方も大分原の穴の平和を害する恐れがあるから、一と先づ表に突き抜けて、廻れ右で又這入る、まるで鼬の石垣くゞり然たる處は可笑い。サア之からが百聞は一見に如かずかね。エー本館は第一號館と稱し、白堊燦光の建物にして、面積二百八十坪、オヤ〱又始まつた。正面を見ると道産業の大勢を示した作りがある、之が先づ中心館とでも申すものだらう、大分こみ合ふ、之ではお先へ失敬せざるを得ぬ、儀を見てソツと落伍して之れから獨りぼつちになる、と氣がスーツとしたやれ〱命がけの見物ぢや

◎悲慘なる二巡査の家庭
……妻女の逆上
◇遺兒を抱いて病褥に◇

北鮮地方の流行性感冒は既に終熄に近づきつゝあるが城津地方は獨り未だ今以て猖獗して罹病者多く死亡者も少からざるが殊に氣の毒なるは城津署管內……駐在所和泉巡査は妻女の感冒を看護しつゝある內自分も同時しか感染し夫婦枕を並べて病褥に臥し交通不便の田舍の事とて內地人醫師は居ず又夫婦共に身動きもならざれば醫師を迎ふる術もなく鮮人醫生に託したる內妻女の病氣は漸く危篤に瀕し夫の病勢も亦募り

夫婦は悶ゆ苦み 枕を並べて女房を後に遺して和泉巡査は遂に死去せるより城津署よりは署員を派して遺骨と共に病婦を城津に送り屆け葬儀を營みしが病氣癒えざる妻女は悲嘆の餘り神經を亢奮し物狂はし氣に病床を飛び出すなど

他所の見る目も 哀れを催されたり又端川……巡査は流行性感冒にて城津病院に入院し三人の小供を抱へし妻の看護を受けて治療中なりし松興里駐在所の巡査も遂に死去したるが妻女は氣分優れざるを推て看護に努めし

甲斐もなく夫は 死去し遺兒も亦病褥に臥し居ることて是亦床に就きて悲歎に暮れ居る有樣は他所の見る目も氣の毒なりと（清津）

◎署長の退院 感冒に罹りたる……警察署長は總惠病院に入院せしが全快退院せり（晋州）

寫眞 京日寫眞製版部
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 迅速と懇切を以て最も廉價に御高需に可應候

◎新羅の古都 ◎慶州案內（續）
大邱より半日にて達し得べき觀光地

◎鮑石亭 慶州の南方一里十五丁 哀史を千古に傳ふ

寫眞の下の方にあるのが鮑石亭であります、昔新羅の王樣が遊宴をした所で御覽の通り今こそ壞はれた手水鉢の水落しの樣なものでありますが、能く見ると鮑の形に石を疊んだ泉水であります、昔は此の泉水に絶へず清流があつて國王が寵妃群臣を隨へて觴を流して曲水の宴を張つたものでありますが、前述の如く新羅も末になつて段々文弱に流れ遂に五十五世景哀王の代になつて亡びその後五十六世の敬順王が王統を繼ぎましたが、遂に國を擧げて高麗に降服したので遂に千年の王業が亡びたのであります、さうして此の鮑石亭に千古の哀史を殘したといふお話は斯うであります。

蟹目嶺上愁雲凝
松聲常帶千年哀（俗謠）

時は今より約九百九十餘年前のこと何分其頃の新羅王室に腐敗が兆して居りましたので國王は連日酒と女に耽つて居りました、爲に紀綱弛廢して國內は頗る亂れ如く盜賊は四方に起り國帑も疲弊の極に達したる際に乘じて甄萱といふ者が王城を攻め亡ぼして景哀王に自殺させ王族の傅といふ者を立て五十六世の王位を繼がせたのでありますが高麗王國の爲めに併合されて了つたのであります、所が何しろ景哀王の末路の如きは恰も最近の露國廢帝の如き慘憺たる最後を遂げたのであります。時は同王の四年冬十一月とありますから今の十二月に當りませう、相變らず景哀王は御氣に入りの妃や群臣を集めて綺樂なお庭で酒宴を催してると突然賊兵が來襲したのでありますが當時の詩に

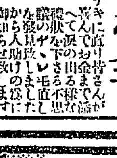
羅王昔日厭萬機、金輿玉輦長徘徊、流連此地弄清波、羽觴泛々隨波來、君臣酣歌入醉鄕、滿城動地如春雷、不悟敵兵入心腹、白日鐵騎踏卿枚、蹀血宮庭那忍說、倉皇胡市飛塵埃、宮娥死轉啼軍前、寶鈿零落委草萊、

と云ふ有樣で恰度玄宗皇帝が楊貴妃を亡つたときの騷動の樣で、後景哀王の遺骸は南山蟹目嶺に葬つたのであります、此の遺跡は五陵の南方內南面にあつて鮑石里といふ名を今に止どめて居ります

◎羅井 內南面塔里 五陵の東南

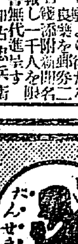
新羅始祖赫居世出現の傳說地で內南面塔里五陵の東南にある小高き地の松林中にある井戸であります又附近に閼英井といふ井戸があつて之は同妃の出現地だといふ傳說を殘して居ります

一千反限り
新機 高貴織 十八金色指環進呈
高貴織が一反七十錢で買へるとは原料の高き今日嘘のやうだが現に過去七年間呉服の格安亂賣で評判を取つた東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店が最新流行新機高貴織を前記の馬鹿値で投賣しつゝあるが日々物根が生へて飛ぶ大賣行柄合も地質も一見高價の本場物に負ぬ上等品でタッタ二圓七十錢、特別上製乙號三圓二十錢同甲號四圓二十錢と云ふ一風變つた大安賣は損なりけり目出度い大賣出しの記念としてメッキでなき正金代用に適ふ不思議の十八金色指環を十反の注文毎に無代進呈をなす由因に地方の希望者は同店へ死ハガキにて男女別年齡記し申込めば柄合親切に選び代金引換送料實費で送るとの事



ちゞれ毛
ドンナ縮毛な毛でもザキに直り皆さんが喜んで居ります御遠慮なく右の用法を請求して下さい……
一册お申りの方に無代進呈致します
東京淺草山ノ宿町五十一丁目 ……

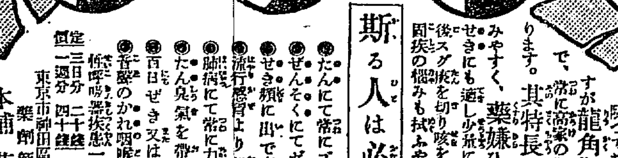
素人の自家用として理髪研究會長の發明になる最新式
新案特許
大正式バリカン
特價一組金圓五拾錢送料一組廿錢
切味良好 替刃は代用無き合着
調整（時間ニ交換ス）
用特御註文に限り廣告の爲め替刃バネ襟毛拂ブケトリ油ブラシ耳カキ調耳棒無代進呈
東京市本郷區湯島六丁目十五番地
日本發明製作所
電話下谷七二二 振替二四〇四〇番



中風病きちう
余が家は祖父及び父と三代に亘り引続き中風病にて困難したる實驗より得たる良藥を發明し一千人に限り無代進呈す
記入照會の方は詳報し郵券二錢封入のこと
兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

八木田博士御處方 島田博士御鑑查
アナタの胃病には マーゲン
強胃消化錠
本劑の特色
二博士御鑑查の本
マーゲンは理想的に病藥と異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を能く疲れ食慾を増進し胃弱を治し胃腸の迅速に乏しく胃の病を愈すに當る
大阪市東區上本町五丁目 田畑保榮堂

宮内省御用達
龍角散
たんせき ぜんそくの
輕い苦しみ……
重い苦しみ……
最も重態の苦しみを切る！
死亡率の多い惡性の風邪が流行出ました何人もふとした風邪心地がたんきとなりぜんそくとなると決して油斷がなりません、遂には肺炎、肋膜炎、乃至肺結核になり一生不治の病に泣かねばなりません。されば如何に輕いたんせきの人でも早くたんせき、ぜんそくの專門藥として有名な龍角散を服用し現在の苦痛を除き大患を未然に防ぎなさい



たんせき、ぜんそくは死病の内に數へられて居る程で、其症は非常な苦痛を感ずる物です。隨つておなじ藥も多くありますが龍角散は最も由緒ある物で、常に高家の御用命を蒙ふして居ります。其特長は香味爽かに服みやすく、藥嫌ひの人、子供のたんせきにも適し少量にて效果著しく服用後スグ痰を切り咳を鎮め息切を止め永年固疾の惱みも拭ふやうに自然に治癒します

斯る人は必ず試みよ
●たんにて常にゴホン〱と惱む人
●ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
●せき頻に出で夜中眠られぬ人
●流行感冒より起るたんせきの人
●肺病にて常に力なきせきの出る人
●たん兒氣を帶び時々血の交る人
●百日ぜき又ははしかぜきの小兒
●香聲のかれ咽喉の痛み其他慢性急性呼吸器疾患一切の痰咳に効あり

價定 三日分二十錢 一週分四十錢 二週分 一月分壹圓 六十五錢 送料無料
本舖 藤井得三郎
東京市神田區須田町 藥劑師
電話神田二〇七八 振替東京一九〇番

●取次全國各藥店にあり

商況

東京株式特電

日前場 先限引値

東株 二三六、〇〇
同新 一九五、九〇
郵船 一〇四、〇〇
商船 二〇六、五〇
鐘紡 二四三、五〇

東京現株中値

日

朝鮮銀行 二五五、〇〇
南滿鐵道 一七一、〇〇
同新 一四八、〇〇
第一新株 一〇四、〇〇
第二新株 六八、〇〇
南滿製糖 一二二、〇〇
朝鮮製糖 一一一、〇〇
滿洲製粉 八一、〇〇
京城電氣 五八、〇〇
朝鮮瓦斯 二〇、五〇

東京期米特電

大阪株式特電

十八日前場 先限寄付 三十四圓〆三圓

大阪三品特電

十八日前場 寄 止め

十一月限 三四五、〇〇
十二月限
一月限
二月限
三月限
四月限 一六一、〇〇

大阪期米特電

兵庫期米特電

十八日前場 先限寄付 三十三圓二十錢 六錢

下關期米特電

十八日前場 先限寄付 三三、五九

雜報

各地高正米强し

寄付 當限 中限 先限
高値
安値
止め

●綿糸布反騰

休會明けの大阪三品は十六日米棉一圓五十錢高十七日六圓高にて内地景氣强しとの入電あり休日明けの今前場は當限三百四十五圓先限十六圓十錢十五日引値より當限五圓先限十六圓餘の反撥を演じ綿布三銘は十圓十錢休日中の氣配より三十錢方引返したり

●正米强持合

正米は帰米筋の總てが格好品の潤澤を持して依然過まざるも猶高定期高及天候關係にて荷主の賣腰強き爲め安値には商談折合はず氣配としては持合ながら强硬を見し居れり今は又々輸送困難に惹起し釜山市場の如き波として氣高を報じつゝあるが積出しの不能に歸つて遠く京城方面には却々積出し叶はざる事情なれば當地に取りては弱

●種油市況漸落

種油は帰相説の流布以來海外輸出殆ど杜絶の狀態なるに原料荏安値第へにく依然見送り態度を持續し商動き頗る緩慢なるより市況漸落し更に五十錢方一齊に下押し内地相場も二十圓丁度を落込みたるが目先氣配も亦良らず頗る安に買商狀益々軟化し更に小口買方一齊に引緩めり

胡麻油

胡麻油は當行の振好なるも原料胡麻の二十三圓見當と頗る强く桐油も爲替の關係にて氣薄く依然關係なしの成行也

●砂糖先高構へ

砂糖は北綾金融上一部に於て投物的割安賣行もれつゝある一般氣配は依然ゼーの十六圓見當を維持せるのみならず獨作原關印後の精糖會社の態度は平相の結況を構へ更に强硬を加へ最近の賣出値段は十五圓五十錢な最底にて當業者に居る有様にて當市中値も前約の精品減退し採算値の十錢に運れ泡り

●内地麥市況

小麥は先物は勿論現物取引も殆ど皆無の姿にて京城方面の需要も何等手引不振なり實は只本品の反撥も何等頑利潤の外に賣り込せらるゝ材料不振なり一般に絡ませられ手相なかれ其の外海の材料の如きは本年の大豐作の初め何にとりては會社値の十七錢へと管現するや漸り離しさ現況の如く行はれ居れるが如し

七圓見當迄は引

綿まらん傾向あり尙强氣一部の中には年末の大豐作なり

●石油値上げ

石油は例の如く一般が在荷潤に加はれて漸く需要季節に入りき活況を呈せる一面平和後は益々歐洲方面の需要は漸次增加なべしさて氣配強く内地市場は十九日ラジン・シヤン單獨二個高を發表したるが十六日午後に至り當地にもラ社一圓方の値上しス社も五十錢方を引上げたり

松岡の十三圓五十錢

輸入の關係より從來の例を破り市中値は建値引上げに應じなし

六十錢方

種油は帰相説の流布以來海外輸出殆ど杜絶の狀態なるに原料荏

●日米値下げ

白米は精米所に於ける軍隊米の賞出し其他所よりの高値注文に應し米價は高値を持する穀物の實なかりしが、本に市中值段は原料と採算以上の賣値を維持し來りしが、十八日より市中卸値を一等米は三引下げ一圓方の下げ十六圓文さなしたり前三日中に一段落を告ぐる精米所の買れ各精米所共に販先市中製に於ても漸く輸送され來らん由なれば同じく内地より驛渡の三十五圓五六十錢處にて相當の引合ひも可能なり其低落の時期は尚小賣值の下げを見る限り甚しき下げは餘

材料目すべき

材料と目すべきも大體の氣配の如き市場にて時季柄一般の用穀物を既に敷設の激至景み難き折柄此が將らくは前の激落を見るにあらず尙此變化小高下を繰返す難く當分底をわかる

●大麥

大麥は前の大商洛により値を見立て以は日本先品の上値を見込み難き情勢の合で相當の折柄を示して此の來るの者も大にあり

●染料軟弱見送

染料は依然輕弱に傾き一般市況も一部の品は今夕の高値に比し三割以上下落を告げたるものもあり單に買控へ弱含みにて比較的手堅き成行きを維持せる向きも未だ相場の折下ぐる迄には到らず先行き懸念にて見送り狀態なり市況不振

●工業藥品暴落

工業藥品類は過般来講和の報に接し市況益々不振と相場の低落を來し一般の投物續出せる結果殆ど恐慌狀態を呈せる處最近の内地市價は曹達灰一噸見當三十圓價達灰十二圓石炭酸一圓五十錢安と暴落したり

下關相場

朝鮮米は總じて閑散にて其後白米六百叺の廻着ありしも買進みなく成行は依然買控にて荷主の手持も漸く多くなりし結果相場は次第に下り氣味なり

京城正米市場

仁川正米

生魚市場

京城日丸市場

仁川期米

十八日前場 (暴騰)

第一節 當限不申中合八圓より二十五錢と暴騰し二十錢先二十七圓二十錢と寄付八錢高に寄付きたるも

釜山物市場

▲新小鳥 昨日も輸出筋及び地場筋より商内活潑
▲朝鮮一等米 四十圓二十錢
▲同小口 四十一圓
▲朝鮮大玉小 二十三圓八十錢
▲釜山新大豆 二十四圓五十錢
▲深川新大豆
▲宮川大豆抱口

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川海岸町三丁目 電話長六十三番

仁川米豆取引所仲買人 三仲買店

電話一五八番 長一二五番 電話七三〇番

大阪兵庫高移

暴騰したる

更に四十錢

十八日前場

市場雜觀

肩代成立

二十八圓三十錢

中限は五千石

然平均賣に腰

今は高直に依

强弱筋は期近

强弱腰入益深

仁川米豆取引所

十八日の一月限

前場 寄付 止め 高値 安値 出來高

平均節 一節 二節 三節 四節 九節

白米標準値

三十六圓

白米小賣値

三十七錢 三十六錢五厘

演藝案内

壽館

本町一丁目 電話一〇五〇番 十一月十八日より

大正館

黄金町 電話八七三番

『三度目』
『妖雲』
『迷の雲』

一寸德兵衞

壽座

本町三丁目 電話五七八番 大阪歌舞伎大一座

有樂館

寢臺車の秘密

夜半の叫

くらかけ峠

浪花館

黄金館

左甚五郎

大秘密

花時雨

文樂座

本町五丁目 電話三二八番

田村質店

黄金町長谷川町入口 電話二九一六番 商品擔保便利取扱

○ミツワ解熱錠

感冒を治し解熱及鎭痛の効驗顯著なる

みつわげねつじやう

適應症候

感冒、流行性感冒、急性及慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛、以上諸病に因る發熱及疼痛、俗に謂ふ疝氣、寸白、肩癖

感冒の爲に熱が出て頭が重く、鼻汁が多く出たり咽喉が痛んだりすること、又レウマチスに罹つて關節なり筋肉なりが腫れて痛み、動かすことの出來ぬやうなとき、又頭痛や肋間其の他の神經痛に惱まさるゝことなどには、ミツワ解熱錠を用ふるに限る。本劑は其の名の通り、感冒やレウマチス又流行性感冒等の熱を解くのは勿論のこと、尙レウマチスや神經痛の疼痛を鎭めるもので、他の多くの解熱藥と異なり胃を害ふことがないから食氣を減らし惡心や嘔吐を起すやうなこともなく、身體を弱らせることもなく、而も奏効の確實な良劑で、類似の藥劑を遙かに凌いで居るものである。

三十錠入 金七拾錢 百錠入 金貳圓

○ミツワ祛痰錠

祛痰を目的とし鎭咳消炎の効を兼ぬる

みつわ・たんせきのくすり

適應症候

急性及慢性咽喉加答兒、急性及慢性氣管枝加答兒、肺結核、尖肺加答兒、肋膜炎其他總て呼吸器病の爲め痰の出る場合

感冒や急性慢性の氣管枝加答兒に罹つて、氣管内に粘いやうな刺戟を覺え、頻りに咳嗽が出て、痰も亦之に從つて盛んに出て苦しい咳嗽に引續き食物を吐きなどする場合に、其の咳嗽を鎭め痰を祛るには、內務省告示のミツワ祛痰錠を服むに限る。本劑は痰祛藥として其の作用の緩和で而も永く續く鎭咳藥を選んで之を配合して痰を溶かして略き出し易くし且つ其分泌を減らす藥で其の他數種の鎭咳祛痰劑を配合したもの故、氣管枝や肺又肋膜等總て呼吸器の病で痰の出ることには、是非之を用ひねばならぬのである。

三十錠入 金四拾五錢 百錠入 金壹圓四拾錢

○ミツワ鎭痛液

レウマチス神經痛等の疼痛を鎭むる

みつわ・いたみぬりぐすり

適應症候

打撲傷、挫傷、關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛、俗に謂ふ疝氣、肩癖等の爲め疼痛のある場合

過つて高い處から落ち、或は何物かに衝突して、身體の或部分を打つた場合、又手や足を挫いた場合、レウマチスで關節や筋肉の痛む折、神經痛で疼痛のある際などには、ミツワ鎭痛液を塗るに限る。本劑はサリツト、カンフル、アルニカ丁幾、椒丁幾、チミアン油、テレビン油、迷迭香油、丁香油、エーテル、アルコール等の鎭痛の効力强く防腐殺菌の作用ある藥を適當に配合したもので、是等の疼痛あることに塗布藥として至極適當のものである。又レウマチスや神經痛のことは本劑に兼ねてミツワ解熱錠を服むと尙又一層顯著な効驗がある。

一壜 金四拾錢

發賣元 日本橋 ミツワ石鹸本舖 東京橋町 丸見屋商店

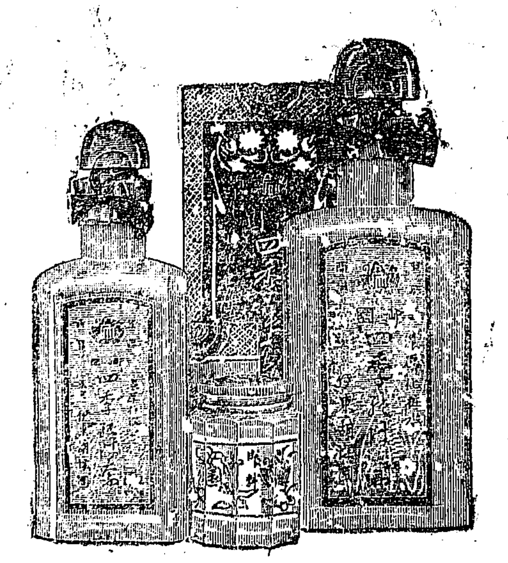
皮膚の荒れを防ぐ

◇美しくて上品な化粧の秘訣

皮膚が荒れては美しい御化粧が出來ません、朝夕の洗面後、入浴後に化粧水御園四季の花をお塗になつて置きますと、決して皮膚の荒れる事がなく、何時も艷々とした美しさを保ち、白粉が美しく着きます。

◇必ず美しい御化粧が出來る

尙一層皮膚を整へ、美しい御化粧榮えのする樣になさるには、御化粧する前に白粉下に御園クレームを用ゐますと、肌理が細かく滑かになり御園白粉の着も際立つてよく、容易く美しい御化粧が出來ます。



化粧水 御園四季の花

白粉下 御園クレーム

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園　御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(522)

◇會員募集◇

江戸時代人情本洒落本絶版禁止物を會員組織にて配本目録内容見本規定ハガキ申込次第

珍書配本

東京神田表猿樂町廿一 トモエ文庫

ミシン賣買

▲針●油●部分品卸小賣▼
▲確實ナル修繕▼
▲營業案内進呈▼
▲御用ノ方ハ御一報次第參上

京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店

適應症

一、思考判斷及び記憶力の減耗を強むる
二、精神過勞、肉體の疲勞を恢復す
三、脳筋骨の疼痛を癒す
四、產前産後及病後の衰弱
五、血の道、神經衰弱不眠症
六、子なき人に良し
七、貧血虚弱、姙娠に良し
八、手足、腰の冷ゆるに良し
九、陰萎精及子宮病に良し

主効

神經衰弱、貧血症、腎臟病、肝臟病、胃腸病、ヒステリー、ヒポコンデリー、早老、リウマチス、生殖器病、精力減退

人參三倍ノ强壯劑

淫羊藿エキス いんやうかくえきす

通稱三枝九葉草エキス

定價 三十丸入 金一圓 五十丸入 金一圓五十錢 百丸入 金二圓五十錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城特約店 北島支店 山岸天佑堂

京城日報 第五版

講和と帝國

一

講和會議は案外急速に開かるべき形勢なり。是れ獨逸の國情甚だ切迫し、一日も早く平和を克復するにあらざれば、到底國內の秩序を維持し能はざるの事情あり。殊に休戰條約成れりと雖も、猶其の封鎖は依然として繼存するが故に、獨逸に於る食糧の缺乏甚だしく、講和の成る一日を緩うせば、それだけ國民を飢餓に泣かしむるの狀態に在れば、米國大統領に向つて直ちに講和會議に入らんことを切望しつゝあるは、隱れなきの事實なり。米國大統領も亦戰後に於て敵國人民を救濟するの必要を認め公然之を聲明しある程なれば、當然此の切望を容るゝに吝ならざるべく、特に講和會議の延引に因り、獨逸をして露國の覆轍を踏ましむる如きあらば、聯合各邦も談判の對手を失ひ、少からざる不都合を感ずべきを以て、いづれ遠からずして各邦の同意を以て、大戰終末の切盤はヴェルサイユに於て開かるべしと期待せらる。

二

何をいふにも講和會議の大立物は、英米佛の三國にとゞめをさゝざるべからず。伊太利、白耳義、塞爾維之れに次ぎ、羅馬尼、チェックスロヴァック、黑山國、希臘等の諸小國と雖も、特殊の利害の關係あれば、皆相當の發言權を有すべし。露國は開戰當初は無論一方の立役者たりしと雖も、中途にして彼が如きの狀態に陷り、且つ革命後の政府は未だ列國の承認を得ざるの現狀なるを以て、たとひ委員の列席を得とするも、其の發言は大に制限せられざるを得ず。所謂講和會議に於ける大體の取極めは、英米佛三國の意嚮に因りて決定せらるゝものと見て可なるべく、其他の小國に至りては、各自國境の劃定等、細目に亘れるものに就いて、各自の意見を提供し得べきのみ。

三

然らば日本帝國の講和會議に於ける立場如何といふに、別段何も處慮するにも及ばざる譯なれば、要求すべきだけのものを要求し、主張すべきだけのものを主張するは當然なりと雖も、歐洲に於ける國境の劃定、民族の自治獨立、損害の賠償問題等に關しては、直接の利害關係を有せざるを以て、強ひて意見を挾むの必要を見ず。此點に於いては歐洲に於ける第二等國と同格位に見て可なり。而も是れ決して國家の體面を傷くるものにあらず、地理的關係之をして然らしむるのみ。若夫獨逸植民地處分問題、特に東洋に關するものに至りては、帝國の主張は無論列邦の贊重する所たるべく、之に對して最も公明正大にして、且つ確實なる主張なかるべからざるなり。殊に極東利害問題に至りては、將來の平和に關する最も大なるものあるを以て、切實なる提言を爲すの要あり、特に米國に對して協調を保たざるべからず。

四

之を要するに帝國が歐洲大戰に對するの態度は、宣戰の詔勅に灼然たり。固より領土的野心を抱くにもあらず、東洋の平和を維持するがため、盟邦に對する信義を伸ぶるがため、更に之を擴大すれば世界人類に對する同情心の發動に外ならざるを以て、講和會議に際しても、多くの利得を想像するが如きは、謬見たるを免れず。彼の青島處分の如き、帝國政府が既に支那に還附すべきを聲明しあれば、或る時機(例へば支那の秩序の全く恢復するの時)を俟ち、必然實行せらるべきことなるべし。唯其れ講和會議と共に、將來世界平和に關する條件、即ち米國大統領が聲言せる國際聯盟の如きものゝ論議に入る如きあらば、帝國は飽くまで人道正義を本として、現在被りつゝある不公平の取扱ひを打破するに努めざるべからざるなり。

東京便り

(十一月十四日東京發)

◇獨逸の崩壞は戰敗の結果にあらずして、內部の決裂に基因する事、今や明白の事實と相成候。外國電報の傳ふる所に擬へば、社會民主黨の擡頭、獨立社會黨の飛躍、過激派思想の蔓延等其の主因を爲せる趣きに候

◇獨逸の屈伏は世界平和の爲め慶賀すべきは勿論也。然れども屈伏の裏面に潛在する恐るべき動因を究察せよ。聯合國又慨然として怖れざるべからざるものあるにあらずや。冷靜なる識者は一時の快樂に陶醉して永遠の得失を忘るゝ迂愚を敢てせず

◇吾人の第一に考察を必要とするは、獨逸の現狀が一時の變象なるか、永久の崩壞なるかに在り。同時に現時の變態が獨逸民族全體の理想なるか、將た一部與黨の志望の發現に外ならざるかに在り。聯合國經由の諸情報は、一種の色彩に富み、獨逸の內情を詳悉すべく、若干不十分の感無きを得ず。これ記者が獨逸の前途に對し、濫りに輕卒なる豫言を試みざる所以に候

◇第二は、獨逸を內部より崩壞したる時代精神が、他日聯合國自身を禍ひする懸念無きや否やに在り。從來特殊の文化を有し、且つ國民の組織力と國家の統一性に於て世界に其の優秀を誇れる獨逸にして、社會的動搖今日の如しとせば、聯合國の將來又深憂に堪へざるものなくんばあらず候。識者は敵國の現狀に鑑み、切實戒心するの所あるを要す

◇第三は、最近の民主的風潮が果して人類の幸福を增進する所以なりや否やに在り。聯合國の戰爭目的は、獨逸を倒して過激派思想を蔓延せしめんが爲にあらず、所謂民主的精神の煽動にも、自から制限を附せずんばあるべからず候。既に敵國の崩壞に手を擴きたる聯合國は再び其の失敗を繰り返すべからず候

◇第四は、今次の大戰に依り歐洲各地に幾多の巴爾幹問題を殘存せしめたる點に候。彼等は世界の永久的平和を熱望しつゝ、歐洲各地に多數の小弱國を建設し、再び禍亂の原因を作製せるにあらずや。一方に小弱國を建設して列強の爭奪慾を挑發しつゝ、他方に永久平和を要求するは矛盾撞著も甚だし。聯合國の平和思想には尙幾多の缺陷あるを免れず候

◇凡そ以上の四點は、時局の將來を考察するに方り、大方讀者の切實省察せられん事を望む所に候。吾人は素より戰捷の祝酒に陶醉して、未來の運命に無關心なる能はず。世界の平和と人類の幸福とが、獨逸の屈伏と現金引き替に受け取り得ざるを悲しまざる能はず候。吾人は敵國の崩壞を喜ぶと雖も、聯合國の將來又多事多難なるを虞ひ、試みに前記の數點を擧げて識者の高教を仰がんと欲す

現代印度の事情(一)

岡教邃師講演

昨報の如く本月十七日日出小學校に於て試みられたる岡教邃師の講演は[illegible]頗る有益なるものあり左に其要領を抄錄して讀者諸君の一覽に供すべし

私は是から印度のことに就て御話を申上げやうと思ふのであるが、印度は御承知の通り昔天竺或は月氏國とも呼ばれたのである。一體國の名稱は他國から誂つて呼ばれたのを其儘傳へることが甚だ多い。印度も耶蘇紀元前二百八九十年の頃歷山大王が波斯を征服し尙もだん／＼と東の方へ遠征してヒンヅウクッシュ山脈を越へてヒンドウ河(インダス河)の畔に出た時に希臘人がヒンドウのヒンから茲語のイッチの音を脫がしてインドウにして仕舞つて夫を歐洲に紹介し我國でも印度と稱する樣になつたのである。印度の文明は頗る早くから開けたもので就中宗教、美術などは世界に於て印度が特に群を拔けて發達した。支那所謂時代の燦爛たる文明は宗教殊に佛教美術即ち建築繪畫彫刻等に於て多分に印度の影響を受けて居る。其頃唐の勢力は所謂西域地方に迄及び印度とも盛んに交通して宗教其他の文明を印度から輸入したものである。而して當時印度の文化は爪哇スマトラ等の南洋諸島に迄も傳はつて居た。續いて朝鮮日本も佛教と共に印度文明を輸入する樣になり奈良朝時代東大寺大佛の建立に當つては朝鮮支那などから澤山の坊樣が渡來したが尙ほ印度の坊樣も三人渡來したもので是れ恐らく日本に印度人が來たのは史あつて以來初めての世界的行動であつたと云ひ得よう。處が時代が變ると妙なもので其後各國共種々の變轉をして行く間に別れ／＼の方向を辿つて國際的交通など殆んど無くなつて仕舞つた。現今日本と支那とは東洋人の國として世界に知られて居るが印度は吾々東洋人にすら除り注意せられず却つて遠い西洋諸國の事情は割合によくお互の間に知られて居る是れは今日は歐羅巴文明の全盛時代で東洋の文學美術其他總てのものが隱れて世界の水平線下に沈んで居ると云ふ狀態だからである。印度は面積百八十萬方里人口は約三億一千萬もあるであらう土地は北の方はヒマラヤ山脈即ち昔大雪山と稱へた所の一萬尺二萬尺と云ふ高峰が鋸の歯の如くに聳えて眞白く千古の雪を戴いて居る。南になる程地形が狹くなつて大體三角形を爲して居る。一概に印度と云へば昔佛樣の生れられた國で何でも天に近いから涼しいさうだ位に誰でも思つて居る。成る程暑いのは本當だが夫でも始終焼け死ぬる樣に照り付ける許りするのでもない。一番暑いのは三月から五月迄此時季には戶外は百二十度から百四十度位にもなつて厚いヘルメット帽を冠つて出ても頭に暑さが通り迚も外步きは出來ない

英米戰時教育(下)

米國遂に覇たり

▽米國を見給へ 今日まで米國人及び米國の教育に關して最も見縊り居たるは日本人も英國人さへも見縊り居たり然るに參戰後の米國の活動振りには流石の英國も米國の教育の實際に多大の注目を拂ふに至れり英國の一新聞は曰く『凡そ國力民富の增加は其國民の有せる自然の資質に寄與する所大ならんも他の一部は其國民の有するアクチビテーにあり而して其國民のアクチビテーは之を先天的後天的の二種に分たるべし國民の經濟的成功は先天的なるより寧ろ後天的訓練にして最もより善く教育せられたる國民の頭上に落ち來ることが明瞭せられたり即ち國民の成功上先天的アクチビテイは第二義に屬し寧ろ後天的にサイエンスチック、ブレーニングを經たるものを以て第一義と置くべし』と論ぜり斯くて記者は英國教育が今日まで漫然として所謂紳士的に品好き人物を造り上ぐるに努力せるも今やこ等の裝飾的教育を廢して實際的の人物を養成すべきを指摘せり而して英國が教育の實用的利用的なるを輕視せるを難じたり

▽英國漸く醒む 教育の內容が如何に實際的利用的に變せるかは米國に於る中學校の學課の配合に就て見るを得べし紐育附近の二十有餘の各中學校の學課目は各校何れも配合を異にし生徒は自ら好む所の學課目に熟せしめられ且つ各方面に進みつゝあり到底我邦の如き畫一主義の國には企及し得ざる學課目の自由と豐富さを見るべし而して最近中學の新しき形式として發達せるはコスモポリタン、ハイスクール、ルーシ敍上の新精神が最も強く表せるものなり要するに中學校は從來の綜合大學の概念と同じく中學校卒業者は既に在學中實生活に間に合ふ敎育を授けらるゝことゝなれり要するに予の見る所を以てすれば米佛の教育的實狀を觀察し佛は別として英國は教育上遂に米國に對して一敗地に塗れたりと見らるべし英國は戰時に於て絕大の勇猛心を奮ひて戰ひつゝあらんなれども米國は更に一層の果斷と勇氣を示せり無學者多しとて笑はれたる米國は數箇月ならずして四十八州全部に禁酒令を布き人民は能く之に甘んぜり試みに見られよロンドン市街を女子の泥醉者は屢々予等の目に留まるにあらずや戰後に日本の教育には優秀なる點も多く存すべけれど中等初等の教育には尙ほ一層根本的の改革を要すべきもの少からず(東京)

結局ヴェルサイユ乎

講和會議地

講和談判地の選定に就いては遠からず聯合國側にて定めらるべきも今一二の點より之れを豫測せんに米國大統領ウィルソン氏は講和談判地は交戰國にて開く可きものにあらず必ず中立國ならざるべからずと痛說せり又佛國外相クレマンソー氏は是非ヴェルサイユに定むべしと力說せるが是れ五十年前の屈辱に對する宿怨を晴らさんとの希望にもあれど吾人を以て見れば單に其れのみならず交戰國二十四箇國の使節隨員等多人數の集會所としてはヴェルサイユを措きては他に恐らく相當の場所なかるべきかと想はる聯合國側の多くも其の意向に傾くなれば結局は同地に選定せらるべきかと觀測せらる(東京[illegible])

邂逅

五十三 佐々木峰雪

悔悟(一)

庄左衞門は卒倒せんばかりに驚いた。驚きの色はやがて憤りの色と變つて、目は朱を濺へたやうに血走つた。

『鬼、惡魔』庄左衞門は踉蹌々々と起つて、お里の襟髮取つて七八つ續け打ちに打ち据ゑた。

『旦那樣お免し下さい』

『[illegible]人でなしな事を爲やがつて、[illegible]から無理に勸められても、それを止めるのが人情ちや無いか、人の道ちや無いか、如何に繼子と云へ、毒藥をもつて人の命を取つた者が殺人ある、この人でなし奴、今にお染諸共引括つて人殺しの制裁を受けさせてやらうわ』

『旦那樣御免下さい、妾は[illegible]に縮まれて、據なく惡いと知りながら爲たのでございます、どうかお免し下さい』

『いやならん、二人の惡魔をふん縛つて、警察の手に引き渡してくれる』

庄左衞門は斯う云ふ間も、庄造に心引かれて、其身はいつか庄造の側へ寄つた。

『坊苦しいだらう』

熱い庄左衞門の淚が仰向きに寢かされた庄造の頰の邊りへ落ちた。其度毎にびくり／＼動いて、庄吉の手を離さじと握つて居る右手を夢のやうに動かした。

『坊、お父さんだ、お父さんが分るか』頰と頰とを摺り付けても何一言の應へも無い。

『庄ちやん』と庄吉は力一杯に呼んで『お父さんがお來でになつたよ、庄ちやん／＼』と呼ぶと閉ぢて居た眼を見開いて『兄ちやん、兄ちやん』と幽かに咽喉の奥で云つて、聲のした庄吉の方へ寢返りをして、苦しい中から左手を出して手探りに、庄吉の膝先から顏の邊りを撫で廻した。

『兄ちやん』と又一聲呼んでぐんなり手を落した。然し握つた右手は離さ無かつた。

『庄ちやんお父さんだよ』

『ね、兄ちやんお父さん……』

『あ……』

『何處に』と力ない手を上げて頻りと求めた。

『お、坊お父さんだ、これだ／＼』と手を差し出して握らした。

『これお父さん』と頭だけ庄左衞門の方を向けて『僕お父さん死にます』

『お、』と庄左衞門は我を忘れて泣いた、庄五郞も吉兵衞も共に庄造を取り卷いて泣いた。

『お父さん堪忍して下さい、わたしお菓子を換へなかつたら庄ちやんこんな目に逢やしないんだに、わたしお菓子換たのが惡かつたのや、どうか堪忍して下さい』庄吉は今更のやうにおい／＼と泣いた

『いや／＼庄坊に惡い所は一つも無い』

『でもわたしお菓子換へ無かつたら』

『なに若樣、あなたに[illegible]と思うた譯が、自分の可愛い兒に當つて、淺間しい死にやうをするのも、前生から定つた約束と云ふのも、前生から定つた約束事でごわりまする』と沈んだ細い眼を瞬いて『坊ちやま苦しごわりませう、なにも生んでもらうた親の手にかゝつて死ぬのも、前生の約束なら仕方がごわりません、それが因緣でごわります、此世では立派な親子でも、前の世で仇同士でごわりましたのぢや』吉兵衞は鼻啜り上げて聲を呑んだ。

『兄上今も爺の云ふ通り、庄坊の殘れる筈の毒を、自分から好んで菓子の換つ事をして、死ぬるといふのもやつぱり因緣です、諦めるより外ありません』庄五郞の聲も鼻へ掛つた。

『うむ』と庄左衞門は唸るやうに『それにしても憎い奴はお染ぢや今に來さうなものぢやい來たら引縛つて……』

『如何にしても遲い』と庄五郞も待つた。

『なにこんな事とは勿論氣付かない、佐山とかいふ客來があつたのぢや』

『ちや天下茶屋の叔父さん』と庄吉は云ふ。

『庄坊は知つて居るのか』と庄五郞は覗いた。

眼鏡

(少年倶樂部)抄

▲老眼と近眼 老眼鏡(凸レンズ)と近眼鏡(凹レンズ)の出來たのは今より五百年位前である。老眼鏡が發見されたのは十三世紀、七百年前で一番初めに用ゐだしたのは今より五百年前で一般に用ゐられる樣になつたのは漸く十九世紀初めである

▲十八日後場 大阪商船が三十三圓二十八錢の入(?)[illegible]

本日の出合

當店の賣物 朝鮮商業銀行株 朝鮮製紙新株 朝鮮紡織株 大阪製鐵新株

當店の買物 朝鮮殖産銀行株 京城電氣新株 朝鮮輕鐵株 南滿鐵第一新株 同 第二新株

公債株式現物賣買 新田耕市商店 京城櫻井町一丁目 電話五七〇番 一八八二番

商業登記公告 [illegible] 地方法院水原支廳

公告 [illegible] 大正七年十一月十七日 全羅北道長官 李軫鎬

金融組合登記公告 [illegible] 地方法院鐵原支廳

實業之日本

海外投資 來る時代 / 鐵を背景とする世界戰爭 理學博士 井上禧之助 / 日本高速度鋼事業 / 米國の力を理解せよ 新渡戶博士 / 講和問題 獨逸の降服と媾和條件 慶大教授 田中一貞 / 媾和條件と日本の戰利品 / 獨逸の支拂ふべき總勘定 衆議院議員 林毅陸 / 實業界の風氣刷新 增田社長 / 工業經營の新研究 淨田博士 / 財界前途三大問題 小池博士 櫻田博士 堀越善重郎 / 流行寒冒の豫防と手當 眼鏡使用者に注意 / 大鑛山國 南米ボリビア

◇十一月十五日號◇一冊十八錢 郵稅一錢 半年武圓七十錢 一年五圓◇東京京橋南傳馬町 實業之日本社 振替東京三二六番◇

中學程度を學ばんとする青年諸君 自宅獨習者の爲めに各科教科書を半額以下にて供給す往復はがき一枚を投じて目錄一冊御請求あれ 東京市神田區三崎町一丁目 振替東京六四九九番 青松堂書店

東京 大阪 自動車學校 自動車運轉手技師販賣員短期養成 校外生と雖莫大の收入あり 校外生及校內生三百名何人も入學許す規則書誌送 東京市京橋區 大阪市西區

朝鮮學術研究會編 發行所 京城本町 振替三三三 ウツボヤ書店 中學校 商業學校 女學校 高等普通學校 入學試驗問題集答案

本月中旬發行 四六版二百頁 定價金五十錢 學生諸君……御待兼の入學試驗問題 賣切れぬ內に…買ふて入學の榮を得られん事を 發賣元 京城日報社代理部 取次販賣所 大阪屋 岩松堂 日韓書房

木炭 平壤栗 (卸小賣) 根炭 白炭 山成り德用品 手撰德用品虫喰なし 御用の御方は電話三〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候 京城本町三丁目 貿易雜貨商 藤富國太郎商店 長電話三〇八番 振替京城一七七八番

モーター (半馬力以上三百馬力迄) 發電機 變壓器 配電盤 諸材料 在庫豊富

株式會社奧村電機商會總代理店 株式會社安部幸兵衛商店大阪支店 大阪市南區末吉橋通二丁目 機械電氣部 機械工作所 製品課目 陸船用汽機、各種喞筒、鑛山用肥料用諸機械、電氣捲揚機、一般工作機械、傳導裝置一式 電話長堀 一〇〇〇 二〇〇〇 三〇〇〇 四〇〇〇

小學校卒業生が自宅で獨習して出來る二大講義錄

模範英語講義錄 學費低廉目下七大特典提供(講義錄見本附)校則無代進呈 ◎六ヶ月卒業◎速成三ケ月 ARCも知らぬ人に僅々數ヶ月で米語の基礎的學力を授け中學三四年生が讀めば既修の學力を徹底的に腦裏に注入す(來年より學費値上實行即時入學を便とす)

模範商業簿記講義錄 ◎四ヶ月卒業◎速成二ヶ月 我國は世界の成金國である諸種の事業勃興し各所に簿記係の需要激增せり

發行所 東京神田小川町一 電話本局三〇九七番 振替東京四一六九四番 私立認可 正則タイピスト學校

本紙定價 一ヶ月金[illegible] 廣告料金 五號十五字詰一行[illegible] 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話 二六〇〇 一八六九〇〇 一四三八〇〇

◇講和會議開催期

講和會議は明春早々ヴエルサイユにて開催さる可し(巴里電報)

◇休戰條約修正懇願

墺國政府米大統領に對し

華盛頓來電＝墺太利政府はウイルソン大統領に對し土耳其の休戰條件を修正して數千の墺匈國民を土耳其に殘留せしめ斯くて彼等が本國に歸還することより生ずる重大なる食糧問題の惡果より免れしむる樣聯合國と共に盡力せんことを乞へり(東京特電)

◇前獨帝和蘭移住反對

陰謀を廻らす虞ありとして

倫敦來電＝前獨帝の和蘭移住は國内の同志と陰謀を廻らす虞あるより大なる反對あり和蘭政府中には彼を俘虜として待遇し講和調印後は聯合國に引渡すべしと主張する者あり(東京特電)

◇獨艦艇引渡申込

紐育來電＝倫敦よりの報道に依れば獨逸勞兵會は獨逸艦艇を聯合國に引渡さんが爲め英國海軍省代表者に對し會見を申込めり(東京特電)

◇獨外相要求確認

米國々務卿は講和會議を急がしむる獨逸外相ゾルフの要求を確認せり而して獨逸に對し單に米國のみならず各聯合國にも訴求す可き事を述べたり(華盛頓電報)

◇獨逸全權委員

シヤイデマンは近くヴエルサイユに開催さる可き講和會議に於る獨逸全權委員たる可し(巴里電報)

◇ベートマン講和大使説

獨逸側より來る可き講和大使は未だ決定せざるも多分獨逸に重國の爲め郤けられたるベートマン、ホルウエヒ任命さる可しとの説あり(東京特電)

◇ワルソー暴動鎭靜

ワルソーにて獨逸軍隊及び市民の多數暴動を起したるが暴徒は武裝を解除せる後捕縛されたり(桑港電報)

附記 ワルソーは露西亞の西南、ウイスツラ河沿岸にある波蘭の首都にして商工業隆盛、人口約七十八萬あり今次の戰役にて獨軍に占領さる

◇英國艦隊露都占領疑問

英國艦隊が波羅的海に入り芬蘭灣に入りたるは確實なるもペトログラード占領説は疑問也但しネバ河未だ結氷し居らざれば溯航し得可きも其目的如何は窺知し難きものありと某消息通は語れり(東京特電)

◇和蘭形勢險惡

和蘭に於る革命は形勢險惡となり社會黨は女王ウイルヘルミナ陛下の退位を要求しつゝありヨレンキール、コーリン氏は英國より召還され同氏をして新内閣を組織せしむる爲ならんと推測さる(桑港電報)

◇米佛軍メッツ占領

米佛軍は既にメッツ外郭砲壘を占領し目下市内に前進を續けつゝあり(桑港電報)

◇獨軍アントワープ撤退

傳へらる處に據れば獨軍は既にアントワープを撤退せりと(桑港電報)

◇社會黨過激主義抑壓

倫敦來電＝獨逸社會黨は國民に對し此の際露國過激主義を奬勵せんとするが如き企を爲す時は聯合國は獨逸を占領すべしと聲明せり(東京特電)

◎化學工業前途

化學工業の不利將來の影響を受て

先進國も專ら輸入に待つの状態なりしかば戰後我國の如きは一時[illegible]作り急速なる發展を遂げ得たる[illegible]末より本年に入りて略同時に起り和の成立を見ても左したる衰運に[illegible]遭遇するは少からん然も其生產品[illegible]以來生產規模の擴張に依りて生產[illegible]額の減少を計り待し[illegible]

▲沃度工業 に到りては原料生產地は內米地[illegible]現在以上の生產を爲し得て充分存立し得るならん[illegible]可からざるものなれば當業者は先研究を爲して有利なる生產方[illegible]來殆んど我國に存在せず專ら獨逸製品の輸入に待ちし事なれば最近[illegible]ものは少かる可し且つ戰時中爆藥の製造に從事せし工場は何れも其[illegible]る事こて殆んど無關稅同樣にて輸入せらるゝ事こなれば此の改正な[illegible]

◇墺匈國共和宣言

チユーリッヒ經由維也納發電報に曰く墺匈國は十七日共和の宣言を發表せり(桑港電報)

◇獨波蘭撤退開始

獨軍は波蘭の撤退を開始せり(桑港電報)

◇淳宮御歸京

淳宮殿下は十八日午後一時小山驛御出發三時上野驛著御歸京あらせられたり(東京特電)

◇勤王家贈位

後報 十八日大演習舉行地方に於ける先賢勤王家其他贈位(昨夕判所報以外)の御沙汰を賜はりたるは贈正二位三名、贈從二位一名、贈從三位十四名、贈正四位七名、贈從四位七名、贈正五位四十一名、贈從五位五十六名總計百二十九名なり(東京特電)

□統監陛下御閲兵

聖上陛下には十八日午前八時半大本營御出門内山侍從武官長以下各部員を隨へさせられ同九時一分小山驛著閑院宮殿下以下の奉迎を受けさせられ閲兵式場に臨御英佛米以下各國武官に謁見仰付られ後御馬車にて近衛、第一以下順次御閲兵あり更に分列式御覽の後御機嫌麗しく大本營に還幸あらせられたり尚淳宮殿下は中央幼年學校生徒の御資格にて玉座東方にて閲兵式分列式を御陪覽ありたり(宇都宮電報)

◇策命使差遣

十八日贈位されたる從三位以上の者に對しては夫々墓前に策命使を差遣せらる可し(東京特電)

◇明年度豫算提出期

明年度豫算概算書は大藏省主計局にて否定を急ぎつゝあるも閣議に提出し得可き時期は早くも十二月上旬なる可しと(東京特電)

◇支那講和大使出發期

支那講和大使陸徵祥氏一行は日本經由十二月六日横濱發天洋丸にて渡歐の途に就く可し(北京特電)

◎講和と支那

和平問題

齋藤中將談

駐支公使館附武官陸軍中將齋藤季治郎氏は此の和平問題に就て語るが中將の談に曰く

▲休戰條約 成立に對し支那人一般の感想は極めて冷淡にして殆んど關知せざるもの、如くなるが然し南北妥協に對する支那人の自覺ある以上この休戰條約により世界各國が戰禍より免れ五年振に平和に復せるに支那それのみが兵を事とするは世界の大勢より見て時代錯誤の感あるは否認し得ざる爲この意味よりして休戰條約が支那和平問題に對し一つの刺戟となりたるや疑ひなく若し何等の刺戟自覺を與へずこせばそは無神經こいふ外なきなり

▲講和會議 には各國より使節を特派し樽俎折衝何れもその要求の貫徹に努むべきが支那より果して何人を使節こして會議に列せしむるや今尚不明なるも恐らく前外交總長陸徵祥氏特使こして派遣さるべしこ信ぜらる同氏は穩健なる人物にて巧言令色は氏に求め難きも併し講和會議なごには氏の如き人物が默々の間に列國の同情を引く所謂云はざるは云ふに優る底の効果を擧ぐるべく氏を措きて他に適任者なき爲多分氏が使節こして差遣さるゝこことなるべし

▲和平問題 に關し結局武力を以て南北統一をなす以外今日他に手段なしこ極論するものあれごも武力統一は現在において全く人氣なく世界の大勢が武力解決こ相反するに於て最早武力解決はその力なく又効果に於て何等見るべきなきは之れを察知するに難からず飽く迄武力によれば支那は屏息し萎縮し一歩一歩亡國の深淵に陷るものこ一般に見做され居り兎ても武力解決は實行し難からん副總統選擧問題は一方に於てその選擧を急ぐべしこ主張するものあれば他方に於て是に反對し妨害するものあり形勢依然こして猶の如く内閣更迭も或は錢能訓がその首班たり若しくば内閣一部改造なご傳へらるゝも未だ決定したる譯に非ず此又混沌たる状態にあり

▲借款打切 りは支那の和平問題を促進せしむるに於て適宜の措置なるがこの反動こして米國などに借款を持出すは免れ難き所ならんも吾々が家屋敷を抵當こし首も廻らぬ破目こなるこ同じく支那が素りに擔保を提供し借款をなすは大に注意せざるべからず前林公使及び芳澤代理公使はかる二十五日頃北京出發歸朝の途に就く筈にて其の上京は大演習陪觀のためにて滞京約一箇月の豫定なり

◇英首相の新政策

自由黨勞働黨一派の行動注目

倫敦來電＝本月十二日首相ロイドジヨージ氏の聲明せる新政策を約言すれば國内に在りては自由主義國外に對しては保守主義に從はんこするに在り政黨政治と云はんより寧ろ個人的政治とも稱すべきものにて舊來の政黨政治を否認するものなり然れば此の變局に處し自由黨首領アスキス氏及び勞働黨一派が如何なる行動に出るかは痛く世人の注目を惹きつゝあり(東京特電)

◇米政府檢閲廢止

米國は今後新聞、電信、郵便の檢閲を廢止するに決せり(桑港電報)

◎上海こ朝鮮

橋本鮮銀上海支店長談

入京中なりし鮮銀上海支店長橋本某氏の談片左の如し

大戰開始以來日本の對支貿易活動は非常のものにして或は鬼の居ぬ間の洗濯の觀あれど今日支那に於ける吾が商權は支那全貿易額約十億圓に對しその

▲約四割 乃ち四億圓を占め上海貿易のみを見るも戰前第一位なりし英國を凌いでその年額四億圓中一億五千萬圓は日本關係となり居れり戰後も此の状態を續け得るや否やは諸種の觀測あるも英佛獨米の來犯は必ず猛しきものあるべく現勢の繼續は素より困難と斷ずる外なし然し乍らその減退が幾許に留まるかは吾が實業家の努力如何に存すべきも在支邦商の粒揃ひなるに比すれば邦商は資力具備の者多からざる弱點ある如し上海方面こ

▲朝鮮との商關係 は現在に於て殆んご絶無こ稱して可なり爲替關係の如きも全くこれなく而して將來も密接こなり得る素地ありやこいふに予の知る所にては先づ六ケ敷き如し唯朝鮮上海間の航路にても開かるゝ事こならば上海方面製織の絹物を朝鮮に輸入し朝鮮產物を上海に輸出するの途は通ずべきか米も中部支那には生產し必ずしも母國若くは朝鮮に求むる必要なきなり

◎朝鮮產業利源現況(上)

京城商業會議所の調査に據る朝鮮に於ける利源產業の一班を見るに朝鮮現在の產業は朝鮮固有の產業を改善せる新政後こ雖も新規の事業少く唯從來の產業を基礎こし時の組織に

▲工夫改良を施 したるものゝみ而も民間の經濟事情に何等特種の施設を與へず之れ臺灣の製糖業の如く滿洲の石炭大豆鐵工業の如く外來者の眼を奪ふが如きものなき所以なり然れごも特殊產業の存在せざるは其土地の利源の乏しきを意味するものに非ず一千五百萬の鮮人が年々其の富を增加し山路の草木を繁すが如く臺灣の千篇に充てるが如く普偏的に順序を追ひ徐々こして確實なる利源の開發を試みつゝあるは臺灣滿洲等の遠く企て及ばざる點なりとす今朝鮮に於ける主要產物發展の狀況を示せば次の如し(單位圓)

	[illegible]	大正六年
米	二、三五三、九六二	三、三三七、三九九
豆類	[illegible]	[illegible]
麥	[illegible]	[illegible]
在來棉	[illegible]	[illegible]
陸地棉	[illegible]	[illegible]
繭	[illegible]	[illegible]
麻	[illegible]	[illegible]
煙草	九九、一六六	九七、一六八

右表の外或は織物の如き或は諸種の雜貨製造の如き殆んど吾人日常の必需品を網羅し假令技術又は生產の方法は幼稚なりと雖も其等の需要は決して

▲缺乏枯渇せり こ言ふべからず而も朝鮮には今日に於てこそ尚ほ未だ世界的に何等認めらるゝものなしと雖も棉花の如き蠶の如き或は纖の如き他日は少くとも東洋市場に於ける重要なる貨物たらしむること遠き未來に非ざるべきを思はしむ右表の示す所によれば陸地棉が明治四十二年に於て漸く四十五萬斤を產出し得たるものが大正六年に於て約五千五百萬斤を產出し得たる如き其の增加の大なる誠に驚嘆すべきものあり斯くして成長の條件を具備し帝國領土内唯一の地域たると共に棉花が朝鮮の特殊產業たるべき運命を明かにするものならずや鑛業が如何に

▲朝鮮の風土に 適するやは最早説明を要せざるべし本調査に於て各郡が共に鑛業に適せる所以を力説せるを見るも知るべし專門家の言を聞くに朝鮮は内地に比し遙に鑛業に適當せる諸種の條件を具ふと言ふ若果して然らば朝鮮の鑛業は前途誠に洋々たるものにして或は朝鮮の富を造るものは米豆に非ず棉花に非ずして寧ろ鑛業を以て鎭頭とすべきやを思はしむ

◎露貨相場波瀾

十三日休戰條約調印の報長春並にハルビンに傳はりたる際は露貨相場一騰して百圓に三百八十留を示せしも其後又復戻りの状態となり十八日長春並にハルビンよりの鮮銀入電は四百十留こ三十留方の激落を示せり尚ほ講和期の切迫は露貨の前途弱調を來すべしと想像されつゝあるも然も尚ほ騰落の波瀾は繼續し行くべし

◎仁川期米新値

十八日の後場暴騰

十八日前場に於て暴騰せし仁川の期米は後場に至つて先物高値二十七圓七十六錢の新値を出したるが材料は内地期米高の影響にて安値二十七圓五十九錢と落ちしも仁川期米の新記錄なり

◎市川中將出發

[illegible]軍參謀長より由良要塞司令官に榮轉せし陸軍中將市川堅太郎氏は家族同伴十八日午前八時龍山驛發列車にて赴任したるが停車場には[illegible]長官、松永長官、大野内務部長、藤田醫官、[illegible]鮮銀副總裁、南理事、松崎朝郵局長、野三井賀田東拓理事その他の官民有力者並に夫人連の見送り多かりき

◎韓一支店認可

株式會社韓一銀行京城南大門通り支店設置の件は豫て許可申請中の處十五日附許可の指令ありたり

◎藤原製紙社長

藤原朝鮮製紙社長は北京方面よりの歸途十八日午前九時半當地通過新義州に向へり同地事業視察の上京城經由歸東の豫定なり(奉天電報)

◎志岐組總支配人

嘗に九州セメント會社長たりし大町發佐は今回志岐組總支配人として同組に入り鮮、滿、山東、西伯利方面の事業に從事すべしと

人事消息

▲永谷千萬吉氏(平壤鑛山所長) 十八日午後七時二十分南大門驛列車にて入京朝鮮ホテルへ

▲木口兵二郎氏(東京實業家) 十八日浦尾へ

▲國宮恒德氏(鮮銀新義州支店長) 十八日京城着任

▲房崎虎二郎氏(殖銀全州支店長) 十六日京城着

▲森信一氏(同光州支店長) 同上

▲中村李六氏(同群山支店長) 同上

▲七里常一(同清津支店長) 十七日

▲伊森明治氏(同咸興支店長) 同上

▲佐藤兆氏(同鏡城支店長) 同上

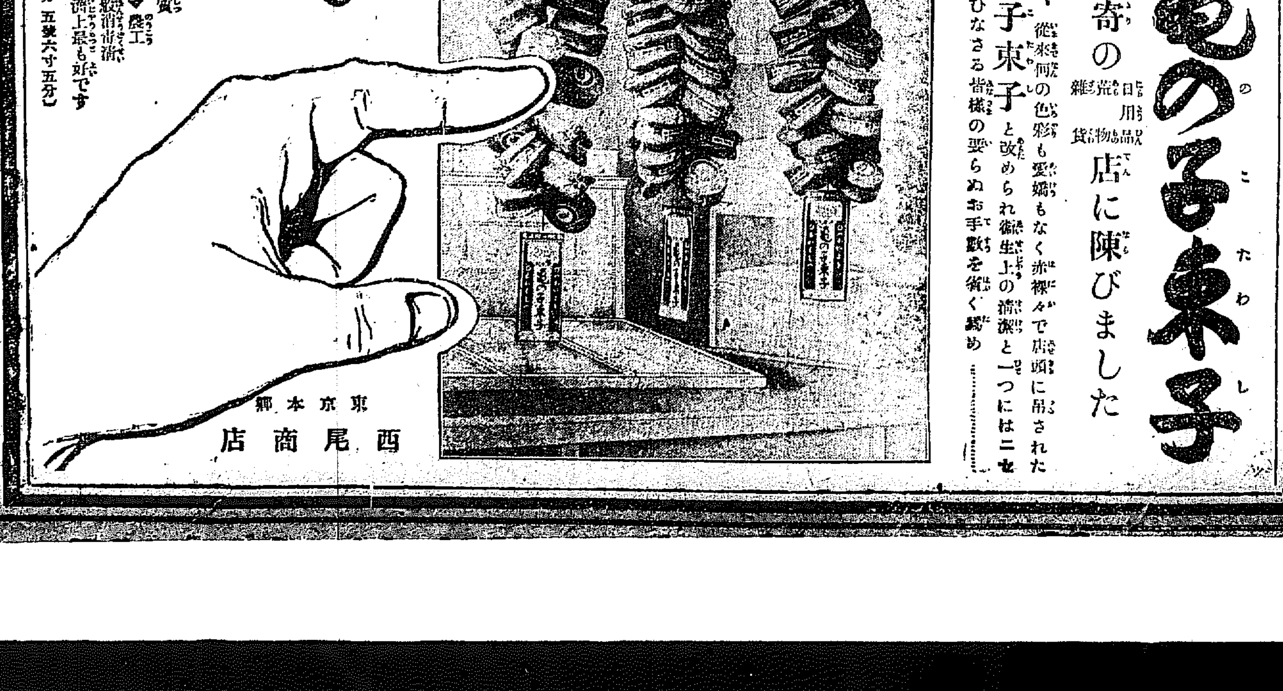
▲井關八(同木浦支店長) 同上

▲今井武八氏(同平壤支店長) 同上

▲本岡卯之吉氏(元山商議會頭) 同上

◎……◎ 鳥瞰錄 ◎……◎

▲永登浦の皮革會社が牛毛纖維を始めてから社長賀田直治氏は早速こ牛毛纖でモーニングを拵へ到る處で吹聽して歩いて居る▲ツイ先達ての事各道林務主任會議で入京中の人々を皮革會社へ案内の爲南大門驛に來ると去る知人が牛毛纖のオーバコートを著込んでるのに出逢したので▲賀田氏よい見本だこでも思つたものか『之れが牛毛纖ですが立派なものでせう』でその知人を驛の構内人群りの處を引つ張り廻すので▲其男スッカリ悄氣て了ひ『アー騷いた牛毛纖なんてあんまり自慢にもならぬものを着所もあらうに人中で吹聽に及ばれては全く色氣なしだ之れでは牛毛纖もよしあしだモー懲り懲りだ』▲小宮前李王職次官は目下は鎭靜閒微候こ李王世子の御相談役こを拜命して居るが▲相變らず漢詩や書に親んで居る外謠を作つて自ら例の樂燒を熱心にやつて居る相な▲今度李王世子の御婚儀が濟んだら東京をすつかり引き拂つて逗子の寄樂莊こ云ふ處に新築中の邸に移り思ひのまゝ雨談晴耕をやるこか▲其述懷こ云ふのが老退卜居松菊鄉、詩茶消日氣悠々、駿臺御影翻波面、豆岬橫形激浪頭、此海青巒雄將覽、波山曾對美姬愁、存亡哀樂渾駒隙、吾亦何期百年遊、である相な

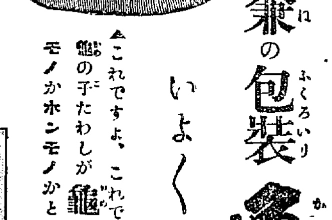


龜の子束子 ▼用途こ特長▲

▼食器洗滌用として器物を清潔にし消毒の必要なく▼炊事器洗滌用として器物を傷めず新しくなり▼衣類洗濯用として石鹸の効果を助け落ち早く地質を損せず▼浴室洗面所用として清潔と消毒を兼ね▼農工業用船舶用として作業工程の進捗を助け▼其他一般消毒清潔洗拭用として各部に一個づゝ用意せば衞生こ經濟上最も好適です

【一號三寸五分 二號四寸 三號四寸五分 四號五寸五分 五號六寸五分】

東京本郷 西尾商店



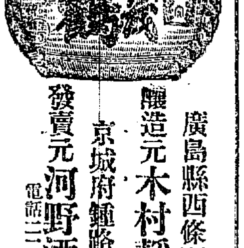
お待兼の包裝 龜の子束子 いよ〳〵最寄の雜貨荒物日用品店に陳びました

▲これですよ、これですよ、從來何の色彩も愛嬌もなく赤裸々で店頭に吊された龜の子たわしが龜の子束子と改められ衞生上の清潔と一つにはニセモノかホンモノかとお疑ひなさる皆樣の要らぬお手數を省く爲め

利益の一部を割いて美しい包裝の費用に充てたので將來は誰方が御覽になつても一見してスグ龜の子の商標がお目に留まります

比較て御覽なさい！ニセモノたわしこ包裝したホンモノの龜の子束子こ如何に品位の違ふかを……

優等清酒



廣島縣西條町 釀造元 木村靜彦

京城府鍾路(中央市場) 發賣元 河野酒店 電話二二〇八番

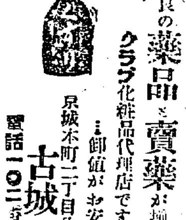
内外科 小兒科 花柳病

京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番 高井醫院

診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

院長 正六位勳四等功五級 高井貞治

副院長 千葉醫學士 松崎正彦



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから…御値がお安いです

京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七

美容術と毛の 東京美容院

技師長北原十三男先生 發賣元 日本化粧品株式會社

色白藥 毛生藥

東京美容院の色白藥毛生藥 にきび そばかす ぬけ毛 脱毛 やせる藥 その他一切の美顔料及藥品は院長北原男氏數回の洋行研究と本院の實地經驗に數百の來院者に使用して絶大の信用を[illegible] 詳細說明書贈呈 東京神田駿河臺 [illegible] 電話[illegible]

◎◎ストーフ各種及附屬品 魔法瓶中瓶取替

京城府本町三丁目 和洋金物商 佐藤半次郎商店 電話長一四三番 振替口座京城二二三〇番

▲一般的觀察 [illegible]
發以前の化學工業は殆んど獨逸の[illegible]の影響によりて相當の收益を得た獨占事業たるの觀ありて本業等の[illegible]りしを以て新設會社は雨後の筍の如く設立せられたり然るに昨年[illegible]秀なる物なりしより新設會社中の基礎薄弱なるものは自然陶汰せらるゝに到り現に存在する諸會社は講[illegible]

▲[illegible]會社にありては創業以來相當の歷史を有し戰前にても一割程度の配當を爲し得たりしものなるに開戰[illegible]戰前に於て發見し得ざりし原鑛を發見したる事なれば時日の經過と共に益々有利の作業を行ひ得可し[illegible]は覺悟せざるを得ざる可し

▲肥料用燐酸類 にありては講和[illegible]後船腹增加の運賃の低落を來さばが一朝事あるに際しては必要缺く[illegible]時價の三分の一以下にて輸入し來[illegible]らんは動かすべからざる事實なる[illegible]事ならん而して[illegible]

▲染工業 に至りては從[illegible]も[illegible]要者なきに至るべく其他の各種品[illegible]可く英米亦同一手段を取るならんが我國の[illegible]率法は從[illegible]

◎戰後の獨逸◇を見縊る事は◇出來ぬだらう

彼は一齊國內統一に從ふだらう

彼等は露國民の如き無秩序な人間ではない

旅順要港部司令官 黑井中將車中談

旅順要港部司令官黑井中將は歸任の途十七日夜京城通過北行せるが氏は京釜線車中に於て語りて曰く「獨逸が屁古垂れたから僕に氣焰を揚げろテ？ハヽヽ何も氣焰を揚げる譯も無いぢやないか、今度の休戰條約は獨逸に取つて隨分苛酷の樣だネ然し之が爲めに獨逸海軍は再び立つ能はざるに至ると云ふ樣な事はあるまい勿論講和會議としては來る可き講和會議に

獨逸勢力の

萌芽し能はざる迄根こそぎにする位の苛酷な條件を持ち出すには違ひなからうが何しろ獨逸人と云ふ人種は歷史上屢々見る樣に不屈不撓の根性魂の人一倍旺盛な國民で結局三十年四十年の後には再び勢力を盛り返すに極つて居る決して戰後の獨逸を見縊る事は出來ぬだらう、國內聯邦分裂の兆ありと程恐るゝに足らずとする者もあるかは知らぬが彼等は露國民の如き無秩序な人間では無い勿論從前の如くホーヘンツオルレン家の支配下に在る事は好まないに違ひ無いが訓練ある國民としての彼等には自國の利害を勘考して國內統一を圖る事に心掛けるであらうと思ふ露國が今日未だ獨逸國內の事情も判明して居ない際遽に斷定を下す事は出來ないが、獨逸

革命の烽火が海軍部內から

揚がつた樣に云ふが之も亦何かと思ふ元來獨逸艦隊は今日迄彼我海軍の勢力があまりに懸隔し到底正々堂々の陣容を裝つて聯合艦隊に敵對する事が出來ぬので軍港內に籠服し海戰らしい海戰をして居ない獨逸海軍將卒の如何に髀肉の嘆に堪へなかつたかは想像に餘りある程で寧ろ彼等はムザ〱敵に艦艇を渡す位ならば叶はぬ迄も花々敷く一戰して海底の藻屑となる事を希望して居たそれが革命運動のお先棒を勤るか否うかは疑はしい譯では無いか前にも云ふ樣に眞相の判然しないのに何も彼も速斷して了つても困つたものサ

□大宴會臨御

聖上陛下には波多野宮相、內山侍從武官長等を隨へさせられ十八日午後二時半大本營御出門同四十五分大宴會場御着各大臣元帥其他三千餘名を召され酒饌を賜ひ親ら數盃を召され御機嫌麗しく同三時二十分還幸あらせられたり（宇都宮電報）

◎チエック共和國成る

初代の大統領はマサリック博士

四百年來壓制の下に置かれ不斷に復興を望みたるボヘミヤ國よ

休戰條約締結後の世界の表面は一樣に平和の曙光を浴びたが此の曙光に最も多く惠まれたチエックスロヴアック族は遂に其共和政府成立を宣言し在ワシントン、マザリック博士を其の初代大統領に推す事に決定したと云ふ現に某所滯在中のチエック軍ミメク大尉は欣然として語る『近く講和會議

▽終了後 は故國ボヘミヤの地に我が民族多年の宿志に副ふ政府の統治が布かれるに到る譯であるが我が民族は紀元一五二六年墺國政府の壓制の下に置かれて以來不斷に復興の念を忘れずフッスの如き英雄も出でたが期熟しなかつたのである今度多年の

▽本懷を 貫徹したのはマザリック博士の努力に依る所洵に多い博士は現に六十八の老齡であるが博士は幼兒鍛冶屋に弟子入りし後認められてウイン。プラーグ兩大學に哲學社會學を修めウイン大學に教授となり次でプラーグ大學に移り爾來科學者思想家として我が民族の敎化に盡されチエックの知識階級は總て博士の

▽薰陶を 受けてゐると云つてもいゝ位で博士が一新政黨リアリストを組織した時には博士の下に全ての有識階級が集まつた位である博士は我民族復興の爲に民主々義獨立の爲めに熱心に自說を主張せられたので大戰勃發當初チエック族が墺政府と行動を共にするを肯んぜず寧ろ反抗的態度を取つたのに對して同情と援助を示した墺國政府に依つて死刑の

▽宣告を 受けたのである露西亞革命當時歐露諸市を巡歷して民族自裁の運動を主宰し遂に露西亞に留まるを得ずして日本を經て米國に行かれたので博士が眞理に對して勇敢なる態度を今民族の一員として推讃し度い』

◎軍資金獻納

鮮人特志者四十七名

平安南道平原郡に於ては前に同郡成川面居住先復等が軍資金を獻納せしが同郡主に於ても斯る特志家の意に添ふべく郡內の面長に對し獻金を敎示せし結果同郡內の資產家は進んで獻金を申出で同郡順安面水閘里居住鄭在煥以下四十七名獻金合計五百八十圓に達せり

◎工場閉鎖 職工解雇

鐵工業より恐慌初まる

那有に平和が來てもと落附き拂つてゐた事業界も事實の平和來で疾くもグラつき出した中にも中以下の鐵工所では大恐慌を起し內部上已む無く職工解雇の

▽大鉈を 揮ひ出した北區西野田吉野東の町中川鐵工所でも職工十數名を解雇し吉野西の町小野鐵工所では全然鑄物工場を閉鎖に決し之れに就業せる職工十七名と他の部で十三名合計卅名を十五日限解雇した其他にも同樣の措置を取れる工場がある梧桐一葉落ちて天下の秋を知るで之れから來るべき險惡な形勢を豫告したものなので解雇された職工の狼狽は言はずもがな他の職工連まで何時

▽首切刀 を突き附けられるか知れないと大騷ぎに騷ぎ出し中には朝日橋署に愬へしたものかと泣き附く者もあつたので同署では捨置けず目下善後策につき苦慮してゐる（大阪）

◎凱旋歡喜の第一聲

第一師團特科部隊を訪ふ

實戰上の經驗を得たる事は多大だ

昨日の雨は名殘りなく霽れて拭つたやうな空からさす日脚軟かく軒頭の國旗のはためくのもすがすがしい十四日午前六時半、我が落を出征第一師團特科部隊の先發隊は赫々たる勳功を帶びて熱狂せる市民の萬歲聲裡に目出度く凱旋した第一師團輜重兵第一大隊曹長青木菩之助氏は得意の笑みを禁ずる能はず大陸の風塵に晒されたる面に爽快の色を漂はせて左の如く語る

吾等は第一師團より編成されたる出征部隊として今朝歸營したのである久々にて故國の山河に接する今日の愉快は實に云ひ知れないものがある噫愉快だ實に愉快だ一思へば浩漢として東西さへも辨へる事の出來ない西伯利で生きて再び歸るべくもあらじと覺悟を決めてゐるもの、露西亞の鐵道に委ねて輸送される時は流石に心細さを感ぜずにはゐられなかつた而して人種を異にしあまつさへ言語の通ぜぬ外國の人々と交へられて軍務に服する其間の感想より始めてニコリスクに於て日本兵士を見る事を得た刹那感じた心强さ等は迚も筆舌の能く表し得べき事ではあるまいと思ふ國家の爲めには身命を顧みぬ日本丈夫とはいへ人情に於て心細いのは矢張り心細い然し昨日を過ぎ今日と送り硝煙彈雨を常とし外國人に接する事も度を重ぬる樣になつてからは、それにも馴れたのであつたが去月三十一日歸國の電命が彼の地に到つて一同に發表せられた時は流石にうれしかつた愈々今月の八日に浦鹽を船出して懷かしき下の關を眼前にした即ち十一日の朝は欣喜の感に坐ろの迫るを覺ね翌日始めて宇品に於て故國の土を踏み柔かき同胞の聲を耳にしたのである各地共に旭旗を掲げて迎送する歡喜の聲裡を通過しつゝ今日此處に至る迄の感慨は何物をして是れに譬ようか然し彼の地に在る裡に軍人として切に感じたのは彼の地の軍事的配備の整然たる事であつた是れに依つて軍馬に對する手當てより輸送上の心得に就き參考となすべきものは決して尠くなく實戰上の數訓を多々得た事を大いに幸ひとする次第である（東京電話）

◎書堂に放火

咸北慶興郡慶興面元汀洞金千洞（二〇）と云へる男は豫てより大なる懈怠者にしていたく書堂に通學する事を嫌ひ居たるが遂に書堂を燒きて授業を休止せしめん事を企て客月十六日居洞の書堂代用なる金祉燦方の倉庫に放火して其の屋根を燒失せしも尙ほ書堂を同洞金李福方に移せる爲め再び同月十八日同家の住宅に放火し屋根の一部を燒失したる事其筋に探知され懲役三年に處せられたり

♣チエックの女と首府プラーグ市（舊ボヘミヤ王國の首都）

◎倭人族の古墳

全南羅州郡で發見

九州で發掘したものと同一の樣式

朝鮮で始めての『ハニワ』も出て來た

總督府囑託 谷井文學士談

總督府古蹟調査員谷井文學士は今回全羅南道羅州郡潘南面德山里附近にて十數個の古墳を發見し發掘の結果有力なる考古資料を得、京城博物館に收藏したが同氏は語つて曰く『發尾山に若干古墳ありと號したものであるが鮮語の發尾に繫縛と同音であるから何時の間にか發尾に彼此轉倒したものと見える、此處で發見した古墳は何れも

▲三韓時代 のもので全羅道の[illegible]るが歷史の語るところによると羅州地方には九州から來た倭人の族が占據し附近人民中には其の血統を引いて居る者が尠くないと云ふ事だ、今度發見した古墳は正にこの人々を埋葬したものに相違なく一切の形式が九州地方で發掘したものと同一である、墳墓は大小種々一ではないが概して六尺內外の蓋付素燒の甕を橫にしその內部に厚さ三四分、幅一尺四五寸、長さ甕に相應した板を入れ、その

▲上に屍體 を安置したもので板の下の隙間に供物を容れた壺二個を挿込んだものである、又板上に安置した屍體は衣冠束帶を着けその上を更に甕で巻いたものらしく現に腐蝕しては居たが甕の片々が遺物に附着して居たのを見た、發掘物は青銅金銀金冠、青銅金鍍金香二つ狭の矢、曲玉等約四十箱に達したが是らは何れも屍體を飾るに用ひたものである、この他右の古墳からは

▲『ハニワ』も出て來たが是は朝鮮に於ては唯一の發見品と云ふべく斯邦とは從前曾て見ないところで、この點を以て考證するもこれが倭人の古墳だと云ふことは明かである』

◎『秋の集』（龍山佛敎日曜學校）元町二丁目龍蔭寺なる龍山佛敎日曜學校では十七日午前九時から『秋の集』が催された式後茶話會山瀾光氏のお伽噺があつて午後は引續き松井氏の琵琶やら其他活人畫、對話、唱歌等三十三番に涉つて餘興が催されて少年少女は堂に滿ちて居つたが中には學校の教師に見せたらさぞ泣くだらうと思ふやうな非教育的なものもないではなかつた宗敎家が兒童を利用する事は好いとして今少し敎育的な頭を持つて貰ひたいものだと云ふ噂を耳にした

◎書道講習會 總督府囑託

書家松村和康氏を講師として本月より六箇月間京城倶樂部に於て總督府職員の爲書道の講習會を開催すべき豫定なるが愈々其第一回を十九日午後四時半より京城倶樂部に於て開催當日は同囑託の書道の大意に就きての講演ある筈

◎寒い時の赤ん坊（下）

何うして育てる

總督府醫院 河野醫官談

子供が生れると今でもまだ胎便を下す爲めにマクリを飮ませるところがあるやうだが是は全然必要のないことだ、一體產後は母子共に非常な疲勞を感じ凡そ廿四時間はぐつすり寢込むものであるからこの間はその儘放任しておいても好いものだ、斯うして母も子も全く疲勞を恢復したところで

◆始めて乳 を與へる、是が自然的であり合理的である始めの乳は水のやうな薄いものであるが是は飮ませて居る中に次第に色も濃くなり量も多くなる、若し一日二日經ても乳が出ぬやうならその儘吸はせるが好い、乳の出ぬ時は吸はせて乳腺を刺戟するに限るのでこの外には好い方法も妙藥もない、從來乳の出ぬ時は

◆食べ物に 注意すれば好いと云はれて居るがその効果は頗る疑はしいものだ、或る博士は自分の妻が產をした時毎日妻に五合以上の牛乳を飮ましたところ非常に好く乳が出るやうになり赤ん坊は目に見えて生長したと云ふことを發表して居たが斯麼事は到底行ひ得べからざる事で母親は授乳期間常に水分の

◆不足を訴 へるものであるから、牛乳でも飮めばこの不足を補ふことは出來ようが是が爲めに特に乳の量が多くなると云ふ事はない筈、是は既に學者の研究に依つて明かである、生後八箇月にもなれば最うそろ〱乳離れの準備に取懸らねばならぬがその時期は季節が一番宜しく

◆夏は絕對 に不可い、若し乳離れの時期が夏にかゝるやうなれば秋まで延ばすことが肝要である、乳離れの時期が來ても乳離れをさせず何時までも授乳を繼續して居ると赤ん坊は見る〱青瓢簞のやうになつて痩せ細つて仕舞ふ、是は乳ばかりでは最う

◆充分營養 を攝取する事が出來ぬからで適當な時期に巧に乳離れを斷行すれば決して斯麼事はない、乳離れの順序はおも湯から牛乳、牛乳からお粥にと移るのでお粥を食る頃からそろ〱甘藷の肉を漉にしたもの、卵の黄味なぞを與へて好いがこの移り變りが拙いと矢張り

◆痩せ細る 今迄肉々と肥太つて居た子供が乳離れをさせると痩せ細るのは畢竟この移り變りが拙い結果で多くの人が是を自然として乳離れをさせたから痩せ細つたと云ふのは間違ひである（終り）

◇給仕入用 希望者は本人直接來談あれ但市內に確實なる保證人を要す

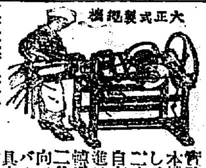
京城日報社 編輯局

◎天の一方に怪しい響

流星か＝光りを發して飛び去る

十八日午後八時頃突然東空に電光の如きもの現はれ西空に向つて青白き線を引きて飛び消ゆると共に遠雷の如き音響を發せり右に就き京城測候所にては之れを觀測する設備なく仁川觀測所に照會せるも仁川方面にては一切斯樣の現象を認めず從つて其の何物なるか今の處之れが斷定を下すに由なきも恐らくは大なる流星の現出せるものなる可しと今判明せる範圍に於て記せば此怪物が東天に現はれたるは午後七時五十二分にして太き光りの後に細き光り附隨し居れるが七時五十七分に至り音響を發せるに見れば普通尻無しの流星の如きのならずして所謂隕石として墜落せるものと思惟さる流星にして斯る大なるものを認めしは京城にては今回が始めての事なりと古老は語り居れり

大正式製繩機



實驗用大割引 本機は事業として最も有利 二十種の製繩自在也說明書進呈 製莚機 叺織機 稻麥扱機 二角製叺器 下向ランプ 馬具 バリカン 農具 定價表進呈

東京本所長崎町三日本發明獎勵會

解雇廣告

田中米吉

右之者今般都合ニ依リ解雇候間此段廣告仕候

京城南大門通二丁目

大塚合名會社京城支店

確實な貴金屬

騰貴にも拘らず尙ほ良品を安價に提供するは商品豐富なる弊店の特色！

京城本町一丁目 勲章堂 平井時計舖 電話二〇一番 振替京城一〇六一

皮膚科 外科專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

京日案內

▲申込中後途掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず 普通一回前金七拾錢 番外一回前金壹圓（但し一回に付き[illegible]）

醫師 代診及藥局生各一名看護婦及見習生數名採用す志望者は至急申込まるべし 仁川佐藤病院

番外 代診生及看護婦至急採用 希望の方は自筆履歷書携帶來談有之度し 京城府明治町二ノ七七 電話三七八 中島內科小兒科醫院

左の處に移轉す 辯護士 岩田仙宗 三角町七八商業銀行橫へ入り裏 電話三五四番

ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

眼鏡及鎖職人採用 京城黃金町貳丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂 製作部

◎茶舖讓る 本町通目拔の場所商圈に付至急ゆづる御望みの方は本町二丁目ウラシマヤまで

◎記者外交員募集 希望者は履歷書持參あるべし 南山町一丁目上る 鋼鮮及滿洲社

◎募集 本人來談 藥局生看護婦見習數名募集す希望の者は 京城 久枝肛門病院

本商會主務田原彥三郞儀大正七年十月二十四日解任致候 京城黃金町三ノ二九一 電話二四〇三 鮮滿製皮商會

コンナ珍しいものが日本に初めて出來た

醫學博士藥學士合議發明

美乳

定價一瓶 貳拾五錢

◎白色美人となる不思議の乳劑

美乳の卓絕せる成分 美乳は白粉でもなく化粧水でもなく又單なるクリームでもありません、それ等の有觸れた化粧品とは根本から全く成分が異つて居ります、これこそ斯道專門大家の苦心に依つて新に發見した世にも驚くべき白色劑と珍しき美容劑の理想的抱合物で新時代の科學の力が隅から隅まで閃き渡つて居ります。美乳ほど美白成分の確實で顯著なものは現代に於て絕對にありません。

美乳の不思議の作用 白粉を塗つて一時だけ白くなつたのは洗へばすぐ剝けます、色の白さも美さも其の生地からでなければなりません、美乳は實に此の新時代の要求から發見されたものであります、美乳を用へば皮膚の微細な氣孔を通じて最も完全に其の美白素を吸收し最も完全に皮膚の根本組織を白く美く艶々しくし又柔らかき事天鵞絨に觸る如にする美乳獨特の不思議の作用があります。

美乳の驚くべき効果 既に斯の如き成分と作用とを有する美乳でありますから効果も又眞に驚くべきもので之を常用すれば、生地から白く美くなりお年が寄つても小皺の寄る心配なくいつ迄も其の若々しさを保つ事は勿論年中腐荒を知らず日焦、面皰、汗疹、剃刀まけ等の憂ひ更になく自分ながら見違へる如な美人になります。故に美乳さへ用つて居れば白粉も化粧水も全く要らなくなります。

婦人界空前の大評判 朝夕の洗面の後に必ず美乳を塗る習慣がつくに伴れて從來用つた化粧品の類と全く異つて日一日と皮膚の白く美しくなるのに驚かれます、殊に湯上の時の美乳一滴は、効力が一入顯著しく又美乳は三分化粧の別名もある位で急ぎの時の化粧には重寶至極、何時何處でゞも自由に化粧が出來て化粧崩れの心配が毫もないから美乳に限ると近來御婦人間の專ら評判です。

近代紳士は皆美乳黨 美乳はホンノリと目立たぬ白さに男子の皮膚を美しくし體貌を尙ぶ近代紳士に取りて最適最新の美身料殊に髭剃の後に之を塗ければ剃刀まけの憂ひは絕對になく塗込んでゐるうちに何とも云へぬ愉快を感ぜられます又會合の席へ出る時とか散步とかの前にチョット一滴美乳を用ふと其中に含んだ白薔薇の芳香が香水に代用して頗る氣が利き男が見て惚々する位です。

僅か一瓶で美人となる試驗はタッタ一週間！

本舖 矢野芳香園

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

秋の風引には

大學病院 模範方劑

解熱 完全 カゼピリン KAZEPIRIN 東京 風

本舖 淺野榮天堂藥局

鮮滿無比の特約店にて販賣す

登錄商標 本妙香油

毛を黑く長くつやを出し赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等防ぐ 本舖 大阪西横堀 三宅堂

花柳病 外科專門

梅毒・痲病・泌尿生殖器病・睾丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー

606

京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

(明治三十九年九月十九日第三種郵便物認可)

母と子 (二十七)

北島春石作 森田久畫

井戸端 (二)

心の済むまでに、思ひの儘に泣くだけ泣くと、幾分か心の悩みも輕くなつて、志保子は何うやら起きされさうな氣分になつた。
『さあ、あんまり遲くならない中に、叔父様やお前に御飯の仕度をしてあげませうね。』と言ひつゝ、寝衣を脱いで平素着に着替たが、未だどこともなくふら〳〵して、繩に乗つてでもゐるやうに足腰がさだまらぬ。
それも悟つた幸枝は、蒼白めた母の顔を氣遣はしげに見あげながら、
『お母さん、お臺所ならわたしがしてよ。』と甲斐々々しい働き振。
『でも、お前お臺所が出來るものかね。』
『いゝえ、いつでもお島のお手傳ひしてゐたわ。』
『まあ!』と、志保子は悲しげな眼に見おろして『岸上のお家ではそんな事までさせましたか。』
『はゝ。』と、をさな心にもよく〳〵悲しくなつたか、幸枝はほろりと一雫『お父さんが被在る時は、何にもしなくともいゝけど、お母さんばかりの時は、お島と一緒にお臺所の隅に坐つてゐるの。』
繼子は憎いものとは聞けど、自分にも篤こいふ實子があるのではないか。とすれば、親としての愛情もある筈なのに、いたいけざかりなこの幸枝に、そんな手荒い水炊事をさせるとは……いくた無惨むまじとはすれど、志保子はお甕を恨まずにはゐられなかつた。
『もう、悲しいことは言つておくれでない。』と、玉なす涙を拂つて『今までさんざ苦しい思ひをしたゆゑ、これからはお母さんがきつさり可愛がつてあげませう。』
『嬉しいわ!!わたし、お母さんのお傍にゐられたら、どんな御用でも達すわ。』
『ほんとにねえ――もう、もう、二人は一生離れずに暮しませう。』
さう言ふ度にほろ〳〵と涙が零れて際限がない。ねえ、何うしても女々しくなつたらう。やつぱり體が悪い故かしら――病は氣からと云ふから、もつと確り心を締めてかゝらうと、志保子は無理に元氣をつけて、
『ぢや、幸枝もお手傳ひしておくれ。叔父様は御散歩にでもお出かけに……然うしてゐる中にもお歸宅なさらうから、お母さんがお臺所をしてゐる間に、お前はお座敷のお掃除をしてね。』
『わたし、お母さんが吃驚するやうに綺麗にするわ。』
幸枝は襷束ぬながらも、自分だけでは一生懸命、直そこらを片付け出した。
それに勵まされて臺所へ入つた志保子が、バケツを提げて裏口へ立出づると、
『面白や、頃は長月廿日あまり、四方の梢もいろ〳〵に、錦を彩る夕時雨、ぬれてや鹿のひとり啼く、聲をしるべに狩場のすゑ、眞に面白き景色かな……』と聲ほがらかに紅葉狩の一節、直樹はゆつたりした歩調で、植惣の庭づたひに戻つて來た。
そして『明けぬごて、野邊より山に入る鹿の、跡吹きおくる風の音に……』と直後をつけたが、ふと志保子の姿を認めるや、足を拔めて車井戸のほとりに立寄つた。
『おゝ、もう起きられたな。』
『意の外に朝寢をいたしまして……叔父様がいつお目覺めこら存じませんでした。』
『あツは・・・・今朝は俺が早すぎたのぢや。』と、有樹は洪快な哄笑ひして『些と隣家の主人に頼んでおいた件があるで、實は仕事に出かけぬ先にと、その返事を聞きに行つて來た。』
それだけ話の緒が出たら、あとは聞くまでもなく判つてゐる。志保子はもう感謝の目元を濕ませた。
『御迷惑ばかりおかけ申して相濟みません……』

◇日本髪が流行

前芯は不衛生 入氣を改めよ

近年になつて婦人の髪は日本髪が大變に流行するやうになつて來ました、そして衛生的と云はれた束髪が追々退化する向が見られて居ります一方婦人の大きな職業となつて居る美髪師は爭つて日本特有の髪の技術を練り衛生に就いても又研究を進めて居ります處が近頃の日本髪流行と同時に束髪が從來の衛生と云ふ

◇特色 を去つて日本髪風に近づいて來ましたそしてこれ迄の束髪は油氣ないさらつとしたのを好いとしてゐたのが此頃は日本髪同様に油をつけて更に入毛を二つも入れますから結び方こそ變つてもその重さは日本髪と少しも違ひありません其上に前髪芯を入れますこれも近年は益々大きなものになりますから決して輕いものではありませんそして

◇束髪 が非衛生になつたのもこの前芯の爲めです又この芯の爲めに毛髪を損する事は非常なのです尤も芯はよく取換へて柔かなそして輕いものを用ゐれば幾分か無いのですが之れに注意する人が少いのですなほ昨今の束髪は年若向の外はまはりは少しく出して髷を大きく全體の毛を多く見せるのが流行型ですから此頃の若い人と女學生間には入毛や前芯の外に髷に芯を入れて居ります是は殆ど此頃の學生間の流行ですが髷芯が

◇前芯 より以上不衛生であることに氣付いた學校もあつて近く女生の髪の改良があると云ふですがこれは當然あつてよい事です又束髪の中でも是等の缺點がなく衛生的には見られますが一名女優髷と云ふ眞中から分けて如何にも西洋式そのまゝのハイカラな束髪が一部に流行してゐて服装と調和しない妙な姿の婦人や或は髪をお優まげにして子供を負ぶつて居るなどは見苦しいよりは滑稽に見えます何れも婦人としては慎みたいものです

京城本町 千代田號印舗 電話九八七番

□日本人は五千萬石のお酒を飲む

我國のお米は例して一年の產額は五千五百萬石で此内でお酒の爲に醸されるお米が三百萬石から四百萬石ですそしてこの石數を一番多く醸消する所は灘の五郷を控へた兵庫縣が第一で出來高は七十四萬三千六百二十七石で次が福岡縣の二十九萬一千四百三十五石それから廣島縣の二十三萬八千四百六十石京都府が十九萬三千五百四十六石續いて長野岡山北海道愛知といふ順序で鹿兒島縣の三千七百二十石が一番少い産額ですそして日本全國のお酒の

◇出來高 は五百十八萬三千三百石で此内で十二萬五千石ばかりが支那地方香港、英領印度、北米合衆國其他へ輸出されるからその殘りの五百萬石が日本人の口に飲み盡される譯です又日本で造られる麥酒の高は約四十二萬二千五百石明治三十四年頃の統計は僅に一萬三千四百三十四石こいふ僅少なものであつたのである。

牛乳 御用 衛生的 成分に富む 病院ホテル 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

◎北鮮の鯖

清津地方本年の秋季鯖漁は期待に反して漁獲少く不漁に終らんとせし際本月九日より清津港附近に於て約八千尾の漁獲ありたるを初めとし十四日頃迄に約六七萬尾の漁獲あり相場は最初二十錢内外を唱へしも次第に下落して一尾七八錢を唱ふるに至れり

外科 一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 安部修二 京城永樂町二丁目金光教會前 安部醫院 電話長四一九

讀者の領分

▲○○新聞の天風生さんとやらに御訊ね申ます貴方は人を奈落の底に突き落すやうな事ではありませんか階級の上に立つて筆をお執りになる人でしたら少しは氣を付けて人の非を書きなさるがいゝ(巨眼生)▲電話課の諸君には本當まで(六三一番生)▲京城市中の活動寫眞の辯士中一番公利君程眞面目な人はありません、僕は君が一番好きだ君よ大に一層奮闘努力せよ(愛公利者)▲私は市の中學校に通學して居る者ですが家の都合で苦學をしやうと思ひます下生を採用して下さる方は御座いませんか、あるならば本欄へ御住所を御知らせ下されば直に參上致します(苦學生)▲元逓信に居たあまり評判のよくなかつた某一本節は近頃電話部の方に轉じたはよいが此頃は種々勞しくない噂があるとの事チトつ愼んではどうですか(六本節)▲平壌産業傳習所に入所いたし度く存じ候處如何なる方法に致せば宜しく候哉御伺申上候(露梁志望生)

十一月二十日(水)

舊十月十七日 ▲辛未 ▲八白 ▲成 ▲昴 ▲友引 ▲大みやこ日

▲八白▼ 謹んで幸すべき日ひつじさる…西南は凶 ▲九紫▼ 嬉しき事ありて進んで吉なれど邪心ある者は禁ごと整ひがたし ▲一白▼ 散財を防ぐべし ▲二黒▼ 死もすると骨折り損草臥れ儲けあるやも知れず ▲三碧▼ 思はぬ白から…ざる日なり ▲四緑▼ 物事に深入りすべからざる日 ▲五黄▼ 追つばれなる日でべからず ▲六白▼ 何となく嬉しき氣分のする日なれど心邪しまなれば凶と化す ▲七赤▼ 愉快なる日にて何事をなすも面白く行くべき日なれど邪心あらば凶運に逢

◎米國緩和程度

戰時工業局最近の公表の趣旨を冒する制限を撤廢する旨發表せり尚同時に[illegible]綿を緩和し建築材料の生產に對し被服及び鐵產物の生產、鐵道通信電話、國內水路の爲めには今後とも[illegible]制限[illegible]を與ふべしと(東京)

大阪株式特電

十八日前場 十八日後場

日本郵船 二〇五、九〇 [illegible]
同 新 一二一、一〇 [illegible]
[illegible] 三七、四〇

東京期米

十八日前場 [illegible] 三二八五

◆地方課員調査 諸嶽地方課員は十四日京城發列車にて出發す
山五十村の諸氏は昨日午後三時八分發[illegible]

仁川米豆取引

十八日の一月限 [illegible]

一番よくきく アレ止は
クラブ洗粉本店謹製の
美身 クラブクリーム
此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも
皇后宮職御用品
たるの光榮を辱うしつゝあり。

最上清酢 日本一 マルカン印

ほまれ味噌

上醤油 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

月經新藥レスメリン 月經閉止(五ヶ月以内)の作用を以て確實に… 常盤藥院

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 京日寫眞製版部

最新刊
大正八年御寶鑑 神誠館 一五 二
三宅雪嶺著 東西英雄一夕話 定價貳圓 送料八錢
支那經濟小觀 堀江 一、二〇 八
經濟立國策 西川 一、五〇 八
恩給總覽 持永 一、八〇 八
池上文僊 禪宗奇話 定價一圓 送料六錢
青年新書 三宅 一、〇〇 六
手紙の書き方 山內秋生
力工總覽 同 一、五〇 八
渡邊海旭著 歐米の佛教 定價一、五〇 送料八
朝鮮の冬と防寒法 矢野 九〇 八
地方行政區域名稱一覽
最新朝鮮鐵道電信地圖 一、〇〇 四
漫畫ちやん 六五 四
本多淺治郎著 新式西洋史講義 定價二圓 送料十錢
七英八傑 同 一、二〇 六
水滸 河久保 八五 四
京城本町 大阪屋號

伯爵 後藤新平 閣下 題
子爵 土方久元 閣下
貴族院議員 德富猪一郎 序
帝國大學教授 芳賀矢一
外務大臣 男爵 後藤新平
法學博士 上杉愼吉 理學博士 岸上鎌吉 醫學博士 二木謙三
法學博士 井上辰九郎 理學博士 三好學 文學博士 井上哲次郎
男爵 法學博士 阪谷芳郎 工學博士 寺野精一 法學博士 井上友一
法學博士 添田壽一 工學博士 山川義太郎 子爵 工學博士 大河內正敏
文學博士 田中義成 工學博士 伊東忠太 工學博士 中山秀信(?)
文學博士 吉田東伍 工學博士 鴨居武 東京高等工業學校長 根岸政一
文學博士 萩野由之 農學博士 外山龜太郎 理學博士 高橋堅
理學博士 五島清太郎 醫學博士 三宅秀 理學博士 國枝元治
理學博士 谷津直秀 醫學博士 大澤謙二 安田銀行頭取 安田善次郎
廿七大家
現代碩學 百科說林
菊判總紙數約千頁 總クロース製金文字美本箱入
特價二圓五十錢(定價三圓) 送料鮮內十八錢・外四十五錢
◇大賣捌所◇ 京城日報社代理部 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇

大阪商船汽船出帆

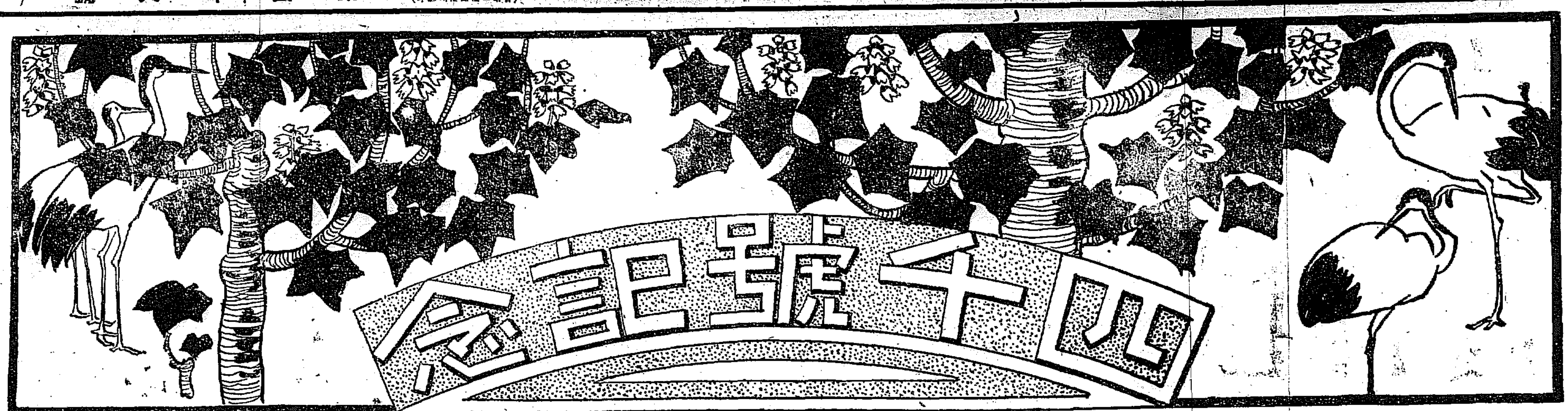
(仁川出帆)
群山大阪行 安東丸 十一月十七日正午出
木浦大阪行 信濃川丸 十一月廿一日正午出
(元山出帆)
清津行 安平丸 十一月廿三日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十一月十七日後九時出
(大連出帆)
上海、北清、打狗行 湖北丸 十一月廿一日前六時出
基隆丸 十二月四日後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 毎月二回 南洋行 毎月一回
[illegible]

日本郵船出帆

天津行 大連、高砂丸 十一月十九日正午出帆
秦皇島行 田丸 十二月七日正午出帆
仁川海岸町 郵船代理店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 清津發、城津、元山、經由 平安丸 十一月三十日 清津發 / 十二月二日 元山發
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由 平壤丸 十一月廿五日 釜山發 / 廿七日 元山發
▲雄基行 關門發、釜山、各港經由 京畿丸 十一月廿一日 釜山發 / 廿四日 元山發
三浦丸 十一月十七日 釜山發 / 二十日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 穩城丸 十一月廿三日 元山發
▲大阪行 浦汐發、城津、元山、釜山、門司經由 平壤丸 十一月廿七日 元山發 / 廿九日 釜山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、各港 山陽丸 十一月廿二日 元山發 / 廿九日 釜山發
三浦丸 十一月廿六日 元山發 / 三十日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭石浦經由
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 昌德丸 十一月廿二日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山浦項相互ヨリ毎日一回出帆
▲濟州島行 釜山發 呂平丸 十一月二十日 釜山發
▲濟州島行 木浦發 東廻 慶興丸 十一月廿六日 / 西廻 公州丸 十一月十九日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 毎日一回出帆
▲木浦麗水線 順天丸 十一月廿二日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶寶丸 十一月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 江田島丸 十一月廿一日 仁川發
▲海州行 仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 十一月廿五日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 十一月廿六日 仁川發
朝鮮郵船株式會社 本社 京城南大門通 電話長一九五三、二三二
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 京城荷客取扱所
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ



憶起す朝鮮の事共

前李王職次官　小宮三保松氏談

今や臨深き東都の一隅に潜んで歳月を送つてゐる老生も朝鮮に就ては淺からぬ縁を有してゐるのであるが、馴染深き我京城日報も刊を重ねて早四千號に達し今日其發刊を見るに當り同社の創立より今日に至る迄の歴史即ち亂麻の如き朝鮮に生れ出で、狂瀾怒濤の裡にあり乍ら百折屈せず奮勵努力して遂に隆盛なる今日の朝鮮を成さしめたる其決して尠少とする事の出來ない

▲功勞と苦節と を能く知つてゐる予として一入歡喜に堪へぬと共に自己の往時も思ひ合されて言ひ知れぬ感慨に打たるるのである、追想すれば悟も辿りし夢路を繰り返す樣な感があるが思ひ出の儘を述べて往時を偲ぶも今日の場合或ひは又格別の事かも知れない時は明治四十年の事である故伊藤博文公が朝鮮の統監として彼の地に在られた時であるから無論

▲日韓併合より 遙に以前の事である統監の召しに應じて不肖乍ら渡鮮する事となつた、愈懷しき故國を後にして玄海の荒浪を乘り切る時は『今日よりは韓國の官吏となつて彼の國の爲めに一身を捧げよう』といふ覺悟を定めたのである幸ひにして海上恙無く韓國の都たる京城に著くと直ちに統監の命に依つて宮内府次官といふ役名の下に當時伏魔殿の異稱あつた宮内府に務むる事となつた心無き人々の耳には宮内府次官といふ聲は或は奇異の如く響いたかも知れないが

▲伏魔殿の異稱 ある同府は實に紊亂極まり無く如何にして是れを整理すべきかといふ目標さへもつき兼ぬる程であつた其秩序不整然の状態は譬ふるに物無い次第であつた 決して壓制をしてはならない議論は徹底する迄は大いに爲して必ず得心をなさしめねばならない意見を得心もさせ得ずして徒らに實行を急いだならば必ず壓制の誹は免れない能く此の點に於て注意をなさなければならぬといふのは

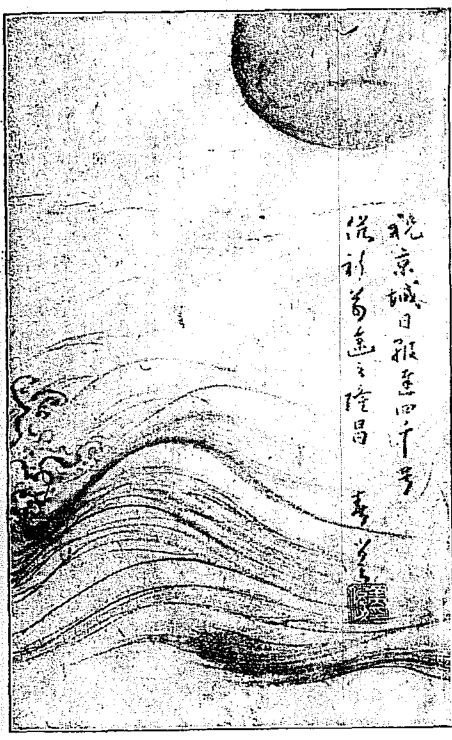
▲統監の嚴諭で あつた是に依つて先づ伏魔殿の整理に取りかゝつたのであるが當時の宮内大臣は彼の李尹用氏即ち李完用氏の令兄に當る人であつたが同氏の賢明なる頭腦も深くも閉した雲の爲めに未だ我政策上の誠意を認むる事が出來なかつた故か余等の議する事はなか／＼に承認されず相互の舌端火を吐いて日毎の議論で毎日灯の瞬く前に家に歸つた事はなかつた而も

▲徹頭徹尾誠意 を以て盡す微力は漸次人々の承認する所となつて改革も行はれ其結果免官をした宮内府の尸位素餐の官吏は實に其數無慮八千餘人に及んだ是等八千餘人の者は同時に免官したのでは無いが免官するに際しては或は庭前に或は室内に集めて懇々と免官の理由より以後身邊の方針に就て迄も諄め諭し幾分の涙金を與へてひきとらしめた然し何分にも裕福でない國内の事情は彼等をして滿足せしむる丈けの事は出來よう筈がなく且つ智能の餘りに高くない彼等は我等の諭す言葉の赤心より出たものといふ事を知ることなく一齊に我が統監府を呪つたのである殊に余は

▲彼等怨恨の的 となつたのであるから堪らない或る時は門前に隊伍をなして余の出門を待ち受けて抗議に及び或る時は車前を遮つて余の行路を妨害し又或る時は車上より余を引き下してかゝる事を訴へる等虎穴の危機は日毎に數を知らぬ有樣であつた折から當時の皇帝陛下は昌德宮へ御轉居なさる、由を申込まれたのである伊藤統監は忽ち是を許可申し上げたもの、今迄顧みる人さへなかつた昌德宮内は九尺に餘る草は茫々と軒を蔽ひ殿内は鳥や獸の住家となつて足の入れ場もない程で實に悽慘極まるものがあつた然し

▲一身を捧げて 朝鮮の開發に努めようと決心した余等にとつては是位の事は決して物の數ともする處ではなかつた即ち草を刈り庭を作り宮殿を淨め而も數多き不用の建築物は悉く取り排つて宮の美觀漸く整ふ兩陛下の行幸を仰いだのである一を述ぶれば十をも推して知らる、であらう是が單に宮内府のみならず實に當時斯かる状態の裡にあつた朝鮮の僅に十有餘年後の今日に於ける状況を見れば其迅速なる發展に驚かざるを得ないであらう是れ共に誠意ある人々の努力に依るものでその間また與つて力あるものは即ち京城日報社であるといふ事は決して忘れてはならないとでその前途は益々隆盛を加ふるであらう（東京支局）

樞密顧問官　小松原英太郎氏筆



朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉氏筆

拓殖銀行總裁　水越理庸氏筆

附錄四頁

祝四千號
京城本町一丁目
小川勝平
法律事務所
電話四一一番

祝四千號
新龍山齒科醫院
東京齒科醫學士　廣瀨文質
新龍山漢江通三角地

祝四千號
東海生命保險相互會社
朝鮮大連出張所
京城本町一丁目一六
電話長七四番
○本社東京麴町區二丁目
○社長松方五郎
○當社ハ相互組織ニシテ加入者ノ利益擁護モ多シテ

祝四千號
龍山水産株式會社
龍山漢江通十三番地
電話一一五番

祝四千號
和洋金物商
建築金物土木道具
大工道具打物及
鍋釜及金物類
世帶道具雜貨
マニラ綱糸紡績
京城本町二丁目
橋口金物店
電話百四拾貳番
振替口座京城四七九三番

祝四千號
京城旭町二丁目
株式會社京城葬儀社
電話一五六七番

祝四千號
鎗鈔票◇現物定期取引
安東信託公所
安東縣大和橋通◇電話六八番九一番

祝四千號
安東信託公所所屬仲買店（イロハ順）
原田市松商店　電話八六番四〇四
東盛錢莊　電話一四二番
大島洋行　電話四〇七番
大森兩替店　電話一三六番
王作臣　電話　番
田中德商店　電話三六番
竹本兩替部　電話一七三番
山口兩替店　電話三五四番
共成社　電話四二〇番
小林多吉　電話一四二番
齊藤進　電話一七八番
三巴商店　電話一三四番
信東商會　電話八五番
鈴木兩替店　電話四三番

祝四千號
朝鮮銀行
安東縣支店
振替口座京城一一五一番
同　大連六〇三番
支那電話二番五番
電話七七番

祝四千號
安東縣五番通六丁目
株式會社安東銀行
電話一三番
舊市街出張所　電話六一四番
撫順支店
本溪湖支店
奉天支店

祝四千號
安東縣市場六丁目
株式會社滿洲商業銀行
日電話四二番
三二番
中電話一六八番
一八番
舊市街出張所

祝四千號
安東縣市場通り
雜貨洋酒食料品商
龜屋
電話四〇番

祝四千號
滿鐵安東電燈營業所
電話二五五番

祝四千號
安東縣料理屋組合

◎安東大發展史

十有五年の回顧

鮮滿境上にある我が安東縣は實に我が大和民族が滿洲發展の第一步に建設したる處であつて、我植民史上に特筆大書すべき由緒ある市街である。殊にかの明治三十七八年戰役に於る、第一軍が鴨綠江の渡河戰に成功したる曉に於て既に安東縣なるものが世人に識られたる事によつて、更に其懷古の情を深からしむるものがある

往昔、この東邊一帶の地は、支那政府に於ては、蒙古地帶と同じく邊外と稱して、全く外視したものがあつた爲めに、唯徒らに蘆葦生茂つた未開荒蕪の地であつて人煙稀薄、舟車の便なく狐狸跳梁し、匪賊横行して牧民の實擧らざる境界もあつたのを、大淸咸豐年間頃より、關內及び山東の住民漸次移住し來り、開拓墾耕に從事し下つて同治年間に至り山東地方に於て最も棲慘たる大饑饉襲來した爲めに、山東より多數の移住民をこの地方に逐つたので、人口頓に激增したけれども、當時尚ほ治外の移住地として取扱はれ、一の牧民官もなく官衙もなく、地は自由に開拓せられて漸次耕耘の法大いに進みたりとは謂ひ乍ら、納稅の義務もなく、人民保護の機關もなかつた爲めに安寧秩序の保たるゝ筈もなく、生命財產の保障亦甚だ危險にして、馬賊、匪徒の横行跋扈甚だしきものあるより、淸國政府も亦大いに見る處あり、始めて光緒元年に至り鳳凰城に道臺衙門を置き、銳意熱心に治民の策を講じ、商賈を四方に招き、農工を督勵したる爲に、人口愈々增加して、早くも其の拓殖の實績を擧げるのであつた

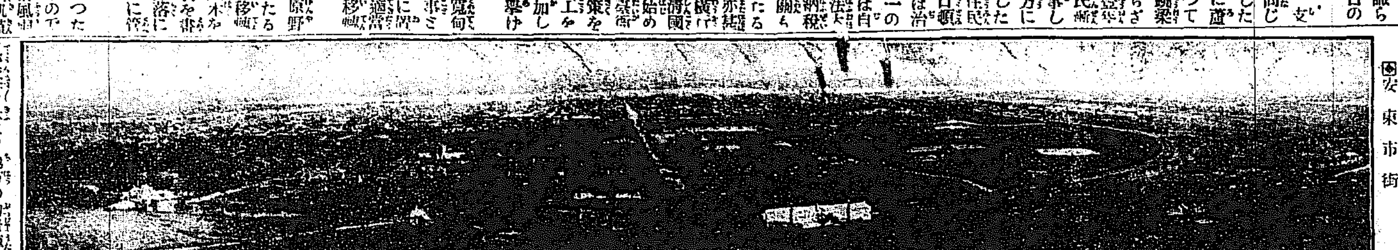
紹て光緒二年中、安東、寬甸、懷仁、通化の各縣を創設する事となつた、安東縣は當時大東溝に置いてあつたが、其後沙河鎭を適當の地と認め、現在の舊市街に移轉せしものである

當時の沙河鎭は、廣漠たる原野であつて、其の居住者も寥々たるものであつたが、知縣衙門が移轉する間もなく知縣は盛んに土木を起し、或は堤頭を築き、水利を講し、租稅を徴收し、且又各部落には郷約、保甲等を設け、大いに管內の統治を圖つたものである

當時の市街は甚だ低濕であつた爲めに幾度か盛土をなしたものであつたが、光緒五年には大暴風雨あり、不幸實のらずして蒼生饑餓に苦しむ事慘の極に達したので、淸國皇帝は之を憫れんで金穀を賑恤した事もある。又紹て光緒十一年及び同十四年には鴨綠江の大洪水があつて江岸大部分の市街を流失した事もあつたと云ふ事である

其後光緒二十年は即ち我明治二十七年の日淸戰爭となり、安東縣も亦兵馬の巷と化したのであるが、この戰役終つて後、一時安東縣は非常に順調に發達を遂げつゝあつたけれども光緒二十九年、我明治三十六年の秋頃より、露國南下の鋒鋩急に此地方に現はれ來り、露軍の駐屯する處となつて、極東の風雲漸々急に、地方の物情騷然たるものがあつたが、翌三十七年には愈々日露戰爭の幕は切つて落された

鴨綠江畔の一戰脆くも敵軍を敗退せしめたる我軍は、直ちに安東縣に上陸して軍政を布き、露軍蹂躙の弊を除するに努めつゝあつたが明治三十九年淸國光緒三十二年六月に到り張、錢の兩道臺は安東縣に來つて我軍政官との間に種々折衝の任に當り且つ日支官憲の親善を謀りつゝある中同年九月、安東縣舊市街にあつた我軍政署を撤退して、總ての施設を擧げて支那官憲に讓附し、同年十月道臺は安東商埠警察局等を設置し翌年三月海關を設け、米國人ヘーレン氏を稅關長に任命し茲に安東縣は開港場として面目を一新する事を得たのである


◎安東市街

明治四十一年九月に至り、日支合辦によりて、鴨綠江森林經營の目的を以て採木公司の設立となり、其他病院、屠獸場等各種の事業も日支合辦によりて漸次に增加し來つて遂に今日安東縣の大をなす基礎を形成したのであつた。これより先明治三十七年五月中、鴨綠江戰に赫々たる偉功を收めたる我第一軍は安東縣を以て後方連絡上最も重要の兵站地點と認め、是に兵站部を置き、軍政官を置いたが第一次の軍政官は陸軍步兵少佐大原武慶氏であつて、軍事行動に關する諸務の施設をなすと同時に又市內の秩序維持に努力し四方の商賈を招致して各々其の堵に安んぜしめたのに始まる

一方に於て軍政著々功を奏し人民其の堵に安んずると同時に又一方に於ては軍用鐵道として京義線安奉線の敷設を開始せらるゝ事となつた爲めに是に從事する民員人夫等の蝟集し來るもの甚だ多く、且又日本人をして自由に渡航する事を許可された爲めに日本人の來往織るが如く、早くも明治三十七年十月には我同胞の人口正に一千三百を以て算するに到つた、是に於て忽ち家屋の不足を訴へたから鐵道敷地の一部に家屋建設を許可され、現在舊市街の一角に大和町と云ふ一日本町が出來た、是が即ち安東縣の草創であつたが、其後現在の新市街が開設されたので大和町は取拂はれ凡ての日本人は新市街に移轉する事となつた

是より先明治三十七年七月下旬我軍政署は七道溝に於て軍用鐵道用地として約二十五萬坪の土地買收を知縣に交涉して其承諾を得たので、漸次其の土地の買收に着手した

翌明治三十八年七月には大原少佐に代つて陸軍步兵中佐齋藤季治郞氏は第二次の安東軍政官として就任した、此の頃より日本人の增加は益々著しく家屋の建築も亦抑々盛んになつた、是を見たる齋藤軍政官は邦人の前途に多大の望みを囑し、時の安東知縣高欽氏と種々の間に折衝を重ね支那人の土地所有者を招致して、百方說の上其承諾を得て七道溝及び沙河鎭子附近に三百二十五萬坪の土地を買收し、同年九月十九日双方の調印を濟ませて茲に始めて現在の安東縣新市街の敷地を得、且つ確定する事となつたので軍政署は市街設計委員會を組織し齋藤軍政官自ら其委員長となり平井工兵少佐、竹治軍醫正、池田陸軍省技師等其委員となり新市街建設に就て大體の計畫を立て、引續いて六道溝にも亦八十六萬四千坪の土地を買收して將來市街大發展に資する處があつた

然るに齋藤軍司令官は明治三十九年二月中病を得て歸朝した爲めに、紹て同年四月步兵中佐高山公通氏は第三次の軍政官として來り任に臨み、着任後日夜軍政多忙の裏に前齋藤氏の計畫を繼承して着々其竣工に銳意せられた、然るに元來安東縣の地たる甚だ低濕にして屡々鴨綠江の汎濫を見、且つ市街に及ぼす被害も激甚である處から前軍政官時代より防水堤塘の築造計畫中であつたが、同年四月初めて工を起こし七月一日其竣工式を擧ぐる事となつた、茲に於て累年水に苦しめられたる安東縣も我新市街のみは完全に水害を免るる樣になつたのである、次いで消防や傳染病、隔離病舍、小學校、公園等の設置等漸次に完成して安東縣の日本人市街は略面目を一新したのである

明治三十九年五月一日、我帝國政府は安東縣領事館を開設し同年十月一日より全く軍政を撤廢され領事館に行政を讓る事となつた、第一次の領事岡部三郞氏は十月一日館令を發して施政補助機關として市民中より行政委員を任命し居留民行政委員會を組織した、同四十年四月外務省令居留民團法施行規則に依り九月一日より安東居留民團を指定し民團役所を設け、民會を開き明治四十一年三月第一回居留民會を開いて行政委員を定むる事となつた

明治四十一年七月に到つて始めて安東商業會議所設置され、日進月步の勢ひを以て發展する我商工業者の爲めに諸般の調査機關となつた、今年九月に到り北京協約によりて日支合辦の採木公司設立され、鴨綠江上流大森林の經營に著手せられた

明治四十一年三月、從來輕便鐵道であつた安奉鐵道を廣軌式に改築する工事起され、又是と同時に我朝鮮統監府は朝鮮鐵道と安奉鐵道とを連絡せしむる目的を以て鴨綠江鐵橋架設工事に著手せらる、等、安東縣の發展は日一日と著しきものがあり紹て明治四十四年十一月一日を以て安奉線改修工事成り同時に鴨綠江架橋工事の落成式を擧行せらるゝ事となつて寺內朝鮮總督、福島關東都督以下の諸星が臨んで非常の盛況を極めた

官の施設著々進捗するに伴ひ又民間の事業も非常の進步發展を遂げ、各種の商工業勃然として興りて安東縣は混沌たる創業時代の人爲的景氣を超越して穩健確實なる發展の道程に進み隨つて人口の增加に伴ひ小學校の增設、神社佛閣、病院又は銀行等の創設、淨水道、下水路の開設、修築、電氣事業の開始、公會堂商品陳列所の開設等數へ來れば安東縣の過去十年中最も繁忙の時期であつた

大正六年八月一日南滿洲鐵道株式會社は朝鮮鐵道の經營を委任せらるゝ事となり、安東縣と新義州とは鐵橋一つを隔て、兩鐵道の終點たるの觀ありしが茲に合して一となり、安東縣の將來をして最も多幸多望ならしむる端緒を開いてきたかの觀がある、今や我安東縣は鮮滿鐵道の人爲的施設と汪々たる鴨綠江の一大長流は大自然の水陸運輸交通の十字點となり將來の大發展は期して俟つべきである殊に我安東縣に集散する特殊物產中、木材の如きは鴨綠江上流に於て殆んど無盡藏と稱ばられ、大豆の產額亦年々激增の趨勢を示し安東地方の一名產とも稱すべき柞蠶絲の產額も年々激增を示し、既に此の三種の集散額に於て三千萬圓乃至四千萬圓を算せらるる爲め日本の大資本家又は支那人の大商家にして各種產物を原料とする加工々場の設立に着目するもの漸く多きを加へ、目下既に着手中のもの幾ヶを以て數ふるの有樣である、嗚呼汪洋たる鴨綠千里の長江よ、嵯峨々たる元寶萬年の高峰よ、我が安東十萬の蒼生は天と共に長く地と共に久しく幸福たるべきである

◎百萬町步に亘りて

三億五千餘萬尺締の巨材を藏する

鴨綠上流大森林

採木公司の事業と其將來

嘗て今川林學士が吾々記者仲間を集めて鴨綠材の說明をした事があつたが其時今川氏は長白山脈を

◆**蛸に譬て** 興味ある談話を試みた曰く長白山系は其聳立たる白頭山が巽中に巍然として聳わ夫より西に南に北に東に色々な支脈が各方面に走て恰も白頭山が蛸の頭であれば之に連亘せる支脈は丁度蛸の足の樣なものであると說いたが如何にも適切な比喩である、而して此の長白山系の支脈中西方に向ひ老嶺山脈に沿うて朝鮮の北の連山との間に當つて滿のやうに一條の大河が流れてゐる、之が即ち有名なる

◎採木公司

◆**鴨綠江** であつて鮮滿の境を劃し西流すること約二百里に及び木材及び礦產其他石炭等の物を搬出すると共に上流一帶に連亘せる山地は約百萬町步に及び一大森林地帶である、即ち左岸の鮮側を除き單に滿洲に屬する部にても之を採伐して

◆**木材** とすれば優に三億五千五百萬尺締の用材を得らるるのである是を以て支那政府に於ても今より五十餘年前淸國同治年間に至り山東地方の窮民を此地方に移住せしめて上流地方の開墾をなさしめ同地に伐木をも開始せしめたのである然るに明治三十五年頃

◆**露國** が圖南の鵬翼を盛んに張つた結果鴨綠江材の森林會社を起し兵力と金力とを併せて經營し初めたのに對して翌三十六年には

◆**日支** 合同の木材會社が出來て露國森林會社と相拮抗して競爭を試みるに至つたのであるが日露戰爭の結果露國森林會社は遂に廢絕して明治四十一年九月日支合同木材會社の範程により

鴨綠採木公司

の創立を見るに至つたのである其資本金は總額北洋元三百萬元で日支兩國政府に於て折半出資し其の營業の範圍を記せば鴨綠江右岸帽兒山より二十四道溝に至る間該江面を距る六十支里を劃定して

◆**專採** 區域とし直營採伐事業を經營すると共に從來の支那伐木營業者に對し採伐資金を貸付け且つ其の採伐せし材木は江漸鐵路公司所要の枕木及び鴨綠江沿岸居民自用の木材を除き他は採木公司に於て一旦全部之れを買收する

◆**特權** を有し更に直營木材と共に一般に販賣するものである故に鴨綠江右岸支那側より產出せらるべき木材は其の直營材なると、民間個人の採伐材なるとを問はず凡て一旦同公司の手を

◆**通過** したる後初めて民間の自由賣買に移るべきもので其の他本流域に於ける漂流木の整理の如きも亦專ら同公司の之に任ずる處である最近鴨綠江森林に於ける木材產額は年々百五十萬尺締內外に更に大正七年度以降は公司の直營事業を著しく擴張したるを以て此の

◆**產額** は益々多きを加へんとする豫定である而して歷年度の利益は左の如くである

(年度)	役民	官民	利益
一	九七三、四六三	一、七三三、八二三	三一〇、八六六
二	七〇一、一三〇	一、〇五一、三九一	三三四、八九二
三	八二四、六六〇	一、二八三、三七九	四六八、六〇二
四	七四七、一〇五	一、九三一、四四四	一七〇、八〇四
五	五三二、三三五	一、三六四、七七一	一四三、四四六
六	一、一八三、九三〇	三、三三八、〇〇一	三三四、六〇四
七	九九八、八三五	一、六六一、〇〇〇	一四〇、四三七
八	一、三三六、九〇四	三、三五六、〇三四	一〇七、八〇九
九	一、四四三、五九六	三、〇九八、四八〇	三六八、六八三
計	八、六八〇、八〇九	一六、三六四、三三四	一、九九六、一三三

◎本溪湖の

煤鐵公司

模範的の日支合辦にて經營されつゝある製鐵事業

安奉線の汽車に搭乘して往來する者は何人も本溪湖驛附近の東北方に壯大を極めし巍々乎たる數棟の建物と盛んなる工場の活動を望見すべし之れ日支合辦に成る本溪湖煤鐵公司の製鐵事業なり

◎本溪湖煤鐵公司

◇**公司の沿革** 本溪湖煤鐵公司は製鐵部採炭部及び營業部に分れ居れるが公司の沿革を概言すれば其の初め大倉組が炭質優秀埋藏無盡藏なる本溪湖炭の採掘に着手せしは明治卅八年十一月にして同月鐵嶺略圖を添へて當時遼陽關東都督府に石炭の採掘を出願し同年十二月採掘許可を得て以來幾多の曲折を經日淸合辦本溪湖煤鐵公司の成立を見資本金大洋二百萬元にて採掘を開始せしは四十四年一月一日にして此日大倉組は從來の經營採炭事業を公司に讓り渡したるなり

◇**製鐵事業の企畫** 然るに其の以前より大倉喜八郎翁は滿洲に於ける製鐵事業に着眼し種々調査する所あり結局同年翁より支那政府に對し採炭のみにてかく海岸線を隔たり居り殊に廣大炭山の存在しては經營上困難あるのみならず製鐵事業は將來有望なれば之れを同時に公司にて經營するを可とせずや熱心勸說する所あり其の結果支那政府の意を動かし各種の專門的調査を經たる末七月六日奉天に於て日本側代表者大倉翁と支那側の奉天總督趙爾巽との間に製鐵事業の契約調印され本溪湖煤礦公司は本溪湖煤鐵公司に改められたり資本金も其後の事業の擴大進步に伴ひ目下七百萬圓に增加し居れり

◇**無盡藏の原料** 製鐵事業の經營に付最も必要なるは鐵鑛及び石炭なり然るに煤鐵公司の鐵鑛石は本溪湖を距る東方二十哩攻砂車場より南東五哩廟兒溝鐵山より含鐵量優秀の鐵鑛殆んど無盡藏に採掘せられ、而して石炭は總量二億噸と稱さる、本溪湖炭田より採炭しつゝあり本溪湖炭は半無煙にして製鐵用に最も適し又コークスを製造するに好し加ふるに本溪湖石炭層の下層に非常の礦層をなし存在せるあり斯の如く煤鐵公司製鐵原料の產出は各方面共理想的良品にして何れも接近し居り事業經營上の便益少からざるもの、如く其の成績の日に月に擧り行くは怪しむを須ひず特に公司は歐洲戰亂以來の教訓に鑑み鐵材の需要愈々多からんとするや資本金を增加し第二熔鑛爐の增設を行ひ殆んど全力を擧げて製鐵に盡し諸工業の根柢たる材料及製鐵技術の進步と相俟て目覺しき進展を示しつゝあり

滿鮮唯一の樂土

五龍背温泉場

滿鮮の人で五龍背の温泉場と云つたら知らない者はないだらう朝鮮から往つたら汽車が長い長い鴨綠江の鐵橋を渡つて安東驛から三十分で五龍背驛に着き驛から僅に二丁で其突當りの小高い丘の下の宏壯な建築が有名な八幡たまさんが經營してる温泉場五龍閣である、閣は外觀はもとより內容の整備に至るまで沿線で其比を見ない程で人をして自から爽快を覺わしめ加之夏は涼しく冬は浴室から廊下客室に至るまで滿洲名物のヘチカーの設備がしてあるのは嬉しい若し夫れ浴後窓を排せば五龍峰は峨々として長く連り沙河の楊柳は冬枯の野趣得も云はれぬ眺望である殊に其泉質は多種多樣あらゆる鑛類を具備して無色透明の上噴出量の如き極めて豐富である上に熱度も高い而も其藥效の如きは腦病又は熱性病を除くの外、リヨウマチス、神經衰弱、ヒステリー、胃腸加答兒、子宮病、梅毒、癩病其他諸病に顯著であるから日曜祭日の如き新義州安東、遠くは奉天からも浴客絕わず、貸席、宿泊、自炊の便がある上に料理部もあるから手輕に調理も出來るので日歸りの客等には至極便利で自ら好み任せに入浴することが出來るのは此處の誇りである

◎五龍背温泉場

祝四千號
支那安東縣江岸通
安東挽材合資會社
電話一〇八番

祝四千號
造船材料用原木
燐寸軸木輸出商
海運業
安東縣三番通六丁目
㋪ 廣濟洋行
近藤正敬
電話二八五番
電略（コ）

祝四千號
安奉線本溪湖
材木商 ㊔ 吉田商店
電話四七番

祝四千號
滿洲安東縣市場通
材木商 合名會社 石崎商店
電話三三八番

祝四千號
日本燐寸株式會社
安東製軸所
安東縣六道講

祝四千號
株式會社 滿鮮鐵工所
舊工場 安東縣二番通三丁目 電話三三六番
新工場 同六道講西湖通り 電話二八三番

◎新義州發展史

新義州府は朝鮮平安北道の西北端に位置しかの鴨緑の大江を隔て、滿洲の安東縣と相對峙して居る事は世人の知る處である、我朝鮮の首府京城を距る事實に三百十三哩で鴨緑江口より遡つて約十三哩の地點にある

此の地は昔時江畔の蘆荻生ひ茂つた一面の草原であつたが、去る明治三十七八年戰役の當時、我皇軍破竹の勢ひを以て朝鮮半島より露國の軍隊を掃蕩して滿洲の平野に急追するや、對岸安東縣と相俟つて軍の作戰上最も樞要の地となり、續いて朝鮮縱貫鐵道急設の要に迫られて、龍山陸軍臨時鐵道監部は同年六月開城、平壤及び新義州に出張所を設けて京義線の鐵道の建設を急いだ爲めに鐵道材料の集積並給及び工夫等の入り込み來るもの漸く多きを加へ引き續いて酒保其他の大小商人の入り込むもの益々多く茲に始めて新義州なる市街地と化せんとしつゝあつたのであつた

明治三十七年九月鐵道用材料供給の目的の爲めに大林組製材工場の設立と相俟ちて内地人の來往益々繁く蘆荻を刈り沼澤を埋築して家屋の急造があり勞して西鮮地方に於いては平壤に次ぐの大都會たるの勢ひを示して來た

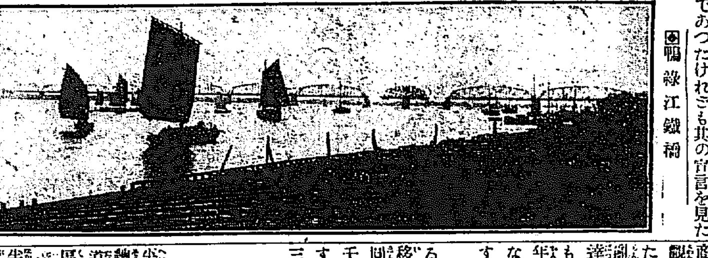
翌明治三十八年新義州驛及び郵便局は設立せられ市街も停車場を中心として東南面に發展し來るに隨ひ社會事故の益々繁忙なるに鑑み憲兵分遣所も亦設置せられた同年六月居留日本人は倶樂部を起して相互の利益を増進する目的の下に孜々として其の發展上に努むる處があつたが此の時既に新義州市街の面目を具備し且つ安東縣奉天間の輕便鐵道も開通せらる、談になつたので交通は益々頻繁を加へ物資の需用供給の道も拓けて次第に殷盛を加ふるに到つた

明治三十九年四月には税關官廳開設せられ越えて明治四十年一月には統監府理事廳の開廳を見、四十一年一月には鴨緑江森林經營の目的を以て營林廠を設置せられ同年二月には居留民團の設立を見るなど此の二三年來の發展は實に著晴らしいもので居留民團の設置と同時に完全なる自治機關も具備したので新義州市街の面目を一新したのであつた

營林廠の設置と同時に運材又は製材に從事する有力なる資本家の來り集まるもの多く同時に支那人朝鮮人の移住するものも益々多きを加へたので引續き警察、裁判所、監獄、守備隊等も設立せられた明治四十三年日韓併合と同時に理事廳は廢せられて新に新義州府廳を置かる、事となり翌明治四十四年には鴨緑江の鐵橋が開通したので茲に始めて鮮滿連絡の實成りて徐々新義州は發展の道程を急いだ超こて大正二年四月府制並に學校組合令の施行を見るに當りて居留民團は廢せられて新義州府及び學校組合が設けられた此の間の民長たりし人々は岩永重華、月成勲、菊原京太郎(代理)市川信清の諸氏である

居留民團は其の存在中、年々鴨緑江の河水が氾濫して水に苦しめらる、事の多きを憂ひ工費約七萬圓を投じて新義州を一週する防水堤を築きたる事は新義州の發展史上に特筆大書すべき事に屬する其他小學校の新築改築や病院や民團役所の建築や非常に多忙の時期であつた

元來新義州は事實に於て開港塲であつたけれども其の宣言を見たのは明治四十三年八月の交であつる其の後朝鮮總督府は二十四萬圓の巨費を投じて江岸の一部に護岸工事を起したので是迄汀地として繋船に不便であつたのが稍完全に近づき繋船場たるを得る事となつた



◉鴨緑江鐵橋

大正六年八月に到り南滿洲鐵道株式會社が朝鮮鐵道の經營を兼ぬるに及んで此の地は鮮滿兩地は勿論内地人間に多大の注意を拂はる、事となれり新大資本家の來るあつて其放資を見、殊に最近五百萬圓の巨資を提げ來つて朝鮮製紙會社の創立を見るに到り近き將來に於ては其操業開始を見んとしてある其他木材を原料とする製材塲染料工場等の新設漸く多きを加へ所に廣漠たる新義州の地も工場敷地に不足を告んとしつゝあるのを見れば實に十數年前を顧み殆んど隔世の感があると言はねばならぬ

新義州にある町名は目下濱町、大和町、本町、旭町、常盤町、櫻町、榮町、眞砂町、老松町、高井町、梅ヶ枝町、若竹町、初音町、彌生町、綠町、鴨川町であつて本年七月末日調査の統計によると戸數は千九百七十四戸、内日本人八百六十六戸、朝鮮人七百九十七戸、支那人三百十一戸で人口は合計八千九百人、内日本人が三千二百四十三人、朝鮮人三千三百三十九人、支那人二千三百十八人で正に一萬人に垂んとしつゝあるを見るであらう

上述の如く新義州は昔時何等の築地を有しなかつた鴨緑江畔の砂原草生地に建設せられた一商埠に過ぎないけれども一帶の水を隔し、對岸には滿洲の咽喉たる安東縣を控へ又一面には鴨緑江の上流に百數十里の舟筏の便を有する形勝の地利を占めて居る爲めに前途益々有望の位置とは云ひ乍ら凡ての商權が對岸安東縣に奪はる、かの觀があつて甚だ發展の程度は遲々たりと云ふものもあるが歐洲戰亂勃發以來一般經濟界が順調の發達を遂げつゝあると相俟つて新義州も亦非常に活氣を呈し來り最近一年有半の間に於て飛ぐべき發展をなしつゝある事は統計の明かに示す處である

今大正六年度の輸移出價格を見るに四百九十一萬九千九百十圓輸移入は四百三十一萬九千二百二十圓を示し其合計は九百二十三萬九千百三十圓であつて大正五年に比すれば約五割以上を増加し又大正三年に比する時は實に十二割六分五圓の増加である

又本年一月より去る八月に至る八箇月間の輸移出價格は三百十二萬八千八百六十九圓で輸移入價格は五百三十五萬八千六十八圓合計八百四十八萬六千九百三十七圓であつて實に昨年の同期に比し二百七十萬圓の大激増である次に工業方面に一瞥を與へて見るに大正六年末の現在調査によると營林廠を中心とする木材工業及び燐寸軸工業、精米工業、醸造業、黑鉛、電氣、造船工業等を合せて工場の數は二十五箇所に達し其放資額の如きは蓋し莫大の數を示して居る動力の馬力數のみにても約一千馬力を使用して居る

特に注目に値するのは此の工場以外にある朝鮮製紙株式會社の事業であるが其目的とする處は鴨緑江材を原料とする製紙原料のパルプを製造販賣せんとするものであつて目下敷地二十一萬坪に對し工場、水道、電氣、貯木地、鐵工場其他あらゆる設備を急ぎつゝあるから恐らく來年の秋頃よりは全部機關の運轉を見る事が出來るであらうが此の會社が十分の能率を發揮する事が出來れば内鮮人の職工四百人を使用して一箇年パルプ約一萬五千噸其價格六十萬圓の生産を見る豫定である斯の如くにして我新義州は月を逐ひ年を加ふる毎に一大長足の進歩を遂げつゝある事は一面奇蹟に類するが如きも一面官民協同一致努力奮闘の結果たるに外ならぬと思ふ

◎本年の流筏五十萬尺締

朝鮮總督府營林廠事業

平北新義州に其本廠を置ける朝鮮總督府營林廠所管地域は咸鏡南北道及び平安北道の三道に跨り其の區域面積無慮二百二十餘萬町歩に達し恰かも内地國有林野全面積の半以上に上り其成林地は約九割三歩即ち二百四萬町歩にして秋田、青森、木曾の三大森林を併合し之に對比するも尚ほ遙かに大なり而して管内主として寒帶樹種を以て林相を爲し針葉樹約七割闊葉樹約三割を占むるもの、如く廠に於ては其の主林木たる紅松、杉松、落葉松等を伐採利用しつゝあり

■伐木運材と流筏　鴨緑江流域に於ては咸鏡南道甲山、三水、長津の各郡及び平北厚昌、慈城、江界各郡内の森林より前記の樹種の丸角材或は電柱小丸太材等を伐木しつゝあり伐採期は秋冬兩期にして運材は冬季地上の積雪及び結氷を利用し牛曳木馬、輕鐵、修羅等に依て工場に運材し初夏江水の解氷を俟つて編筏流下するものなり而して流筏事業は水流急にして比較的作業困難なる上流に於ては内地人筏夫を使用し流勢緩にして容易なる下流に於ては主として朝鮮人筏夫を使役し少數の内地人筏夫をして之を指導監督せしめつゝありて鮮人筏夫の技能逐年熟練し成績頗る良好なりと

■同人の作業　營林廠所管森林より伐木搬出を出願する内鮮人に對しては身元を調査し適當の資格ある者には伐木を許可し毎筏の上陸夜を爲し廠の所要材は之を賠收し否らざるものは立木代を徴收して拂下を爲し居れり而して森林令施行後は森林の取締嚴重となり地下住民も漸く盗伐の違法なるを悟り

◉鴨緑江上流筏

年次伐採搬出の出願を増加しつゝあるの状態なり

■漂流木整理　明治四十二年三月鴨緑江採木公司と漂流木整理方法に關し協定を遂げ相互漂流木整理規則を定め朝鮮側に漂着せしものは營林廠に於て支那側に漂着せしものは採木公司に於て整理することゝし每年營林廠側のみにても二萬尺締以上の數に達し居れり

■本年は五十萬尺締　本年は流筏期に入るや江水順調なる結果流筏極めて好調なれば現狀のまゝ經續すれば本年は五十萬尺締に達すべく新記録を作るべし

■廠の製材工場　製材は第一、第二の二工場に於て新鋭なる機械を設備し各種の建築用材等を製材しつゝあり一日の製材力は約七百尺締以上に上り居れるも近時鴨緑江材の販路擴大せし爲め需要を滿す能はず大繁忙の狀態なり

■販賣の方法　營林廠木材の販賣は當初主として朝鮮内に於ける各官衙の建築用材を供給し民間の需要數は極めて僅少なりしも明治四十二年七月勅令を以て營林廠木材及び製品の賣却代金延納に關する制を公布せられしと併合後朝鮮内諸般築工事增加せしとに因り逐年民間に於ける需要を增加し今や其販路鮮地内は勿論遠く内地方面にも及ぶに至れり而して大口取引を奬勵する爲め一般需要者の買受金額の階級に從ひ普通販賣價格の一割乃至一割五分を遞減することとし尚ほ木材取引を奬勵する者に對しては特に之を保護する爲め前述遞減を行ふの外更に五分を低減販賣し居れり又營林廠は一般需要者の便宜を計り一口三百圓以上の一般買受け者に對しては國庫債券其他規定の有價證券を提供し又は確實なる保證人を立し六箇月以内を限り代金延納の便法を設け又公共團體其他確實なる法人に對しては無擔保にて同樣延納の途を開き又工事取下金に關する債權讓り受けに由る場合に於ても代金の延納を認むる者に對し特に保證金を免除し尚ほ廠材の鐵道運搬に就いては特別の割引方法を定めある由なり本廠木材の器種は角材、丸材、丸太、電柱用材、足場用小丸太、挽材、小割、板材、木摺及び箱材等なりと

◎安東縣と鴨緑江

◇新計畫によりて發展を策しつゝある運輸株式會社

◇安東の起源及び現在の價値は之を問へば多く日露戰爭の際に發し鐵道によりて哺育し來るが如く思惟するものがある樣であるが其は甚だ短見者流の早解たる誹を免れない處であらう、苟くも安東の生命存在の精神に觸れんとする者は必ず鴨緑江を研究し利用の方法に著目せねばならぬ、安東から鴨緑江を引去つた後に果して何が殘るであらうか、思ふに此處に至らば何人も鴨緑江の眞價を諒解すると共に安東の生命精神が磅礴として來り迫るを覺ゆるであらう、此の意味に於て安東人士は鴨緑江の研究を一日も忽諸に附してはならぬと共に是れが利用の方法を攻究するの必要が生ずるのである、鴨緑江の研究、即ち鴨緑上流地方の研究調査及び是れが利用を目的として現はれたものが彼の大正三年高羽秀吉氏が主宰したる鴨緑江運輸司所であつて本年三月を以て變體して鴨緑江運輸株式會社となり着々所期の目的貫徹に向つて努力しつゝある

◇鴨緑江運輸株式會社なるものは本紙が屢々報道した通り目的事業は極めて廣汎なるものではあるが要は鴨江の水流を利用して奥地は勿論下流まで即ち鴨緑江沿岸一帶の利源を開發し以て安東の隆昌を招致せんとするに外ならないのである、最近同會社長小川總兵氏は約一箇月の日子を費して朝鮮總督府の命令航路の終點たる中江鎭―其對岸は帽兒山―安東より二百三十一哩―迄視察に出掛歸途渾江を溯江して沙尖子を訪ひて歸來したが其の視察談の一片に曰く、鴨江上流地方を旅行するものは必ず馬賊の害を説く恰も居住も往來も不可能の樣に言ひ觸らすが自分の眼から見れば左程でもない樣に見られた何故ならば滿洲と馬賊是れは現代に於ては安東と鴨緑江と云ふ樣な具合で極めて密接な關係のある間柄だから少々の馬賊が出沒したからとて怪しむには及ばない、のみならず實際に於て評判程の馬賊の出沒はない樣であつた

◇開拓問題として鴨緑江上流地方の開發に伴うて増大すべき經濟的價値は決して尠少なるものではあるまい、森林に鑛山に將た又特產物に其他未だ多く人の知らない高價なる豆類に於て、交通の便が開け運輸の途が整頓し、朝鮮側に於ける、治績が擧るに從うて其の前途は極めて有望であらうと思ふ、乃で會社は將來の利益國家的利益を增進すると云ふ大なる見地より從來の荷物船專門の域を脱し客船を新造し更に目下の終點たる中江鎭より約四十里上流なる厚州古邑迄の航路を開き交通運輸に一新生面を拓く計畫を樹てたのである先づ最初の試みとしては長さ四十二尺巾七尺にして乘客二十人を收容して尚ほ若干荷物を積載し得べき客船四隻を新造し毎週一回安東を發して二十日内外を以て中江鎭に往來し得べき方法である、が是れによれば從來の約一箇月を要せしに比して十日餘の時日を短縮し且つ其設備の完全なるにより旅客の蒙る利便は蓋し鮮少なものではあるまいと確信する、然れども會社は是れを以て到底收支の相償ふものではないが只鴨江上流の紹介に努め其發展を促進し得ば目的は達したのである

◇今回の旅行に於て懷仁縣渾江に沿へる沙尖子を訪うた際に尚ほ同地には大豆十萬石が積して居たが將來此の奥地の經濟的地歩が上進するに從ひ帽兒山、通溝、鴨江縣、楡樹林子、大荒溝其他物貨の集散地たる各地は、益、其價値を増大し市況は愈々繁忙を來すに相違ない是れ等奥地の小集散地の繁忙は直ちに安東の隆盛を招來するものであるから安東の生命は一に懸つて鴨江にありと云ふも強ち過言ではあるまいと思ふ云々と

◎化學染料に超越せる

楓葉エキスの製造

建興公司染料工場

歐洲に於ける世界的大戰亂は我工業界に曠古の大刺戟を與へ就中我染料界の如きは外國よりの輸入杜絶に遭遇して在來染料として滿洲各地に於て盛んに使用しつゝある

◉建興公司染工所

平安北道產の楓葉染料たる特品に對してまでも輸送其他の影響を受け需要家は今更の如く狼狽の狀態であつたが營口に於ける建興公司主任尾崎氏は朝鮮視察中總督府某氏の勸説を期として

▼實地視察　の上原料の豐富にして有望なるを看取するや從來の如く原葉のまゝ支那に向つて輸送するは氣候又は輸送の關係上折角の原料が腐敗せしむる事あるを見るや斷然として自ら代の急務に適應するの策を講じ或は斯業の專門家の研究を乞ひ化學的能率を盡し楓葉エキスとして輸用の途を講ずることゝなり製品は販路に熟する研鑽を重ね妙からざる長時日の犠牲を値ひ到せる結果は品質の精巧卓越なるは豫期以上の好評を博し經營上地理的至便の地たる新義州に建興公司染料工場を設立に決し小川義雄氏を主任者に任じ現在の敷地二千坪を埋築し煉瓦造工場事務所を含める建坪百四坪倉庫二百坪職工宿舍二十坪を新築し

▼一大飛躍　の出發點となし六十名の使用職工は三十名宛晝夜交代をして盛んに製造に從事しつゝあるが前工場の投資額は二十萬圓にして江原道春川にも分工場を設置し其販路の如きは營口、奉天、安東縣其他滿洲各地に向つて輸出しつゝあるも染料として原葉を用ふるに比し遙だ利便なると其

▼價格低廉　なることは頗る需要を喚起し各地の註文に應じつゝあるが楓葉エキスの用途は主として布帛の染料として使用せらるのにして從來支那人間に於ては綿布の黑染用として用ひらる、に止りしも近時染色技術の進歩に伴ない色合も多種多樣にして黑の外に紺、カーキ色、鼠色、鐵色等にも使用せられ綿布の外獸毛、絹織物、柞蠶絲、羅紗地、麻織物等一として可ならざるものなく殊にカーキ色染料に適するを以て兼ねて同染料の内地に於ける生產なきを遺憾とする折柄本色の製產は

▼國益上尠　からざる効果である殊に同染料は獨逸製のロッグウッドエキス及び西班牙製のスマックに比し色澤増量の兩效能を兼備する外色合は嗜好に應じて染得らる、を以て其便利なることゝに是を凌ぎ加ふるに地理的至便なる地點に於て製造し得る丈け諸般の諸税等の節減を見る等結局最後の勝利は期して俟つ可く就中楓葉エキス製造前は其輸出年額は三百五十萬斤に達し其價額約十萬圓に上れるもエキス製造後は全部輸出するとせば額二十七萬餘圓に躍進するを以て其利害一見して明瞭なるべし殊に其エキスを製造せる

▼楓葉殘渣　は牛の飼料に恰適し蛋白質二十パーセントを含有し米糠に比し遙に良好なるを以て乳牛飼育者等の頗る歡迎する處にて一箇年の殘渣產額は約二百萬斤以上の由にて百斤三錢とするも約六萬圓の收益を得る見込ある由にて同染工場の前途頗る多く成功を遂ぐるに至るべし

◎三共製材所

新義州江岸鴨川町にある三共製材所は三井物產株式會社新義州木材取扱所の附屬製材工場であるが其の創立は大正五年十二月五日であつて、工場の建坪は百五十坪で現在使用の動力は蒸汽七十五馬力である、製材機械は自動摩擦丸鋸二臺と腕押式が二臺で工場專屬の就業職工數は約四十人、外に荷役其他の雜役に使用する苦力は毎日六十名を下らない、一箇年の製材能率は約三萬尺締で、其の販路は主として朝鮮方面である、製材用の原木は本冬を通じた上更に來年七八月の交まで全能率を發揮して製材する丈けの豐富な木材を買込んであると云ふ事である、現在の製材は主として建築材料、板類、小割等であつたが更に近き將來には製函材料の製造に着手する計畫で製函機五六臺を据ゑ付くべく目下其の準備中である相な、兎も角三井の巨資を擁する事とて三共製材所の現在の活躍は新義州の一大偉彩たると同時に將來に於る發展は蓋し瞩目に値するものがあらう

祝四千號

安東江岸通
製材業及木材販賣
加來製材所
店主 加來音吉
電話 二二一番

祝四千號

安東縣六道溝
南滿洲製材公司
工場用 八四番
社宅 一八七番

祝四千號

貿易商
三省洋行
代理店
大阪商船株式會社
横濱火災海上運送信用保險株式會社
帝國生命保險株式會社
日本海上保險株式會社
英國サン火災保險株式會社
淺野セメント合資會社
電話 五二一番
中華電話四四〇番
振替口座大連六参〇九番

祝四千號

帆船汽船曳船漁船艀船等の建造に應す
高見造船所
安東縣江岸通り

祝四千號

貿易
精米業
自轉車
疊表類
安東縣市場通五丁目
達磨商會
日電話 七〇番
一九五番
中電話九 五番

祝四千號

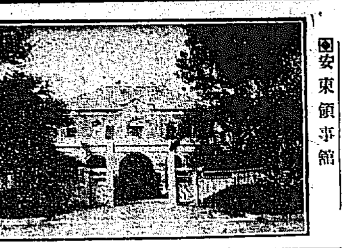
東亞煙草株式會社

○安東發展の回顧

安東商業會議所會頭　中野初太郎氏談

◆自分が安東縣に來たのは明治三十八年四月頃であつたと記憶する當時の安東縣は舊市街のみであつて、今の新市街の如きは、徒らに草茫々たる低濕地であつた、當時の支那人口は約二萬二三千もあつたらうか、官衙としては知縣衙門と巡警局位であつたと思ふ

◆當時丁度日露戰爭の始まつた翌年であつて、安東縣には、軍政署があり兵站司令部があつて、日本人の人口は六千七八百も居たらうと記憶する、而し多くは徒手空拳で、何れも水草を追ふ遊牧人の如く、利を追ふに急なる連中のみで、戰線の進むに隨つて轉じたものであつた、當時日本人街として形成せられたのは旭橋附近に市場を設置せられたので、今の市場は其の當時の後身である



圖安東領事館

◆又遊園地と云ふ名稱の下に今の五番通り一丁目附近に主として賣春婦の一團を收容する一劃を設けられてあつた、翌て明治三十九年中、支那側では候補道と云ふ今の道尹格の最高官吏を置かれた、新市街の設計、地區劃、土木工事等を起されたのが明治三十八年であつたと記憶する、其の時分から今の市場通りは明々家屋の新築を見たが何れも一時凌ぎのバラック式でお粗末なものゝみであつた

◆其の頃の軍政官は大原武慶氏で時の知縣高氏が日本に好意を有する人であり、且つ又王經成と云ふ相當の地位を有した支那人が日支官憲の仲介者となつて、萬般の便宜を與へて呉れたので、軍政署の諸施設は最も順調に進捗したのであつた

◆斯くて數年の星霜は夢の如く移つて相應の發展を見つゝあつたが明治四十年頃より、戰時氣分の空景氣の裏が來て、翌四十一年より二年掛けては非常に衰微を來たしたもので、當時猶日本人の頭數は六千位でもあつたらう、事業は起らず、貿易は振はず、隨つて經濟界の大恐慌を來たして民團の賦課金の徴收さへ非常の困難であつた事は今尚ほ目に見る如しである

◆其の以前、安奉鐵道の開通、引き續いて廣軌鐵道に修築、[illegible]州線の開通、鴨綠江大鐵橋の竣工等の事もありまた一方陸運の便は開け且つ大阪商船は仁川、鎮南浦、安東間の定期航路を開いた爲め、海陸の輸の便は開けたにも拘らず、萎微不振の安東縣は依然として混沌として不景氣が數年間打續いた

◆先づ明治四十二年が安東開市以來不景氣の絶頂とでも言ふべきであらう、軍政署より凡ての施設やたのが明治三十九年の暮で、それ行政機關一切を外務省に引繼がれより民團役所も出來、民團議會も生れ、行政委員會なるものも設けられた、最初の行政委員議長は三井物産の大庭銀太郎君であつた、其後自分は評議員になつたり、又議員行政議員議長になつたり、又は商業會議所會頭の職を辱しめたりして今日に迨んだのであるが、思へば殆ど隔世の感なきにしもあらずである

◆小學校の沿革の如きも頗る面白い徑路を辿つて來たのであるが、其の間には及ばず乍ら自分等は常に滿鐵の當路と樽俎折衝の間に相見ゆて、隨分苦しい目にも逢つたが、今日滿鐵の經營に委任する事が出來るやうになつたのも、畢竟するに滿鐵當路の同情の賜と云ふ事が至當と思ふ

◆其他、病院の建築以來の沿革や安東公會堂の出來た由來や、日支合辦居留地の今日ある所以や、六道溝附屬地の處分問題等數へ來れば數千萬言を費やすの冗漫に談話の材料はあるが、多く語る必要もあるまいと思ふ

◆頭を回らせば既に十四年の昔となつて居る、今日、採木公司を中心とする各種の木材工業や、柞蠶を原料とする工業乃至は大豆を原料とする油房等の大小工業に指を屈すれば數ふるに遑もない位であるが、就中日本人の經營にかゝるもの而已にても片手を四回振る位の大小工業會社はあらう、此の會社の創立や、工業の勃興を促進したのは何れも歐洲大戰亂の後に屬し殊に著しく發展の頭を擡げたのは此の一兩年の事に屬する

◆今や安東居留者には、多く資本の充實を見る事が出來た、支那人の人口五萬乃至六萬を算しよう、日本人も八千乃至九千を算せんとしつゝある、其外に把頭と稱する筏乘や樵夫等の來往を加ふれば支那人而已にても八九萬、殆ど十萬人に近い安東縣となつた

◆安東縣の過去、現在とに思ひ到つて遙に將來を考へて見れば、安東縣の前途は頗る多幸、多福なるものがあると思ふ云々（文責在記者）

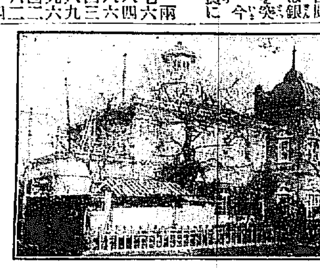
○安東海關貿易進展　十一年間の増長

安東海關に於ける去る明治四十年より昨大正六年に到る十一箇年間に於ける外國より及び支那各港よりの輸入及び外國及び支那各港へ輸出したる統計表を見るに明治四十年に於ては僅々四百九十二萬五千七百七十六兩に過ぎざりしが明治四十四年に於ては一躍して一千三十四萬四千三百六十九兩に増加し、超て大正五年には二千八百九十五萬二百七十五兩増進したるが昨大正六年に於ては一躍して四千三百二十七萬七千四百九十九兩に激増したり今之を海關兩の昨年平均邦貨價格一圓九十八錢に換算すれば昨年の貿易額は實に八千五百六十八萬九千五百圓に相當すべし更に本年の貿易は銀高及び經濟界に伴ない一億圓を突破するは易々たるべしと云ふ、今十一箇年の貿易累計を示せば實に左の如し

明治四十年	四、九二五、七七六兩
同四十一年	六、九四一、九八四
同四十二年	八、四六九、五八六
同四十三年	九、一六八、七四三
同四十四年	一〇、三四四、三六九
大正一年	一一、三五〇、三九六
同二年	一五、一〇二、二四二
同三年	二〇、六一三、三六二
同四年	二四、六一一、一一四
同五年	二八、九五〇、二七五
同六年	四三、二七七、四九九

次に大正五、六二箇年間に於ける安東、大連、牛莊三港の貿易趨勢を見るに外國品輸入に於て大正五年は第一位の大連が三千三百三十五萬八千百九十九兩、第二位は安東にして一千七百九十五萬二千一兩牛莊は纔に五百五十六萬三千三百二十五兩なり、同六年度に於ても大連は首位にして五千八百二十七萬四千四百九十七兩第二位は安東にて二千八百五十二萬九千九兩、第三位は依然として牛莊の而も五年度より減少し五百八萬八千五百四十一兩に低下せり又支那物輸の輸出に就て見るに五年度の大連は四千五百七十一萬四千四百三十八兩、安東は二位の四百八十六萬三千五百八十一兩牛莊は四百九十三萬七百三十七兩、六年度に於て大連は五千百五十七萬五千五百四十一兩、安東は九百二十五萬三千百〇五兩、牛莊は纔に二百七十九萬五千二百五十六兩を示せり之れによりて五六兩年間の輸入輸出貿易額を合算する時は實に左の如き表を得べし

大連	一八八、九二二、六七五
安東	六〇、五八六、八〇六
牛莊	一八、二八七、八六〇



圖安東民團役所

○極東印刷界の覇者（承前）

市田オフセット印刷株式會社!!!

（大正七年十一月上旬調）銀行、岸本銀行外五百余會社

抑も明眼なる市田君が率先輸入したる刻苦研究の餘念なく完成せしオフセット印刷機械は西暦一千九百〇七年頃米利加に於て偶然なる出來事より今は故人のイラ、ダブルユー、ルーベル氏により發明されたる物にして此オフセット印刷法は印刷術根本の方法に重大なる變化を來し舊式硬版印刷機を驅逐しつゝあり今其特長の重なる點を擧ぐれば

一、オフセット印刷機は在來の硬質版が一時間僅に千乃至千五百を最大限度とするに反し一時間優に三千乃至八千の高速力を有する事

一、オフセット印刷機はゴム版を以て印刷なす故假令紙質粗雑なる物にも極鮮明に印刷するを得るに付舊式硬質版の如く強て紙質緻密にして平滑而て高價なる紙を要せざる事

一、オフセット印刷機は粗悪紙にも鮮明に印刷し得る故用紙を節約し且つ用紙の重量輕きものを用ひ得るがため原紙の運搬費を輕減するは勿論書籍雜誌類其他一般印刷物の郵送料等をも節約し得る事

一、オフセット印刷機は亞鉛版よりゴム版を經て間接に印刷するを以て在來の硬質版が五千乃至四五萬枚より印刷不可能なるに對しオフセットは十萬乃至五十萬枚を一回の製版にて印刷し得る事

一、オフセット印刷機は石版、凸版、凹版等各種類の機械の特長を全部具備しソレゾレ專門の機械以上好結果を擧げ得る事

要するに市田オフセット印刷會社は最新精美なる武器と充實したる内容と熱誠なる奮鬪振りにより益々東印刷業界の覇權を掴り更に世界的に其技術を競ひ以て邦家に貢獻せんとしつゝあるものなり同社の益々隆盛を希ふ者豈夫れ筆者のみならむ哉至囑々々因に本店支店出張所は左の如し

大阪總本店　北區梅田町　電話北（長）一七〇　一九七　一九八

東京支店　京橋區北紺屋町　電話京橋（特長）八七〇　八七一

上海支店　江西路七號　電話五三五八

奉天出張所　撫順街二丁目　電話七五四

‖完‖

祝四千號　一般の信託業を最も親切丁寧に御取扱ひ申候　安東信託株式會社　電話三三三番　振替大連一九六七番

祝四千號　安東窯業株式會社　工場安東縣六道溝　電話三〇一番　營業所同大和橋通六丁目　電話二三三番

祝四千號　鱗狀黑鉛採堀精錬販賣　達山鑛業所　營業所安東縣六番通り九丁目　工場義州郡威北面下端洞（中ノ島）

祝四千號　安東煉瓦株式會社　材木商荒川洋行　安東縣鎮橋通り　電話四六二番

祝四千號　原木販賣業　製材　安東木材合名會社　安東縣鎮橋通り　電話四五五番　代表者椿井三男　自宅電話一六三番

祝四千號　安東縣江岸通三丁目　運送業山形組（電話一一〇番）

祝四千號　輸出入貿易商　火災保險代理店　合名會社鈴木商店安東縣出張所　日電三七八番　中電五三番　發信略號（タツ）又（ハ）（タ）　受信略號アントウケンカネタツ

祝四千號　安東大連天津線　定期船　天潮丸　濟通丸　不定期船　一進丸　博進丸　大連汽船株式會社　安東縣出張所　電話一二五二番　支那電話一二二番

祝四千號　輸入出品取扱、火災保險取扱　三井物産株式會社安東縣出張所　電話　事務所用一二七番　分行用一二三番　倉庫用一四九番　中華電七〇番　中華電一五號

祝四千號　平北柞蠶株式會社　平安北道義州郡義州　電話六九番
安藤洋行倉庫部　同新義州府濱町　電話二五七番

祝四千號　安東縣六道溝　鴨綠江製材無限公司　電話四五〇番　四五一番

祝四千號　新義州　朝鮮製紙株式會社

祝四千號　鴨綠江産良材を以て本社の建造する汽船、帆船、曳船、漁船、艀船は安全第一眞に海運界の最大權威なり　鴨綠江造船株式會社　本店安東縣江岸通り　支店義州郡中の島　電話百〇二番

祝四千號　新義電氣株式會社　社長　松隈哲次

祝四千號　安東酒商組合（いろは順）

一鶴	本莊商店
白鶴	小方商店
白駒	大下酒造場
金露	大塚出張所
白鶴	渡邊支店
春駒	柿本酒店
菊正宗	龜屋
春駒	萬屋
白鶴	鶴屋
白鶴	村木洋行
駒鶴	上原酒店
櫻正宗	三巴酒店
白鹿	安川支店

元山旅館組合（イロハ順）
壽町一　花屋旅館　電話一四〇
旭町二　博多屋旅館　同四三六
旭町一　巴館　同四五七
旭町一　大津屋旅館　同四〇一
旭町二　大東館　同二五
海岸通二　大芳旅館　同三二
旭町二　丸金旅館　同四四二
海岸通二　丸九旅館　同三六一
海岸通一　愛媛館　同二三三
旭町二　富士旅館　同一八
本町五　海老屋旅館　同二四五
春日町　赤田屋旅館　同五四五
本町五　愛知旅館　同三一七

西洋御料理　東洋軒　元山旭町三　電話一〇六

忠清北道清州　毎日申報支局　新聞印刷業　忠北商會　主　金光鉉

忠清北道清州　御料理六石庵　電話六四番

忠清北道清州　御料理銀杏樓　電話一〇一番